

4 中世の遺構と遺物

当時代の遺構は、掘立柱建物跡 4 棟を確認した。柱穴の形状や規模が同じものを中世の掘立柱建物跡とした。以下、遺構と遺物について記述する。

(1) 掘立柱建物跡

第 4 号掘立柱建物跡 (SB04) (第 84・85 図、第 35・37 表、図版 9・26)

位置 調査区北西部 C 4～D 4 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

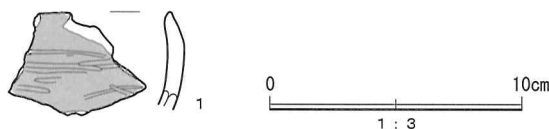
重複関係 北西部が調査区外に延びている。

規模と構造 桁行 2 間、梁行 2 間の側柱建物跡で、桁行方向は N-0° である。確認できた桁行 4.82m、梁行 4.28m で、面積は 20.63㎡ である。柱間寸法は、桁行は南平が西妻から 2.20m (7 尺)、2.64m (8 尺)、北平が西妻から 2.32m (7 尺) を確認し、柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は東妻が 2.18m (7 尺)、2.20m (7 尺) で、西妻が 2.40m (8 尺) のみを確認する。柱穴が重複しており建て替えと考えられる。

柱穴 12 か所。平面形は円形で、径 30～50cm である。深さ 20～50cm で掘方の壁は外傾または直立している。

遺物出土状況 土師器片 8 点 [坏 1 (15g)、甕 7 (9g)]。1 の土師器坏は P 1 内から出土しているが、流れ込みと考えられる。

所見 時期は、形状から中世と考えられる。ピットの重複関係から建替えられた可能性がある。



第 84 図 第 4 号掘立柱建物跡出土遺物実測図

第 35 表 第 4 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	—	(1.7)	—	細砂	明赤褐	普通	口縁部横ナデ 体部外面横位のヘラ削り 内面黒色処理後ヘラ磨き	P1 覆土中	5% 図版 26

第 5 号掘立柱建物跡 (SB05) (第 86 図、第 37 表、図版 9・26)

位置 調査区西 D 5～D 6 グリッド、標高 89m ほどの平坦部に位置している。

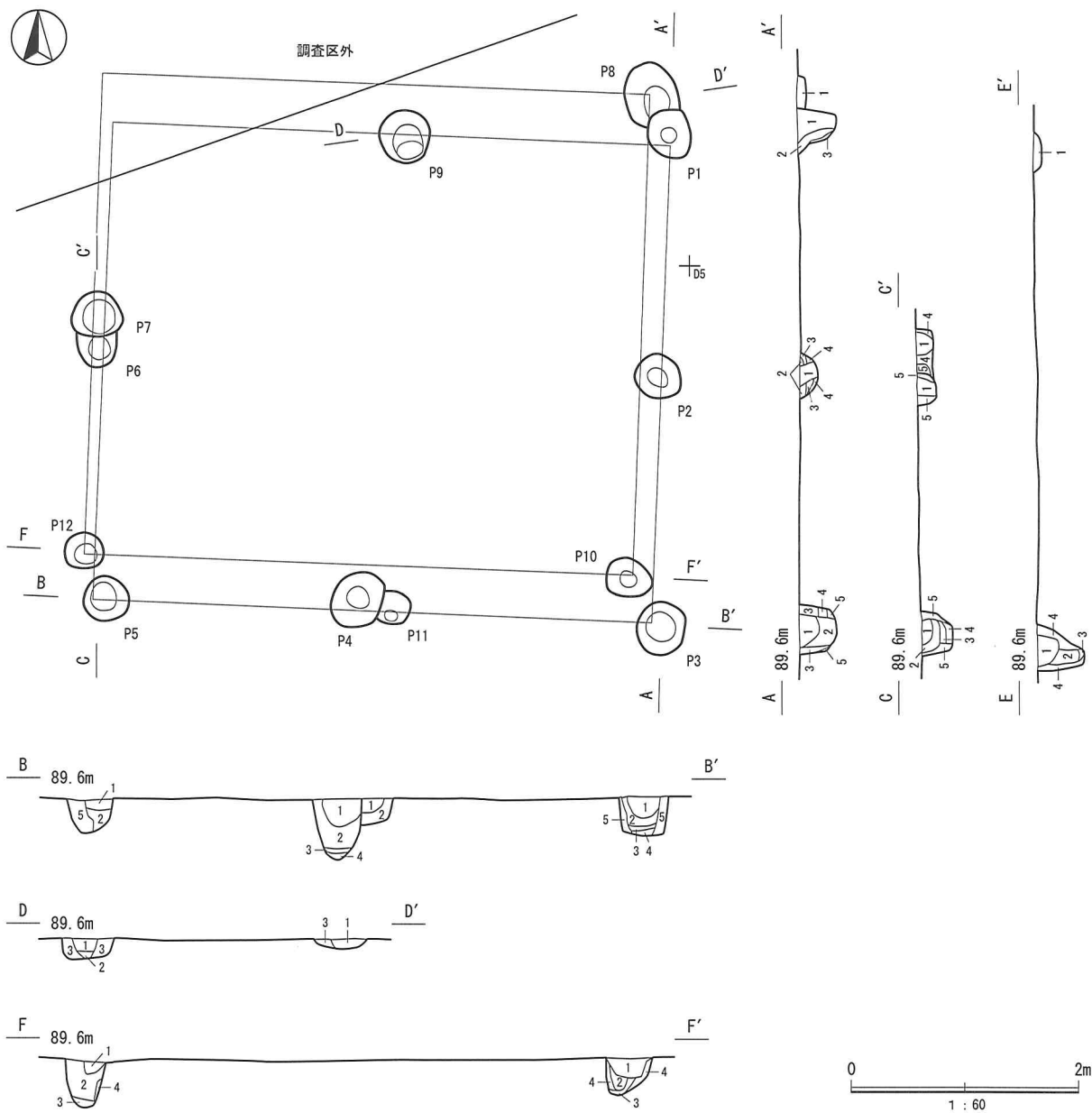
重複関係 第 2 号溝跡と第 44・45 号土坑に掘り込まれている。第 6 号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。

規模と構造 桁行 3 間、梁行 2 間の側柱建物跡で、桁行方向は N-85°-W である。確認できた桁行 8.28m、梁行 4.48m で、面積は 37.1㎡ である。柱間寸法は、桁行が北平は西妻から 2.82m (9 尺)、2.78m (9 尺)、2.69m (9 尺)、南平は西妻から 3.04m (10 尺)、2.62m (9 尺)、2.62m (9 尺) で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は東妻が 2.22m (8 尺)、2.22m (8 尺) で西妻が 3.80m (13 尺) である。

柱穴 9 か所。平面形は円形または楕円形で、長径 40～60cm、短径 30～50cm である。深さ 10～30cm で、掘方の壁はほぼ外傾している。第 2～4 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、形状から中世と考えられる。



SBO4 土層解説

P1・2

- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子少量 炭化粒子多量 黒色土粒子中量／粘性あり 縮まりなし
- 2 10YR3/4 暗褐色 ロームブロック・粒子中量 黒色土粒子中量／粘性あり 縮まりあり
- 3 10YR4/3 褐色 ロームブロック中量・粒子多量 黒色土粒子少量／粘性あり 縮まりあり
- 4 10YR3/2 黒褐色 ロームブロック微量・粒子少量 黒色土粒子多量／粘性あり 縮まりあり

P3～7

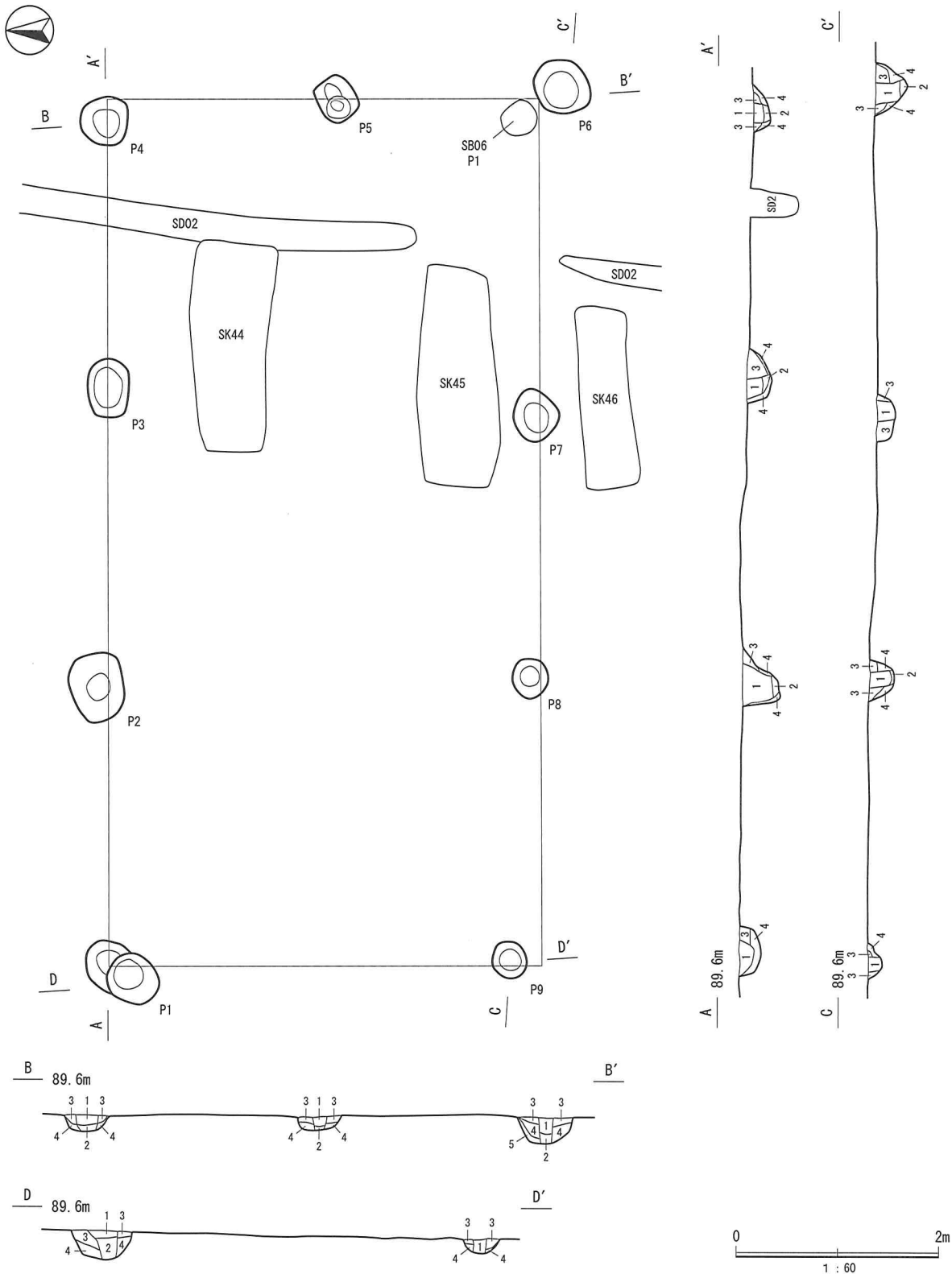
- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子少量 焼土粒子微量 炭化粒子中量 黒色土粒子中量／粘性なし 縮まりなし
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒子少量 炭化粒子中量 黒色土粒子中量／粘性なし 縮まりなし
- 3 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子多量／粘性あり 縮まりあり

- 4 10YR3/4 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土粒子中量／粘性あり 縮まりあり
- 5 10YR4/3 褐色 ロームブロック・粒子中量 黒色土粒子少量／粘性あり 縮まりあり

P8～12

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒子少量 焼土粒子少量 炭化粒子中量／粘性なし 縮まりなし
- 2 10YR2/3 黒褐色 ローム粒子少量 炭化粒子中量 黒色土粒子中量／粘性あり 縮まりあり
- 3 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子少量／粘性あり 縮まりあり
- 4 10YR3/3 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土粒子中量／粘性あり 縮まりあり

第 85 図 第 4 号掘立柱建物跡実測図



SB05 ピット土層解説

- | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|-----|----------------|--------------|-------|---|----------|----|----------------|--------------|-------|
| 1 | 7.5YR3/1 | 黒褐色 | ローム粒子微量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 縮まりなし | 4 | 7.5YR4/3 | 褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 縮まりあり |
| 2 | 7.5YR3/2 | 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 縮まりあり | 5 | 7.5YR4/4 | 褐色 | ロームブロック中量・粒子多量 | 黒色土粒子微量/粘性あり | 縮まりなし |
| 3 | 7.5YR3/4 | 暗褐色 | ロームブロック少量・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 縮まりあり | | | | | | |

第 86 図 第 5 号掘立柱建物跡実測図

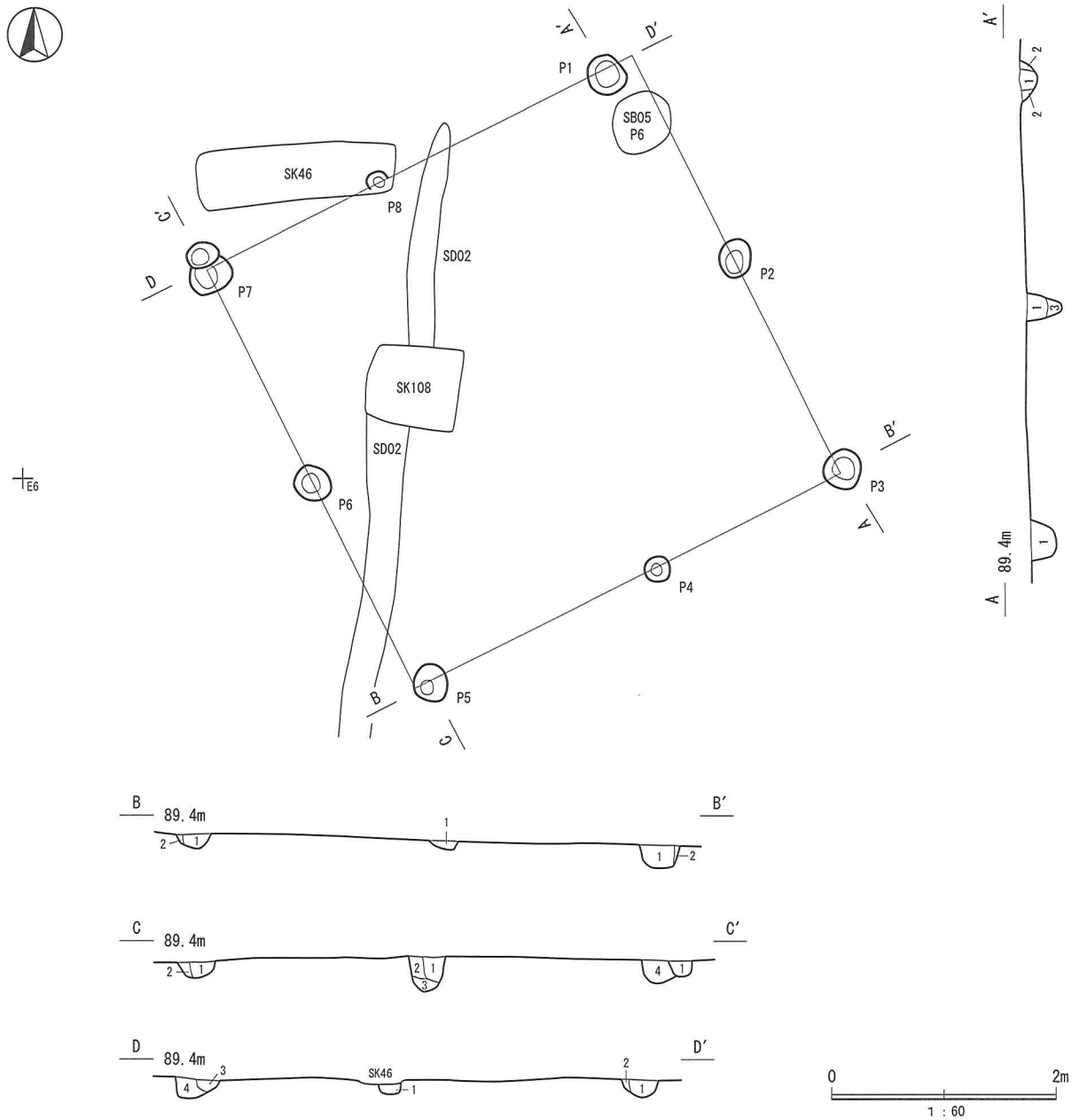
第6号掘立柱建物跡 (SB06) (第87図、第37表、図版9)

位置 調査区西のD 6～E 6グリッド、標高89mほどの平坦部な台地上に位置している。

重複関係 第46・108号土坑、第2号溝跡に掘り込まれている。

規模と構造 桁行2間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向はN-35°-Wである。確認できた桁行4.00m、梁行3.96mで、面積は15.84㎡である。柱間寸法は、桁行は東平が北妻から2.00m(7尺)、2.00m(7尺)、西平は北妻から2.00m(7尺)、2.00m(7尺)で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は北妻が1.80m(6尺)、2.16m(7尺)で、南妻が2.00m(7尺)、2.00m(7尺)である。

柱穴 8か所。平面形は円形または楕円形で、長径20～35cm、短径20～30cmである。深さ5～20cmで掘



SB06 ビット土層解説

1	7.5YR3/1	黒褐色	ローム粒子少量	黒色土粒子多量/粘性あり	縮まりなし	3	7.5YR3/3	暗褐色	ロームブロック・粒子少量	黒色土粒子中量/粘性あり	縮まりあり
2	7.5YR3/2	黒褐色	ローム粒子少量	黒色土粒子多量/粘性あり	縮まりあり	4	7.5YR4/4	褐色	ロームブロック・粒子中量	黒色土粒子少量/粘性あり	縮まりあり

第87図 第6号掘立柱建物跡実測図

方の壁は外傾・直立している。

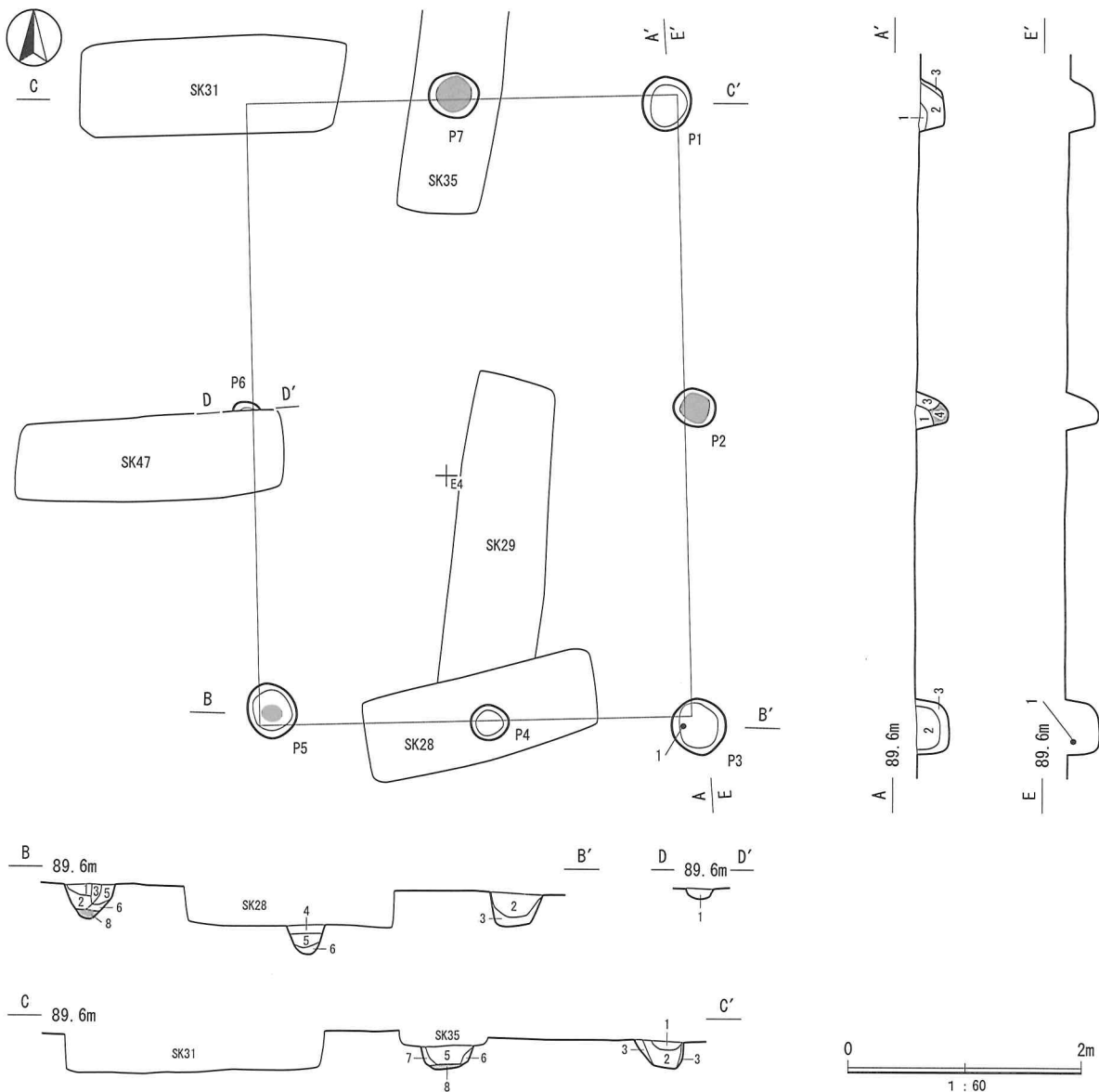
遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、形状から中世と考えられる。

第7号掘立柱建物跡 (SB07) (第88・89図、第36・37表、図版9・26)

位置 調査区西のD3～E3グリッド、標高89mほどの平坦地に位置している。

重複関係 第28・29・31・35・47号土坑に掘り込まれている。



SB07 ピット土層解説

- | | | | |
|----------------|----------------------------------|----------------|---------------------------------------|
| 1 7.5YR3/3 暗褐色 | ローム粒子少量 炭化粒子中量/粘性あり 縮まりなし | 5 7.5YR3/3 暗褐色 | ロームブロック・粒子少量 炭化粒子中量/粘性あり 縮まりあり |
| 2 7.5YR3/2 黒褐色 | ロームブロック微量・粒子少量 炭化粒子多量/粘性あり 縮まりなし | 6 7.5YR3/3 暗褐色 | ロームブロック・粒子少量 焼土粒子少量 炭化粒子中量/粘性あり 縮まりあり |
| 3 7.5YR3/4 暗褐色 | ロームブロック少量・粒子中量 炭化粒子少量/粘性あり 縮まりあり | 7 7.5YR4/3 褐色 | ロームブロック・粒子中量 炭化粒子微量/粘性あり 縮まりあり |
| 4 7.5YR3/2 黒褐色 | ローム粒子少量 炭化粒子多量/粘性あり 縮まりあり | 8 7.5YR2/1 黒色 | ローム粒子微量 炭化粒子多量/粘性あり 縮まりあり |

第88図 第7号掘立柱建物跡実測図

規模と構造 桁行2間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向はN-5°-Wである。確認できた桁行5.46m、梁行3.68mで、面積は20.1㎡である。柱間寸法は、桁行は東平が北妻から2.48m(8尺)、2.98m(9尺)、西平は2.48m(8尺)のみを確認し柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は北妻が1.82m(6尺)を確認し、南妻がP8-P1間が1.86m(6尺)、1.82m(6尺)である。

柱穴 7か所。平面形は円形で、径30~50cmである。深さ30~50cmで掘方の壁は外傾している。第3~7層は掘方への埋土で、第1・2層は柱抜き取り後の覆土で、第4・8層は当り痕と考えられる。

遺物出土状況 土師器片7点[坏2点(23g)、甕5点(17g)]、須恵器坏片1点(5g)。1のは土師器甕は、P3内から出土しているが、流れ込みと考えられる。

所見 時期は、形状から中世と考えられる。



第 89 図 第 7 号掘立柱建物跡出土遺物実測図

第 36 表 第 7 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1	土師器	甕	—	(3.6)	—	長石・石英	にぶい橙	普通	体部体部外面横位のヘラ削り 内面横位のナデ	P3 覆土中層	5% 図版 26

第 37 表 中世掘立柱建物跡一覧

番号	位置	桁行方向	柱間数		面積	柱間寸法		柱穴			主な出土遺物	時代	備考 重複関係 旧→新	
			桁×梁 (間)	桁×梁(m)		桁間 (m)	梁間 (m)	構造	柱穴 数	平面形				深さ(cm)
4	C4~D4	N-0°	2×2	4.82×4.28	20.63	2.20× 2.64	2.18~ 2.40	側柱	12	円形	20~50	土師器	中世	
5	D5~D6	N-85°-W	3×2	8.28×4.48	37.1	2.62~ 3.04	2.22~ 3.80	側柱	9	円形・ 楕円形	10~30	—	中世	本跡→SD02、SK44・ 45 SB06 新旧不明
6	D6~E6	N-35°-W	2×2	4.00×3.96	15.84	2.00	1.80~ 2.16	側柱	8	円形・ 楕円形	5~20	—	中世	本跡→SD02、SK46・ 108 SB05 新旧不明
7	D3~E3	N-5°-W	2×2	5.46×3.68	20.1	2.48~ 2.98	1.82~ 1.86	側柱	7	円形	30~50	土師器・ 須恵器	中世	本跡→SK28・29・ 31・35・47

5 時期不明の遺構と遺物

時期不明の遺構は、掘立柱建物跡7棟、柱穴列20条、溝跡5条、土坑185基を確認した。柱穴の規模が不均一なものを時期不明の掘立柱建物跡とした。以下、遺構と遺物について記述する。

(1) 掘立柱建物跡

第1号掘立柱建物跡(SB01)(第90図、第38表、図版10)

位置 調査区南西部H1グリッド、標高89mほどの平坦部に位置している。

重複関係 第1号溝跡に掘り込まれている。

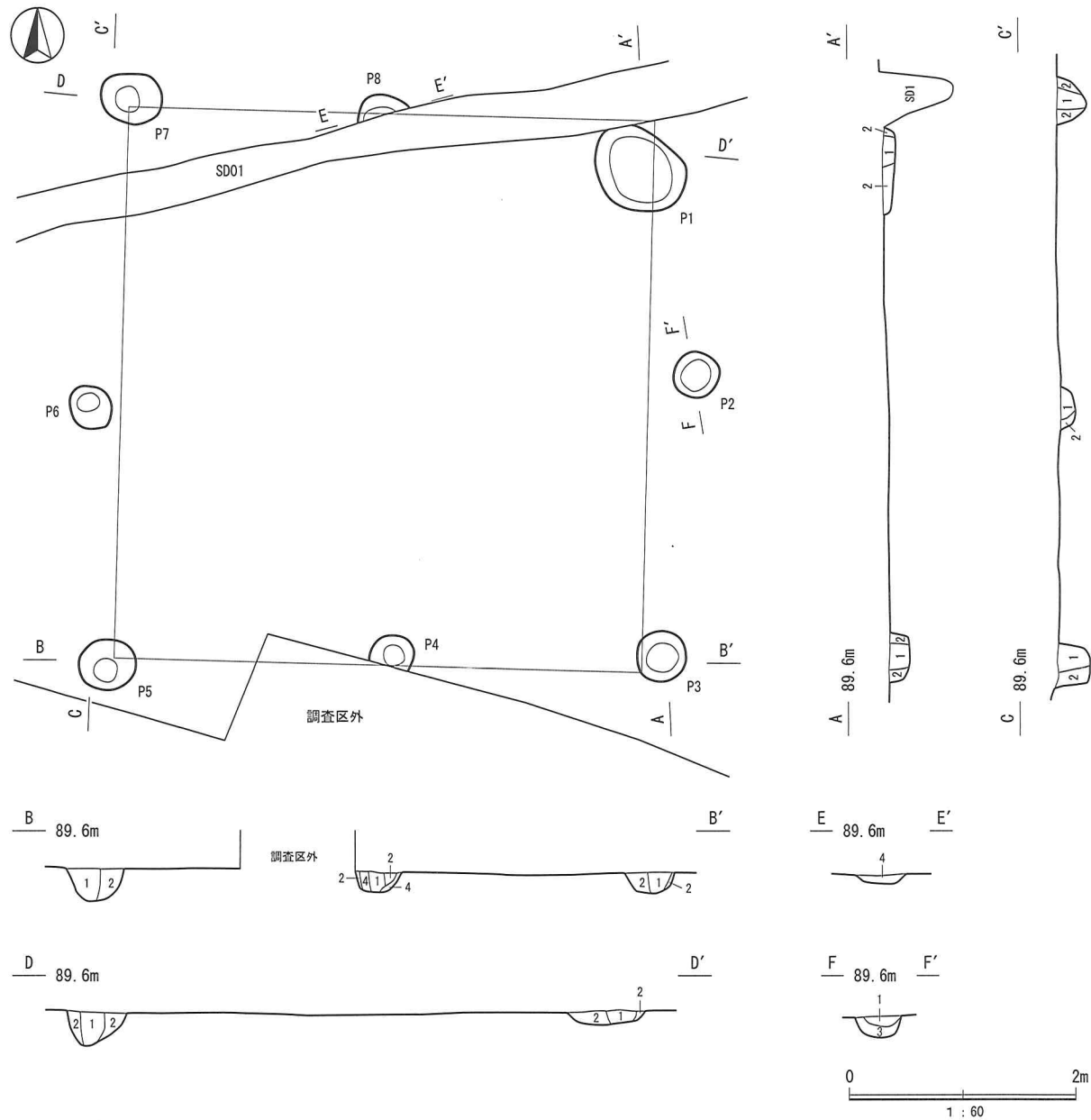
規模と構造 桁行2間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向はN-90°-Eである。桁行5.00m、梁行4.98mで、面積は24.9㎡である。柱間寸法は、桁行が北平は西妻から2.70m(9尺)、2.30m(8尺)、南平は西妻から2.42m

(8尺)、2.48m(8尺)で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は東妻が2.50m(8尺)、2.48m(8尺)で西妻が2.20m(7尺)、2.10m(7尺)である。

柱穴 8か所。平面形は円形または楕円形で、長径30~90cm、短径30~64cmである。深さ10~30cmで掘方の壁はほぼ外傾している。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、決定するものがなく不明である。



SB01 ビット土層解説

- | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----|--------------|-------------|-------|---|---------|-----|----------------|--------------|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色 | ロームブロック・粒子微量 | 炭化粒子少量 | 黒色土 | 3 | 10YR3/4 | 暗褐色 | ロームブロック少量・粒子中量 | 黒色土粒子中量 |
| | | | 粒子多量/粘性あり | | 縮まりなし | | | | 粘性あり | 縮まりあり |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒多量/粘性あり | 縮まりあり | 4 | 10YR4/4 | 褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子少量/粘性あり |
| | | | | | | | | | | 縮まりあり |

第90図 第1号掘立柱建物跡実測図

第8号掘立柱建物跡 (SB08) (第91図、第38表)

位置 調査区西D2～D3グリッド、標高89mほどの平坦部に位置している。

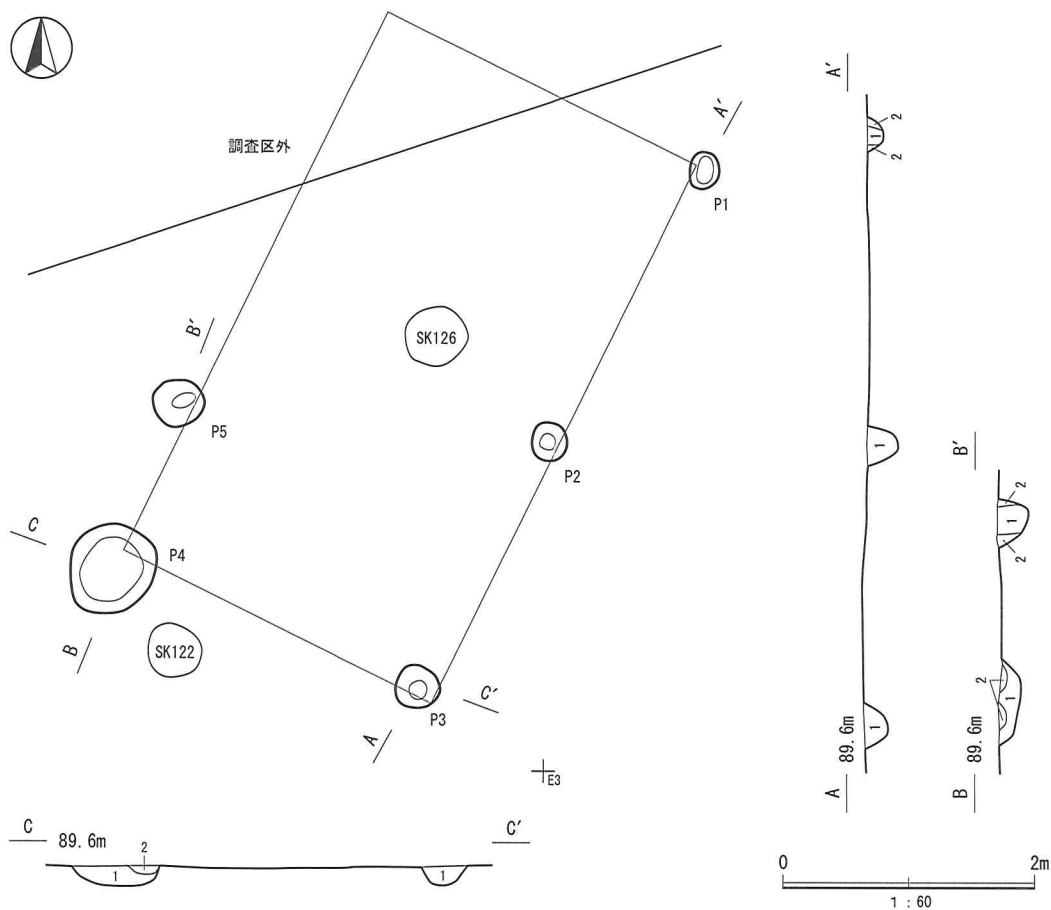
重複関係 北部が調査区外に延びている。

規模と構造 桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、桁行方向はN-25°-Eである。確認できた桁行4.70m、梁行2.70mで、面積は12.69㎡である。柱間寸法は、桁行が東平は北妻から2.40m(8尺)、2.20m(7尺)、南平は北妻から1.80m(6尺)で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は南妻が2.70m(9尺)で西妻は測定不能である。

柱穴 5か所。平面形は円形または楕円形で、長径30～70cm、短径20～70cmである。深さ10～30cmで掘方の壁はほぼ外傾している。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期を決定するものがなく、不明である。



SB08 ピット土層解説

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----|---------|-----------|-------|---|---------|-----|-----------|-------|-----|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色 | ローム粒子微量 | 炭化粒子少量 | 黒色土 | 2 | 10YR3/1 | 黒褐色 | ロームブロック微量 | 粒子少量 | 黒色土 |
| | | | ブロック中量 | 粒子多量/粘性なし | 縮まりなし | | | | 粒子多量/粘性あり | 縮まりなし | |

第91図 第8号掘立柱建物跡実測図

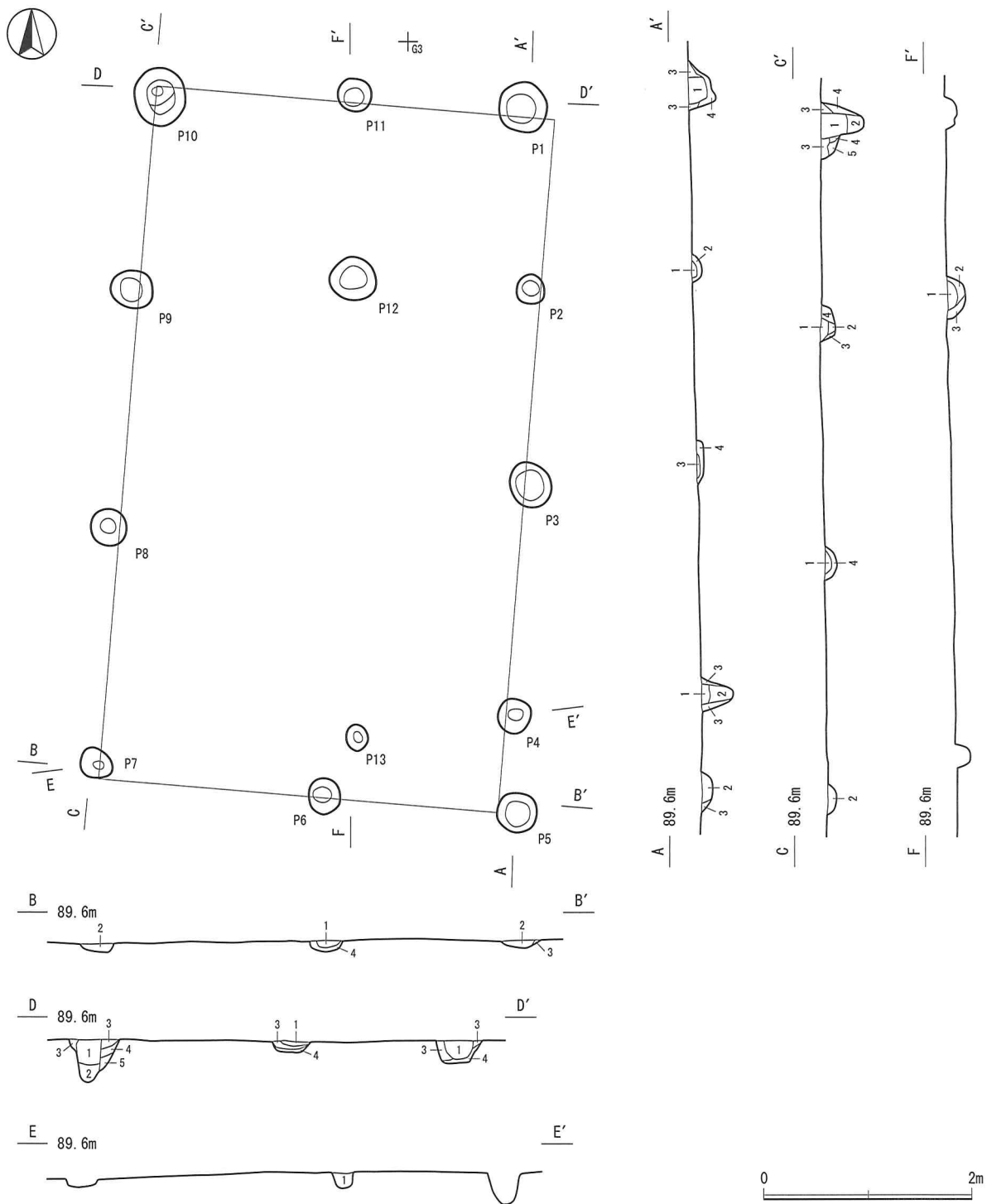
第11号掘立柱建物跡 (第92図、第38表、図版10)

位置 調査区西G2～G3グリッド、標高89mほどの平坦部に位置している。

規模と構造 桁行3間、梁行2間の総柱建物跡で、桁行方向はN-5°-Eである。確認された桁行6.50m、梁行4.10mで、面積は26.65㎡である。柱間寸法は、桁行が東平は北妻から1.72m(6尺)、1.90m(6尺)、2.12m

(7尺)、西平は北妻から1.80m(6尺)、2.20m(7尺)、2.10m(7尺)で柱筋はほぼ揃っている。また、梁は北妻が1.82m(6尺)、1.70m(8尺)で南妻が1.60m(5尺)、2.50m(8尺)である。

柱穴 13か所。平面形は円形で、径20~40cmである。深さ10~40cmで掘方の壁はほぼ外傾している。



SB11 ピット土層解説

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----|-----------|--------------|--------------|-------|---------|---------|--------------|--------------|--------------|-------|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 締まりなし | 4 | 10YR3/4 | 暗褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 締まりあり | |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量 | 粘土粒子少量/粘性あり | 締まりなし | 5 | 10YR4/4 | 褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子少量/粘性あり | 締まりあり |
| 3 | 10YR3/3 | 暗褐色 | ロームブロック少量 | ・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 締まりあり | | | | | | |

第92図 第11号掘立柱建物跡実測図

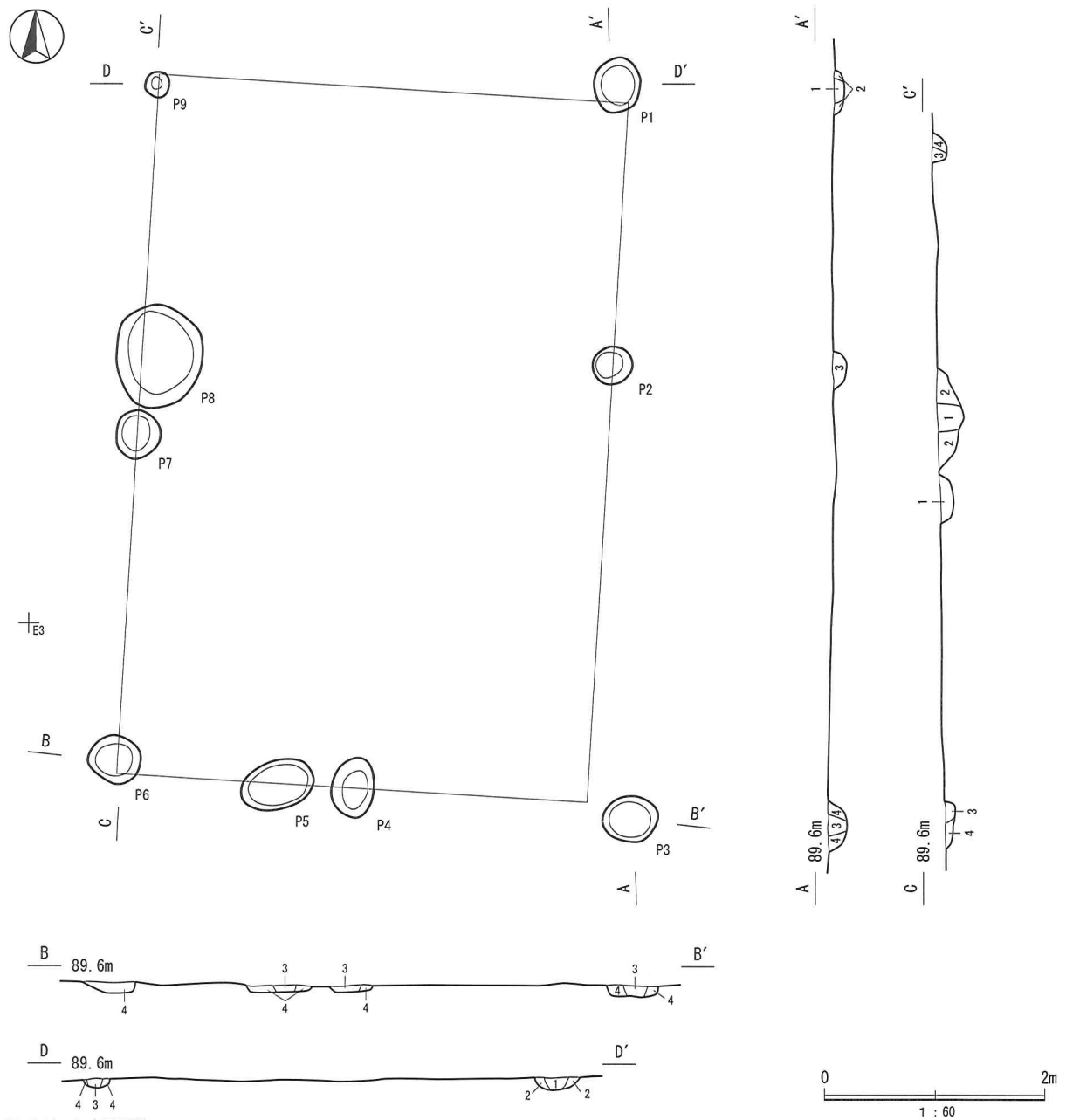
遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期を決定するものがなく、不明である。

第12号掘立柱建物跡 (SB12) (第93図、第38表)

位置 調査区西D3～E3グリッド、標高89mほどの平坦部に位置している。

規模と構造 桁行2間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向はN-0°である。確認された桁行6.60m、梁行4.76mで、面積は31.416㎡である。柱間寸法は、桁行が東平は北妻から2.50m(8尺)、4.10m(14尺)、西平は北妻から3.20m(10尺)、3.00m(10尺)、2.62m(9尺)で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は南



SB12 ビット土層解説

- | | | | | | | | | | | |
|---|-------------|--------------|--------------|-------|---|-------------|--------------|---------|--------------|-------|
| 1 | 10YR3/2 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 締まりなし | 3 | 10YR2/3 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量 | 今市パミス少量/粘性あり | 締まりなし |
| 2 | 10YR3/4 暗褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 締まりあり | 4 | 10YR3/3 暗褐色 | ロームブロック・粒子少量 | 黒色土粒子中量 | 今市パミス微量/粘性あり | 締まりあり |

第93図 第12号掘立柱建物跡実測図

妻が 1.50m (5 尺)、0.60m (2 尺)、2.48m (8 尺) で北妻が 4.20m (14 尺) である。P 4 と P 5 は建替えと考えられる。

柱穴 9 か所。平面形は円形または楕円形で、長径 20 ~ 70cm、短径 20 ~ 50cm である。深さ 10 ~ 20cm で掘方の壁はほぼ外傾している。

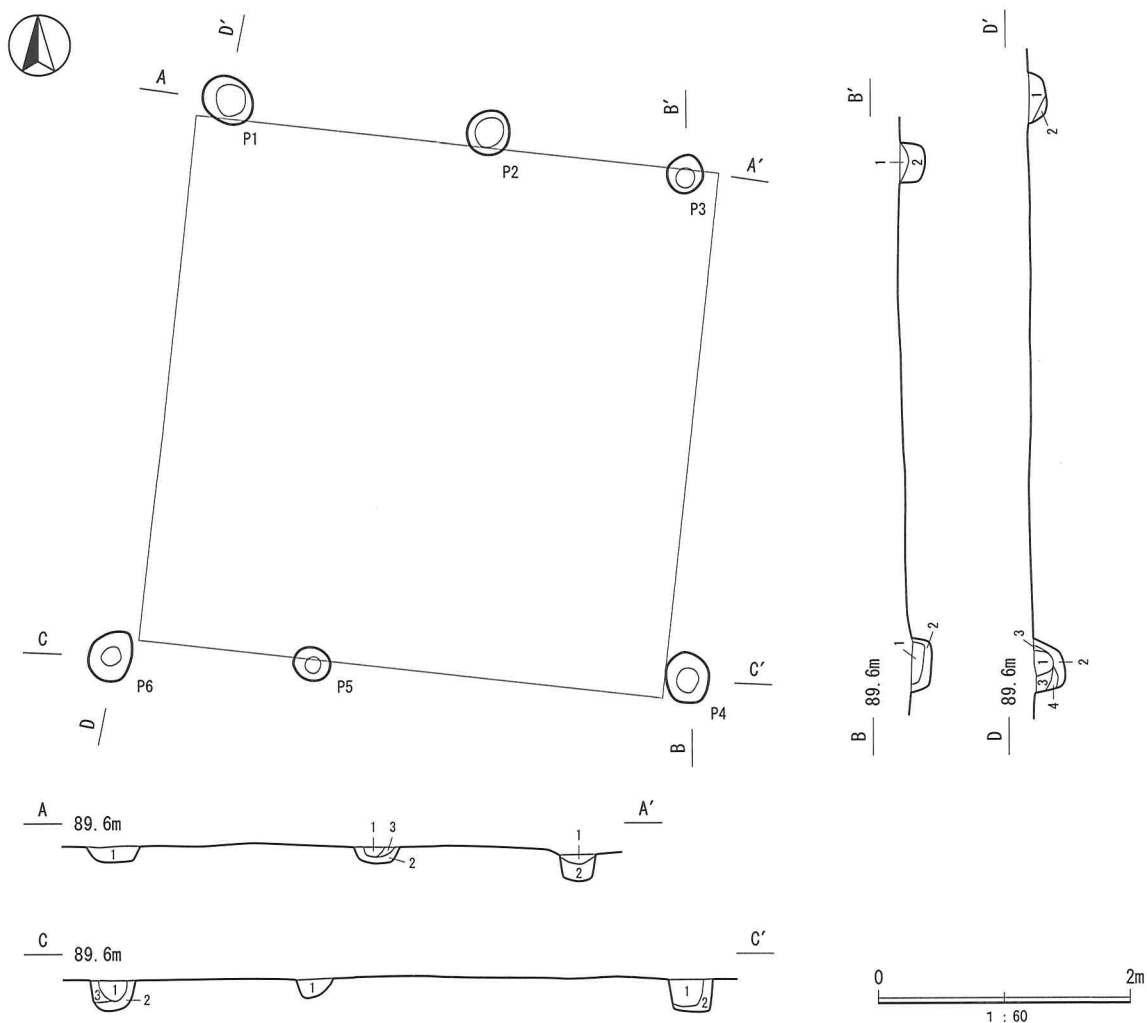
遺物出土状況 検出されなかった。

所見 時期を決定するものがなく、時期不明である。

第 13 号掘立柱建物跡 (SB13) (第 94 図、第 38 表、図版 10)

位置 調査区西 D 4 ~ E 4 グリッド、標高 89m ほどの平坦部に位置している。

規模と構造 桁行 2 間、梁行 1 間の側柱建物跡で、桁行方向は N-80°-W である。確認できた桁行 4.28m、梁行 4.48m で、面積は 19.174m² である。柱間寸法は、桁行が北平は西妻から 2.22m (7 尺)、1.5m (5 尺)、南平は西妻から 1.62m (5 尺)、2.98m (10 尺) で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は東妻が 4.02m (12 尺) で西妻が 4.42m (13 尺) である。



SB13 ビット土層解説

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----|-----------|--------------|--------------|-------|---------|---------|--------------|--------------|--------------|-------|
| 1 | 10YR3/1 | 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 縮まりなし | 3 | 10YR3/2 | 黒褐色 | ロームブロック・粒子少量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 縮まりあり | |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐色 | ロームブロック少量 | 粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 縮まりあり | 4 | 10YR4/4 | 褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子少量/粘性あり | 縮まりあり |

第 94 図 第 13 号掘立柱建物跡実測図

柱穴 6か所。平面形は円形または楕円形で、長径 40～60cm、短径 30～50cmである。深さ 10～30cmで、掘方の壁はほぼ外傾している。

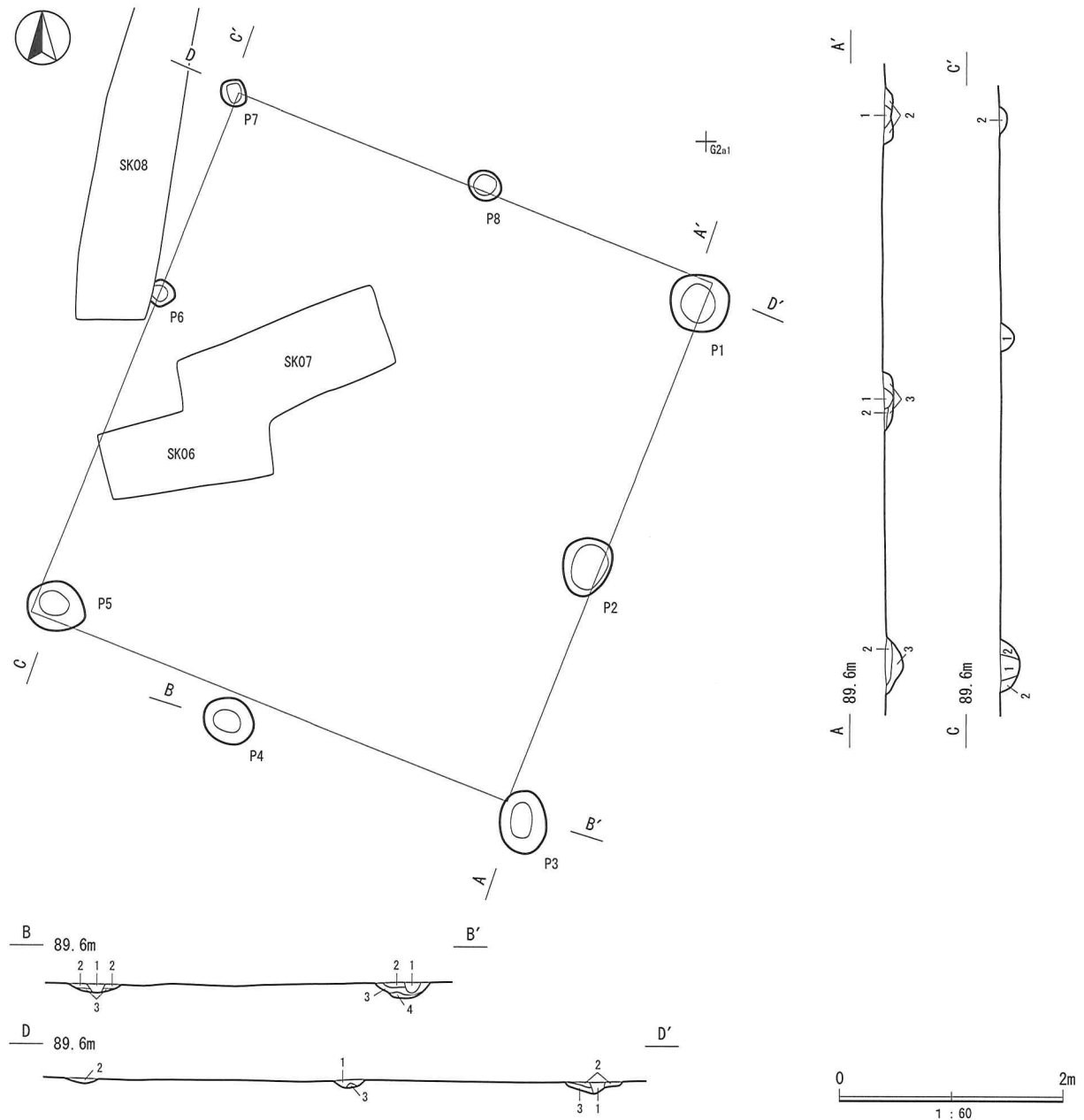
遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、決定するものがなく不明である。

第 14 号掘立柱建物跡 (SB14) (第 95 図、第 38 表、図版 10)

位置 調査区西 F 1～G 1 グリッド、標高 89m ほどの平坦部に位置している。

重複関係 第 6・7・8 号土坑に掘り込まれている。



SB14 ピット土層解説

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----|----------------|--------------|-------|---|---------|-----|--------------|--------------|-------|
| 1 | 10YR2/2 | 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 縮まりなし | 3 | 10YR3/4 | 暗褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 縮まりあり |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐色 | ロームブロック少量・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 縮まりあり | 4 | 10YR4/4 | 褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子少量/粘性あり | 縮まりあり |

第 95 図 第 14 号掘立柱建物跡実測図

規模と構造 桁行2間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向はN-15°-Eである。確認できた桁行4.88m、梁行4.58mで、面積は22.35㎡である。柱間寸法は、桁行が東平は北妻から2.56m(8尺)、2.32m(8尺)、西平は北妻から1.94m(8尺)、2.84m(9尺)で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は北妻が2.38m(8尺)、2.20m(8尺)で南妻が1.88m(6尺)、2.86m(9尺)である。

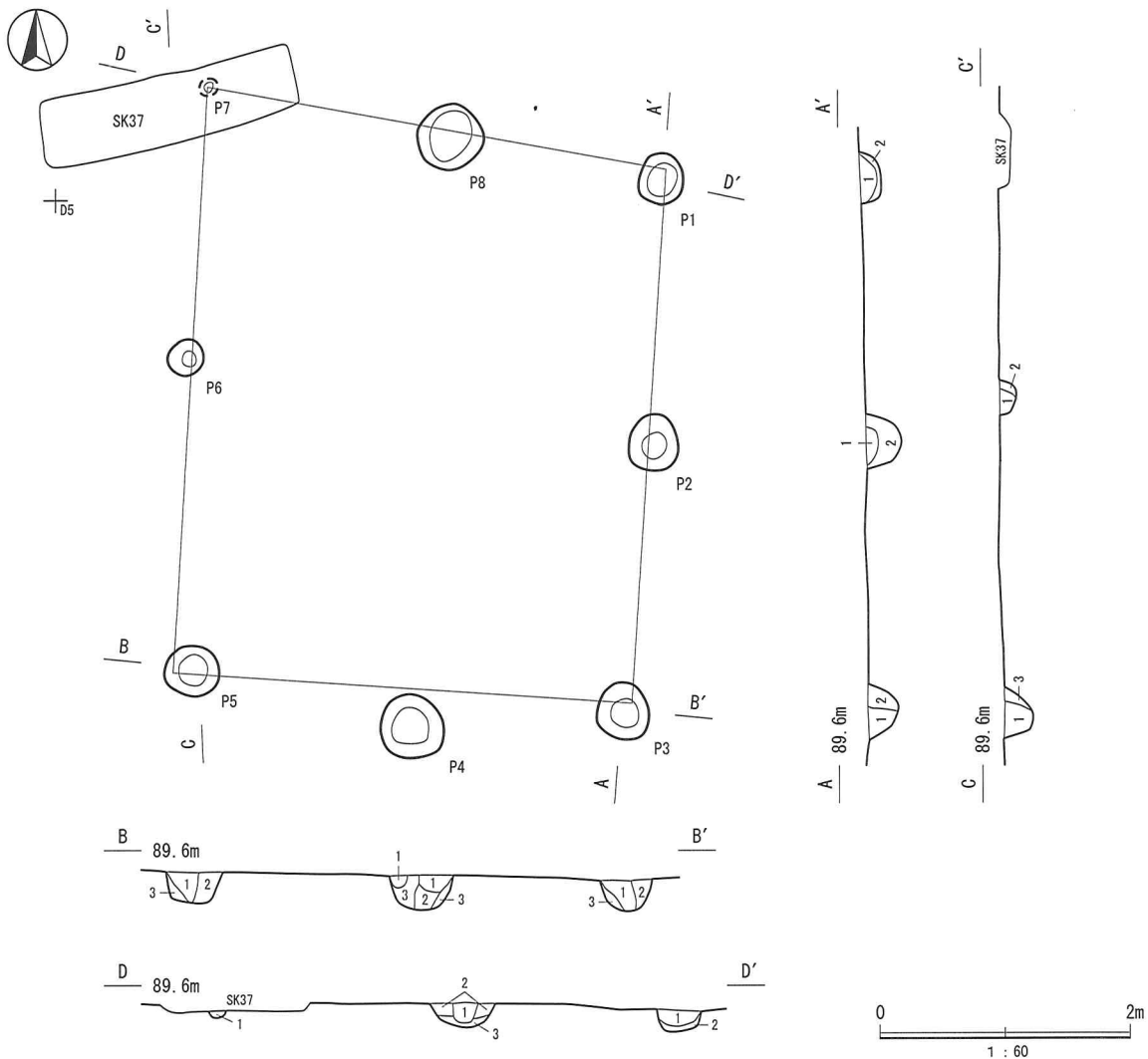
柱穴 8か所。平面形は円形または楕円形で、長径35~50cm、短径30~40cmである。深さ10~20cmで、掘方の壁はほぼ外傾している。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、決定するものがなく不明である。

第15号掘立柱建物跡(SB15)(第96図、第38表、図版10)

位置 調査区西C5~D5グリッド、標高89mほどの平坦部に位置している。



SB15ピット土層解説

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----|---------|---------|---------|---|---------|-----|--------------|------------|----|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 | ローム粒子微量 | 黒色土粒子多量 | 今市パミス少量 | 3 | 10YR3/3 | 暗褐色 | ロームブロック・粒子少量 | 黒色土粒子中量 | 今市 |
| | | | 粘性あり | 縮まりなし | | | | | パミス微量/粘性あり | 縮まりなり | |
| 2 | 10YR3/2 | 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量 | 今市パミス少量 | 4 | 10YR4/4 | 褐色 | ロームブロック・粒子中量 | 黒色土粒子少量/粘性 | あり |
| | | | 粘性あり | 縮まりあり | | | | | あり | 縮まりあり | |

第96図 第15号掘立柱建物跡実測図

重複関係 第 37 号土坑に掘り込まれている。

規模と構造 桁行 2 間、梁行 2 間の側柱建物跡で、桁行方向は N-5°-E である。確認できた桁行 4.50m、梁行 3.56m で、面積は 16.02㎡である。柱間寸法は、桁行が東平は北妻から 2.10m (7 尺)、2.10m (7 尺)、西平は北妻から 2.10m (7 尺)、2.40m (8 尺) で柱筋はほぼ揃っている。また、梁行は北妻が 1.76m (6 尺)、1.80m (8 尺) で南妻が 1.60m (5 尺)、1.70m (8 尺) である。

柱穴 8 か所。平面形は円形で、径 30～50cm である。深さ 20～30cm で、掘方の壁はほぼ外傾している。
遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、決定するものがなく不明である。

第 38 表 時期不明の掘立柱建物跡一覧

番号	位置	桁行方向	柱間数		面積	柱間寸法		柱穴			主な出土遺物	時代	備考 重複関係 旧→新	
			桁×梁 (間)	桁×梁 (m)		桁間 (m)	梁間 (m)	構造	柱穴 数	平面形				深さ (cm)
1	H1	N-90°-E	2×2	5.00×4.98	24.9	2.30～ 2.70	2.10～ 2.50	側柱	8	円形・ 楕円形	10～30	-	時期 不明	本跡→SD01
8	D2～D3	N-25°-E	2×1	4.70×2.70	[12.69]	1.80～ 2.40	2.70	側柱	5	円形・ 楕円形	10～30	-	時期 不明	
11	G2～G3	N-5°-E	3×2	6.50×4.10	26.65	1.72～ 2.20	1.60～ 2.50	総柱	13	円形	10～40	-	時期 不明	
12	D3～E3	N-0°	2×2	6.60×4.76	31.416	2.50～ 4.10	1.50～ 4.20	側柱	9	円形・ 楕円形	10～20	-	時期 不明	
13	D4～E4	N-80°-W	2×1	4.28×4.48	19.174	1.50～ 2.98	4.02～ 4.42	側柱	6	円形・ 楕円形	10～30	-	時期 不明	
14	F1～G1	N-15°-E	2×2	4.88×4.58	22.35	1.94～ 2.84	2.20～ 2.86	側柱	8	円形・ 楕円形	10～20	-	時期 不明	本跡→SK06・07・ 08
15	C5～D5	N-5°-E	2×2	4.50×3.56	16.02	2.10～ 2.40	1.60～ 1.80	側柱	8	円形	20～30	-	時期 不明	本跡→SK37

(2) 柱穴列

第 1 号柱穴列 (SA01) (第 97 図、第 39 表、図版 10)

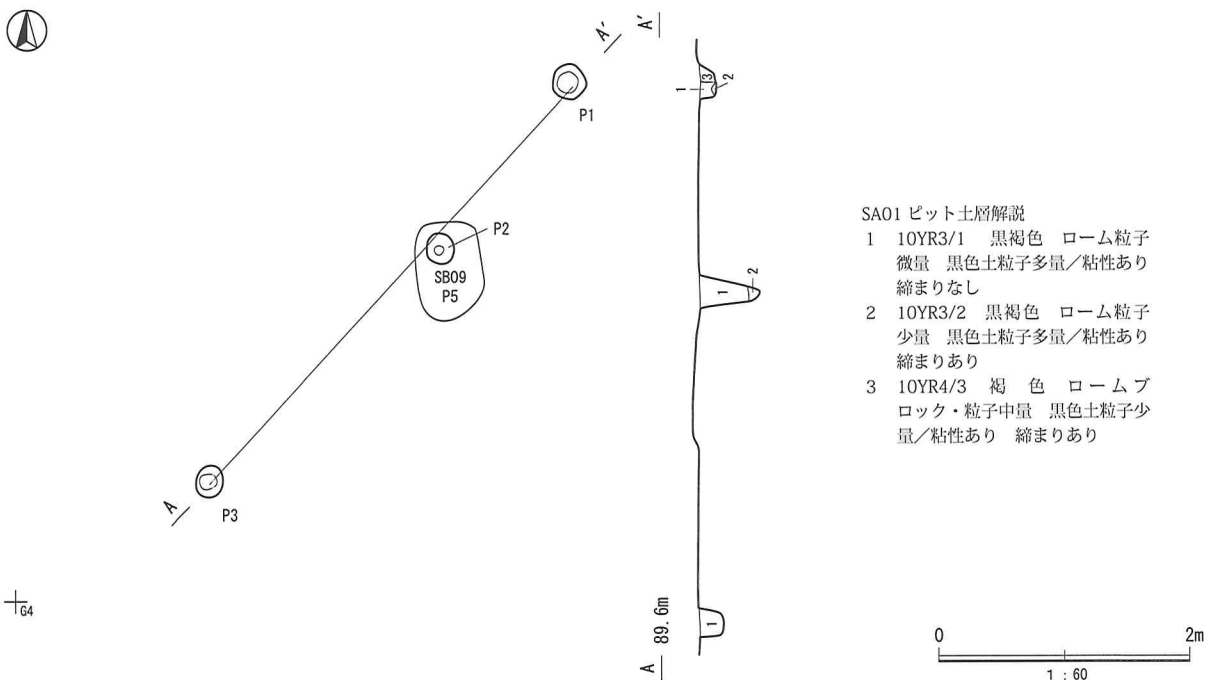
位置 調査区西部 F 4 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

重複関係 第 9 号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。

規模と構造 東西方向 4.30m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-40°-E である。柱間寸法は P 1-P 2 間が 1.70m (6 尺)、P 2-P 3 間が 2.60m (8 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 18～20cm である。深さ 20～50cm で掘方の壁は外傾している。第 2・3 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、第 9 号掘立柱建物跡と重複しているが、不明である。



第97図 第1号柱穴列実測図

第2号柱穴列 (SA02) (第98図、第39表)

位置 調査区西部 F 3～F 4 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

重複関係 第9号掘立柱建物跡を掘り込み、第20・21号土坑に掘り込まれている。

規模と構造 南北方向 8.28m の間に並ぶ柱穴3か所を確認した。方向は N-5°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 4.12m (12 尺)、P 2 - P 3 間が 4.16m (12 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3か所。平面形は円形で、径 20～32cm である。深さ 10～32cm で掘方の壁は外傾している。第2層は掘方の埋土で、第1層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、第9号掘立柱建物跡と重複しているが、不明である。

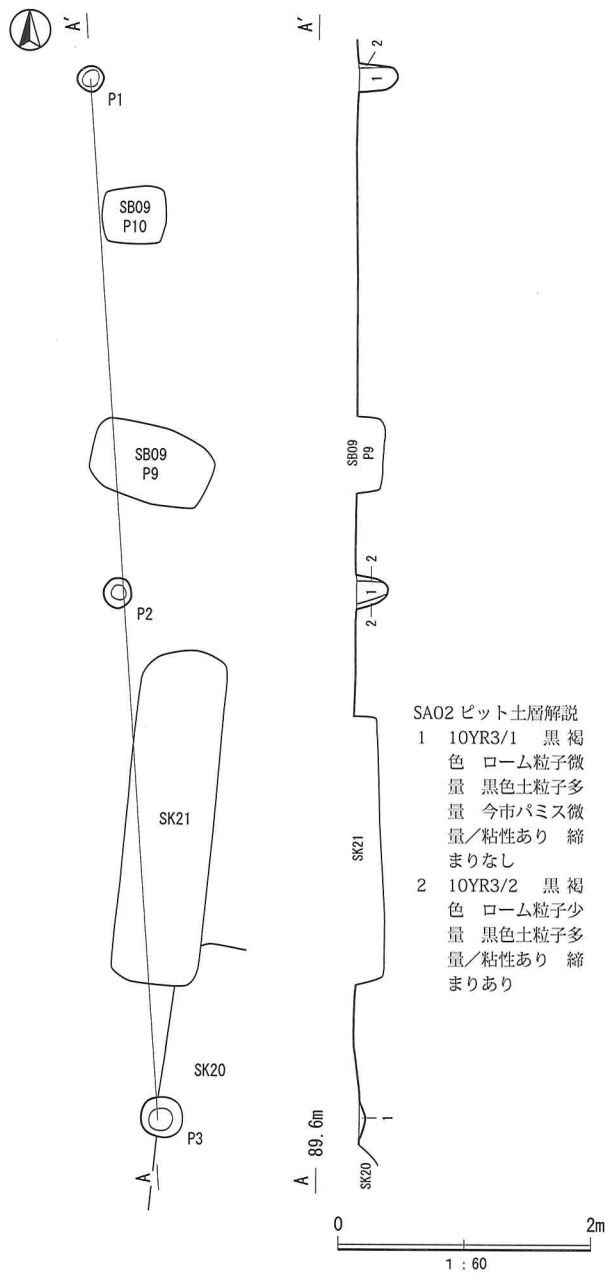
第3号柱穴列 (SA03) (第99図、第39表)

位置 調査区西部 F 4～G 4 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

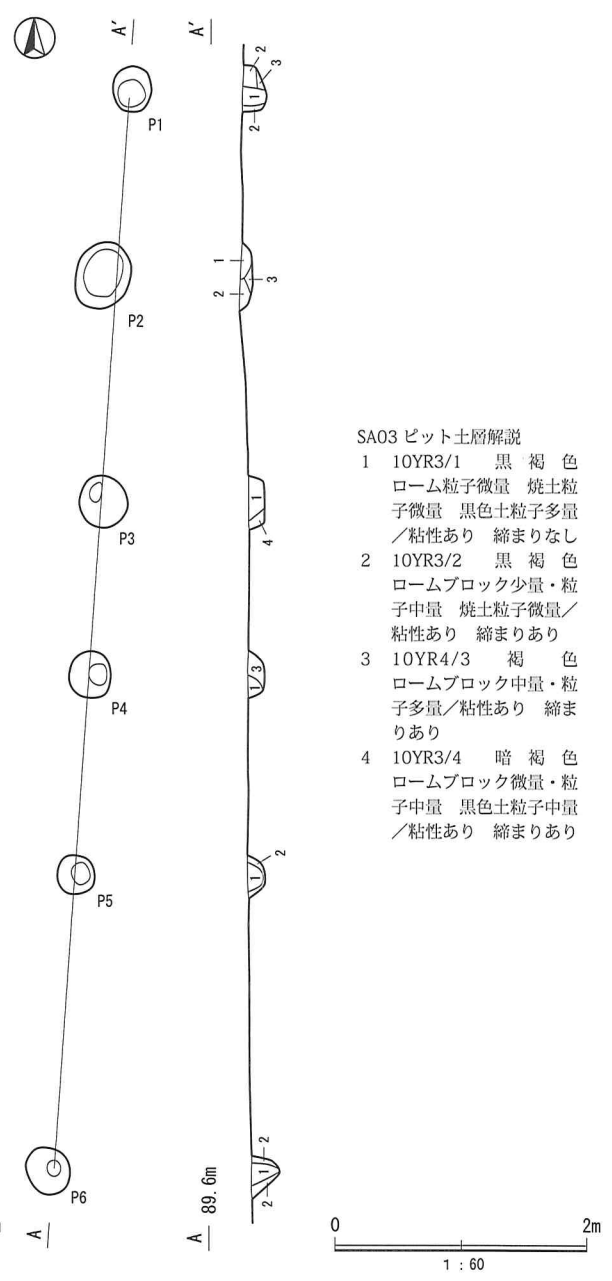
規模と構造 南北方向 8.56m の間に並ぶ柱穴6か所を確認した。方向は N-5°-E である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 1.40m (5 尺)、P 2 - P 3 間が 1.80m (6 尺)、P 3 - P 4 間が 1.40m (5 尺)、P 4 - P 5 間が 1.72m (6 尺)、P 5 - P 6 間が 2.32m (8 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 6か所。平面形は円形または楕円形で、長径 20～60cm、短径 20～46cm である。深さ 10～30cm で掘方の壁は外傾している。第2～4層は掘方への埋土で、第1層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



第98図 第2号柱穴列実測図



第99図 第3号柱穴列実測図

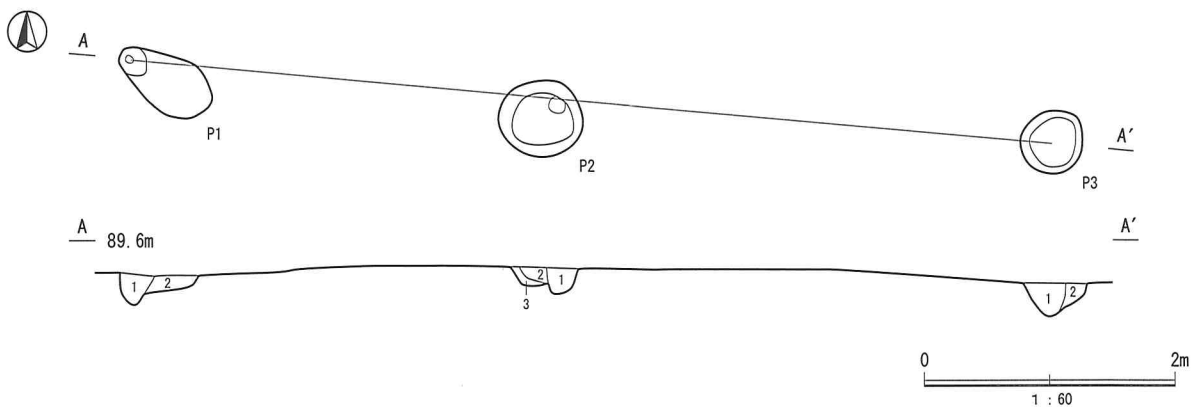
第4号柱穴列 (SA04) (第100図、第39表)

位置 調査区西部 F 4～F 5 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 東西方向 6.40m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-85°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間 が 3.30m (10 尺)、P 2 - P 3 間 が 3.10m (10 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形または楕円形で、長径 30～70cm、短径 30～40cm である。深さ 10～30cm で掘方の壁は外傾している。第 2・3 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



SA04 ピット土層解説

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----|---------|--------------|-------|---|---------|-----|----------------|--------------|-------|
| 1 | 10YR3/1 | 黒褐色 | ローム粒子微量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 締まりなし | 3 | 10YR3/4 | 暗褐色 | ロームブロック少量・粒子中量 | 黒色土粒子中量/粘性あり | 締まりあり |
| 2 | 10YR3/2 | 黒褐色 | ローム粒子少量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 締まりあり | | | | | | |

第 100 図 第 4 号柱穴列実測図

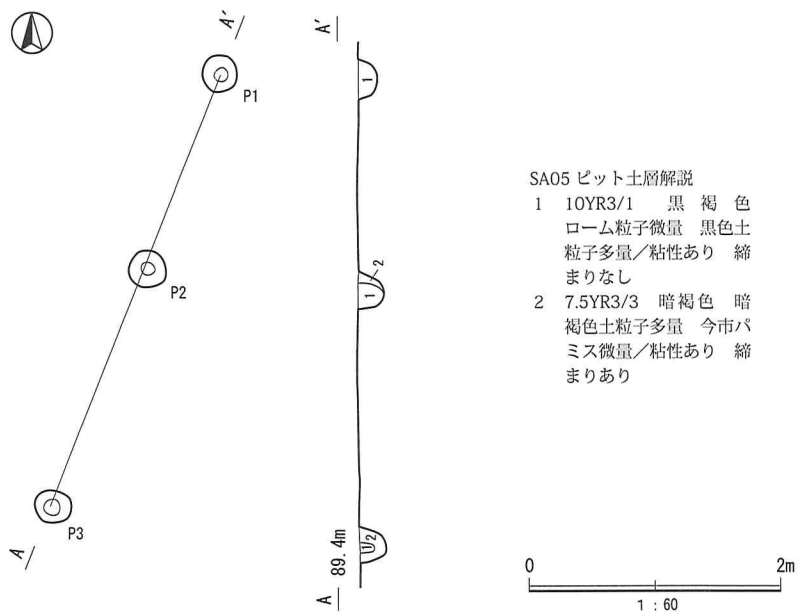
第 5 号柱穴列 (SA05) (第 101 図、第 39 表)

位置 調査区西部 G 5 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 南北方向 3.72m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-20°-E である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 1.68m (5 尺)、P 2 - P 3 間が 2.04m (7 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 28 ~ 30cm である。深さ 5 ~ 25cm で掘方の壁は外傾している。第 2 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



SA05 ピット土層解説

- | | | | | | |
|---|----------|-----|----------|--------------|-------|
| 1 | 10YR3/1 | 黒褐色 | ローム粒子微量 | 黒色土粒子多量/粘性あり | 締まりなし |
| 2 | 7.5YR3/3 | 暗褐色 | 暗褐色土粒子多量 | 今市バミス微量/粘性あり | 締まりあり |

第 101 図 第 5 号柱穴列実測図

第 6 号柱穴列 (SA06) (第 102 図、第 39 表)

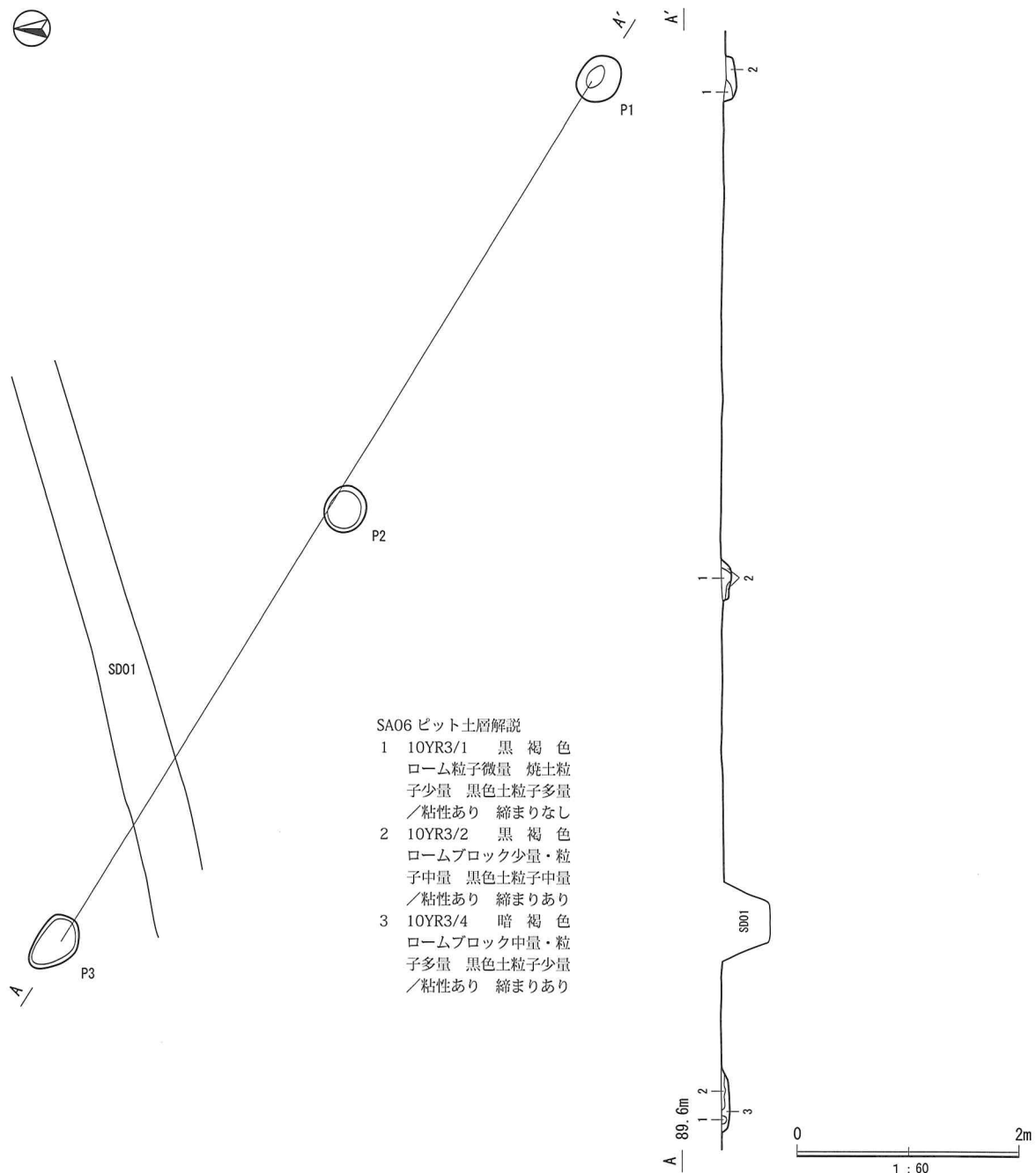
位置 調査区西部 G 5 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

重複関係 第 1 号溝跡を掘り込んでいる。

規模と構造 東西方向 9.20m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-60°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 4.70m (14 尺)、P 2 - P 3 間が 4.50m (15 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形または楕円形で、長径 40 ~ 50cm、短径 38 ~ 40cm である。深さ 10 ~ 30cm で、掘方の壁は外傾している。第 2・3 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



第 102 図 第 6 号柱穴列実測図

第 7 号柱穴列 (SA07) (第 103 図、第 39 表)

位置 調査区西部 G 2 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

重複関係 第 11 号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。

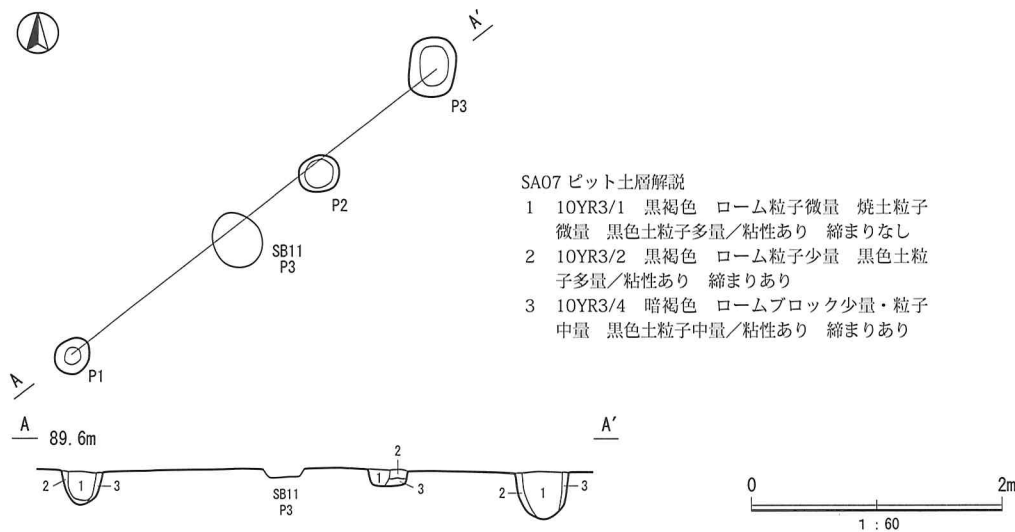
規模と構造 東西方向 3.72m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-55°-E である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 2.40m (8 尺)、P 2 - P 3 間が 1.32m (4 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 20 ~ 30cm である。深さ 10 ~ 30cm で掘方の壁は外傾している。第 2・3

層は掘方への埋土で、第1層は柱抜き取り後の覆土である。

遺物出土状況 須恵器甕片1点(11g)。細片で実測できない。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



第103図 第7号柱穴列実測図

第8号柱穴列 (SA08) (第104図、第39表)

位置 調査区西部G 2グリッド、標高89mほどの平坦地に位置している。

重複関係 第11号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。

規模と構造 東西方向3.78mの間に並ぶ柱穴3か所を確認した。方向はN-25°-Eである。柱間寸法はP1-P2間が2.32m(7尺)、P2-P3間が1.46m(5尺)である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3か所。平面形は円形で、径20~34cmである。深さ10~30cmで掘方の壁は外傾している。第2・3層は掘方への埋土で、第1層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

第16号柱穴列 (SA16) (第105図、第39表)

位置 調査区南東部I 9~J 9グリッド、標高89mほどの平坦地に位置している。

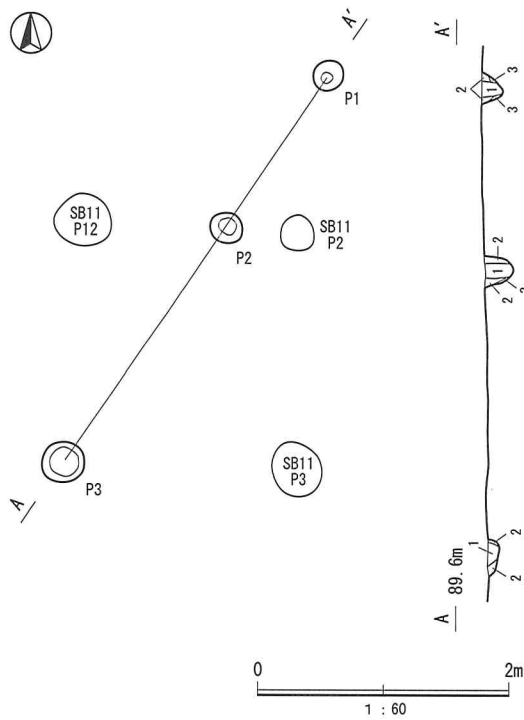
規模と構造 南北方向4.48mの間に並ぶ柱穴3か所を確認した。方向はN-5°-Wである。柱間寸法はP1-P2間が2.24m(7尺)、P2-P3間が2.22m(7尺)である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3か所。平面形は円形で、径28~32cmである。深さ10~16cmで掘方の壁は外傾している。第2層は掘方への埋土で、第1層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

第17号柱穴列 (SA17) (第106図、第39表)

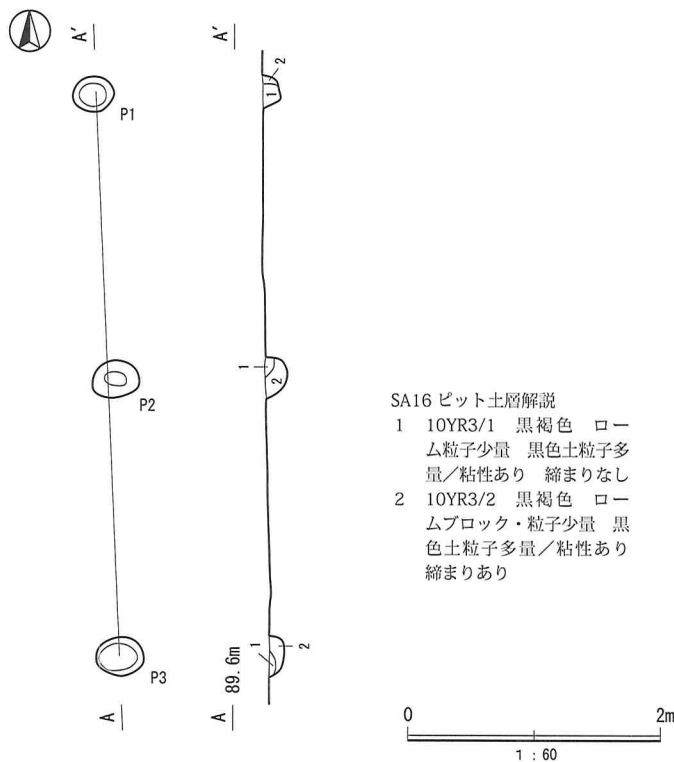
位置 調査区南東部H 9~I 9グリッド、標高89mほどの平坦地に位置している。



第104図 第8号柱穴実測図

SA08 ピット土層解説

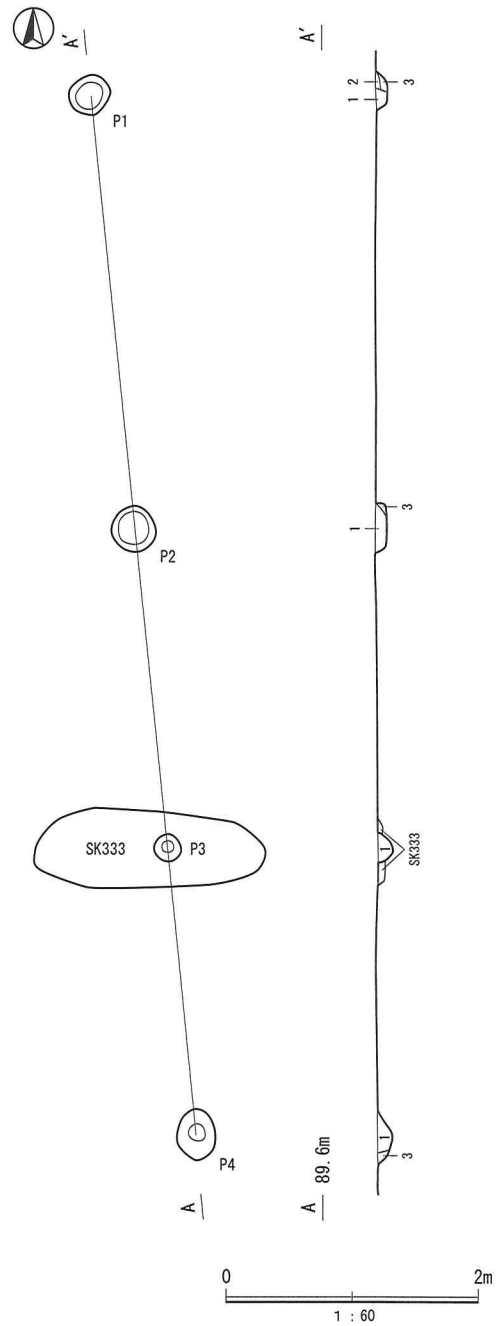
- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりなし
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりあり
- 3 10YR3/4 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土粒子中量/粘性あり 縮まりあり



第105図 第16号柱穴実測図

SA16 ピット土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりなし
- 2 10YR3/2 黒褐色 ロームブロック・粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりあり



第106図 第17号柱穴実測図

SA17 ピット土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりなし
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりなし
- 3 10YR4/4 褐色 ロームブロック・粒子中量/粘性あり 縮まりあり

重複関係 第 333 号土坑を掘り込んでいる。

規模と構造 南北方向 8.22m の間に並ぶ柱穴 4 か所を確認した。方向は N-8°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 3.40m (10 尺)、P 2 - P 3 間が 2.60m (8 尺)、P 3 - P 4 間が 2.22m (7 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 4 か所。平面形は円形で、径 20 ~ 34cm である。深さ 10 ~ 16cm で掘方の壁は外傾している。第 2・3 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

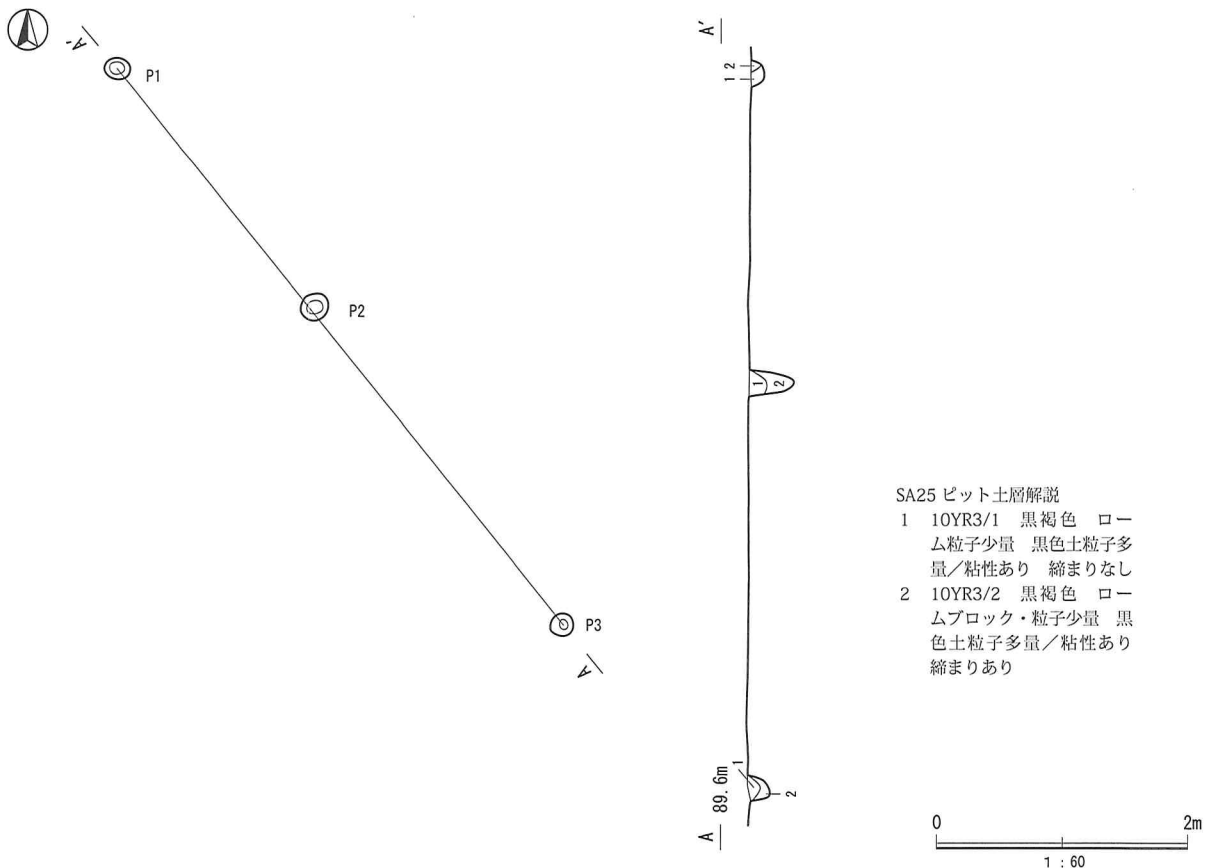
第 25 号柱穴列 (SA25) (第 107 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 I 11 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 南北方向 5.62m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-40°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 2.48m (8 尺)、P 2 - P 3 間が 3.14m (10 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 28 ~ 32cm である。深さ 10 ~ 20cm で掘方の壁は外傾している。第 2 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



第 107 図 第 25 号柱穴列実測図

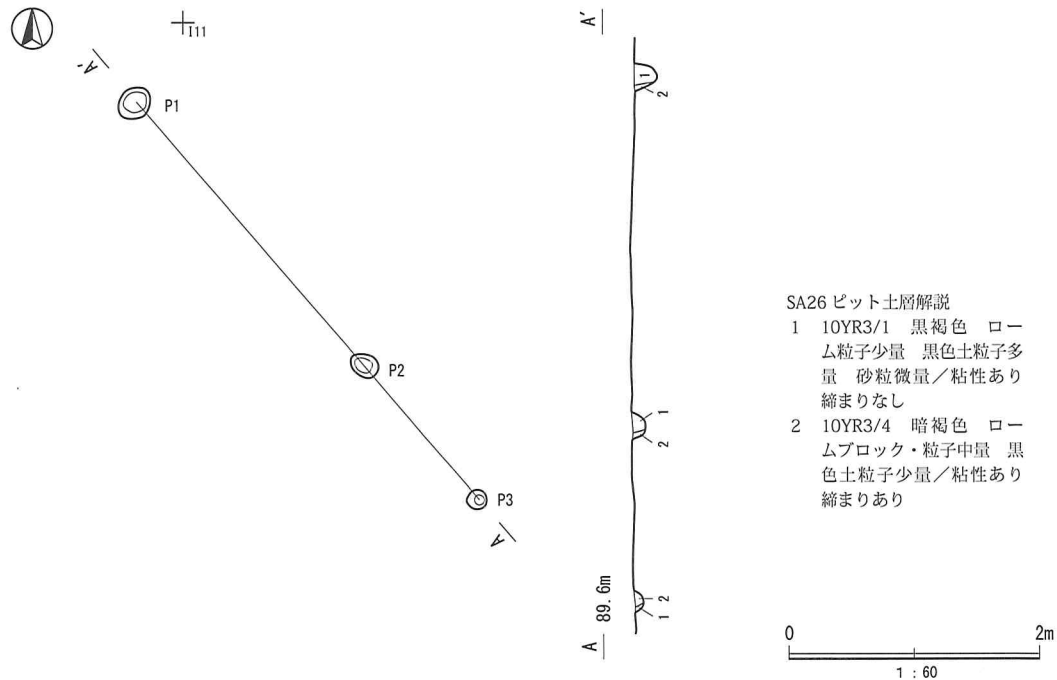
第 26 号柱穴列 (SA26) (第 108 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 I 10 ~ I 11 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 南北方向 4.12m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-40°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 2.76m (9 尺)、P 2 - P 3 間が 1.36m (4 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 18 ~ 32cm である。深さ 10 ~ 16cm で掘方の壁は外傾している。第 2 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



第 108 図 第 26 号柱穴列実測図

第 27 号柱穴列 (SA27) (第 109 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 H 11 ~ I 11 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 南北方向 2.88m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-0° である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 1.38m (4 尺)、P 2 - P 3 間が 1.50m (5 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 20 ~ 26cm である。深さ 10 ~ 12cm で掘方の壁は外傾している。第 2 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

第 28 号柱穴列 (SA28) (第 110 図、第 39 表)

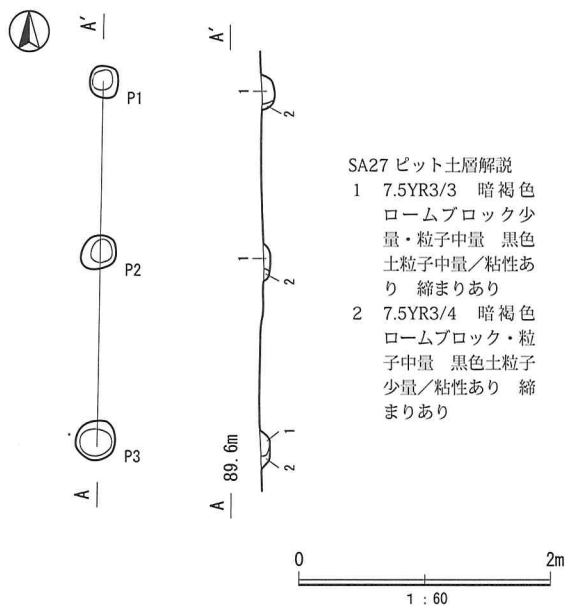
位置 調査区南東部 H11 ~ I11 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

重複関係 第 246・247 号土坑を掘り込んでいる。

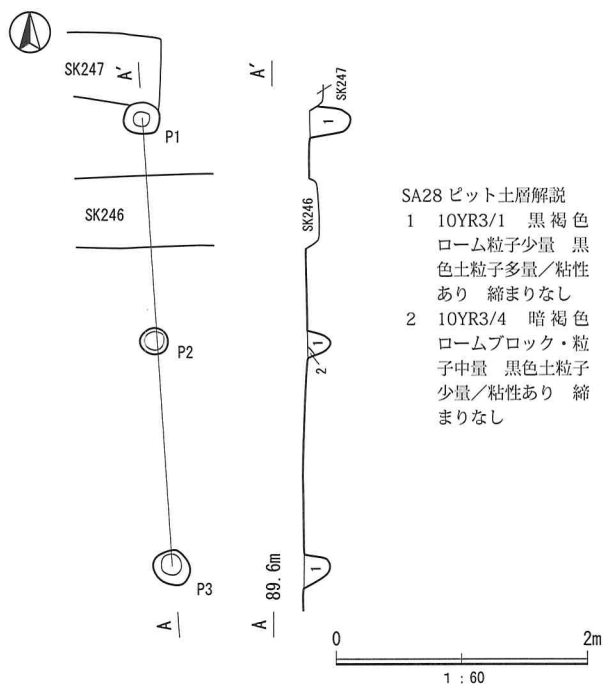
規模と構造 南北方向 3.52m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-2°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 1.76m (8 尺)、P 2 - P 3 間が 1.76m (8 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 22 ~ 28cm である。深さ 20 ~ 40cm で掘方の壁は外傾している。第 2 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



第 109 図 第 27 号柱穴列実測図



第 110 図 第 28 号柱穴列実測図

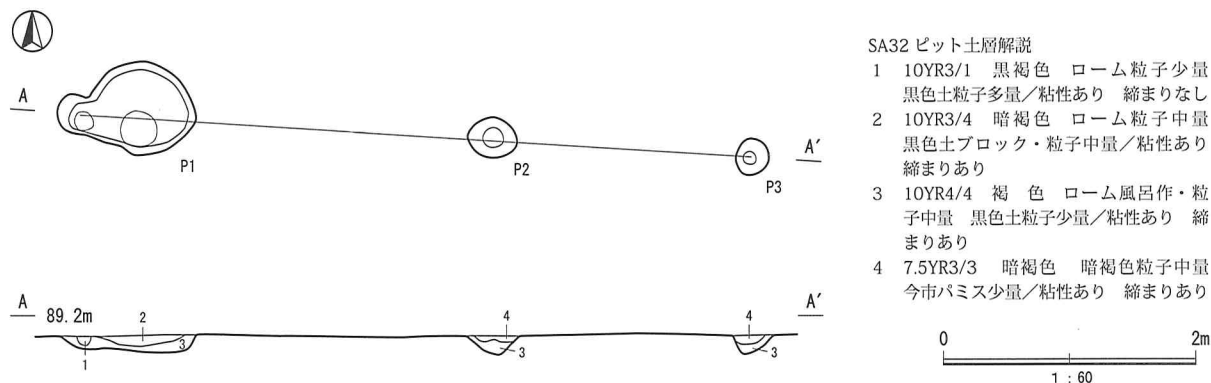
第 32 号柱穴列 (SA32) (第 111 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 I 8～I 9 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 東西方向 5.36m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-85°-W である。柱間寸法は P 1-P 2 間が 3.30m (11 尺)、P 2-P 3 間が 2.06m (7 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形または楕円形で、長径 22～106cm、短径 24～70cm である。深さ 10～20cm で掘方への壁は外傾している。第 2 層は掘方の埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

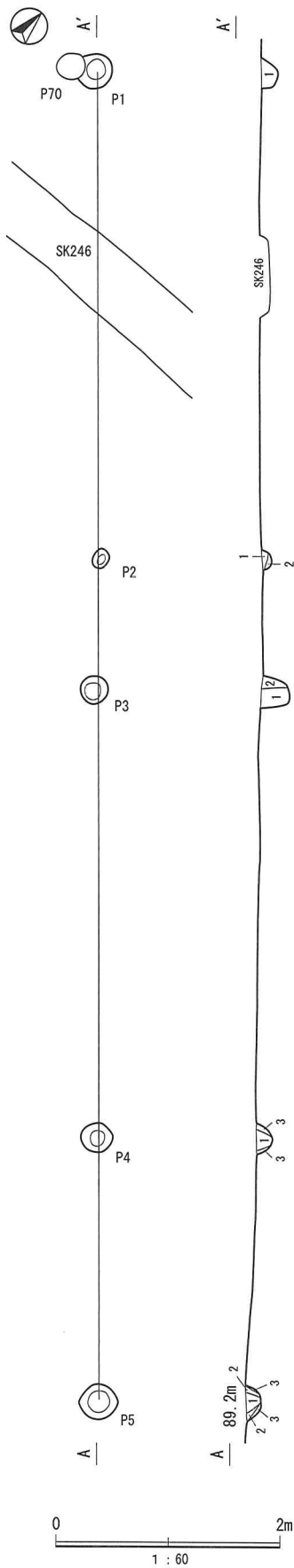


第 111 図 第 32 号柱穴列実測図

第 35 号柱穴列 (SA35) (第 112 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 H 11～I 11 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

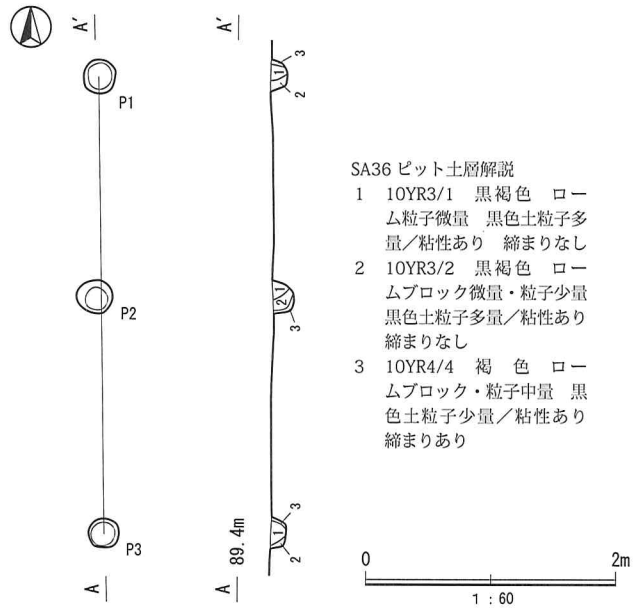
重複関係 第 246 号土坑を掘り込んでいる。



第112図 第35号柱穴列実測図

SA35 ピット土層解説

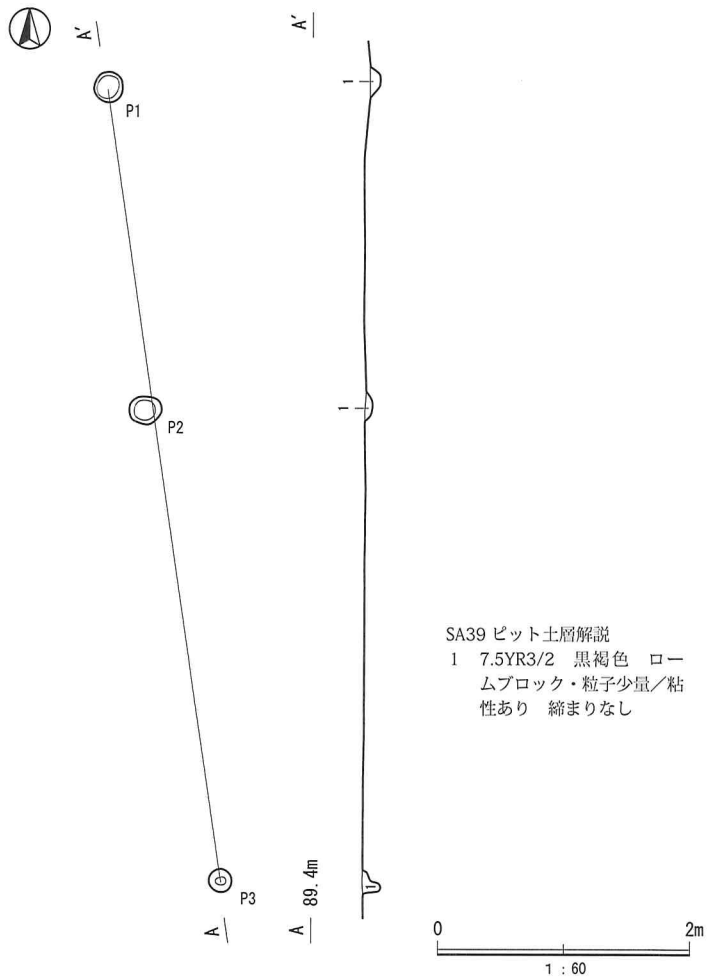
- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 締まりなし
- 2 10YR2/3 黒褐色 ロームブロック・粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 締まりあり
- 3 10YR3/3 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土粒子中量/粘性あり 締まりあり



SA36 ピット土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量/粘性あり 締まりなし
- 2 10YR3/2 黒褐色 ロームブロック微量・粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 締まりなし
- 3 10YR4/4 褐色 ロームブロック・粒子中量 黒色土粒子少量/粘性あり 締まりあり

第113図 第36号柱穴列実測図



SA39 ピット土層解説

- 1 7.5YR3/2 黒褐色 ロームブロック・粒子少量/粘性あり 締まりなし

第114図 第39号柱穴列実測図

規模と構造 南北方向 11.89m の間に並ぶ柱穴 5 か所を確認した。方向は N-45°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 4.30m (14 尺)、P 2 - P 3 間が 1.12m (4 尺)、P 3 - P 4 間が 3.89m (13 尺)、P 4 - P 5 間が 2.30m (8 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 5 か所。平面形は円形で、径 20 ~ 34cm である。深さ 10 ~ 26cm で掘方の壁は外傾している。第 2・3 層は掘方への埋土で、第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

第 36 号柱穴列 (SA36) (第 113 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 J12 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 南北方向 3.60m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-0° である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 1.70m (6 尺)、P 2 - P 3 間が 1.90m (6 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 20 ~ 34cm である。深さ 10 ~ 12cm で掘方の壁は外傾している。第 3 層は掘方への埋土で、第 1・2 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

第 39 号柱穴列 (SA39) (第 114 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 I10 ~ J10 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 南北方向 6.32m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-10°-W である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 2.52m (8 尺)、P 2 - P 3 間が 3.80m (9 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 20 ~ 24cm である。深さ 5 ~ 12cm で掘方の壁は外傾している。第 1 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

第 43 号柱穴列 (SA43) (第 115 図、第 39 表)

位置 調査区南東部 I 12 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

重複関係 第 329 号土坑を掘り込んでいる。

規模と構造 南北方向 2.98m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-5°-E である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 1.50m (5 尺)、P 2 - P 3 間が 1.48m (5 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できなかった。

柱穴 3 か所。平面形は円形で、径 20 ~ 34cm である。深さ 8 ~ 18cm で掘方の壁は外傾している。第 1・2 層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。

第 44 号柱穴列 (SA44) (第 116 図、第 39 表)

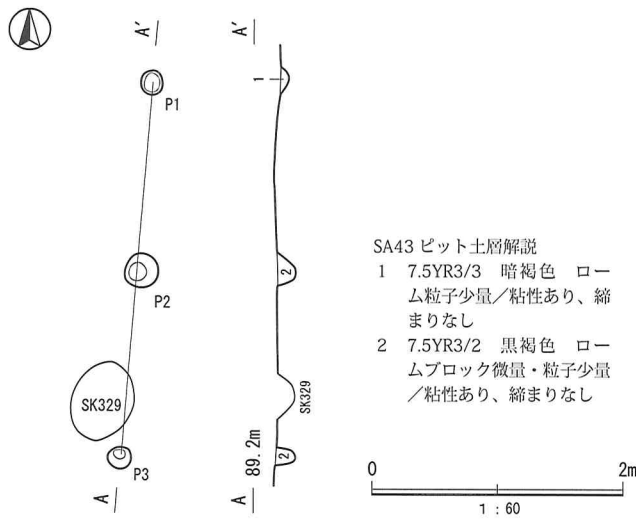
位置 調査区南東部 I 12 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と構造 南北方向 3.80m の間に並ぶ柱穴 3 か所を確認した。方向は N-5°-E である。柱間寸法は P 1 - P 2 間が 1.60m (5 尺)、P 2 - P 3 間が 2.20m (7 尺) である。いずれの底面でも柱の当りは確認できな

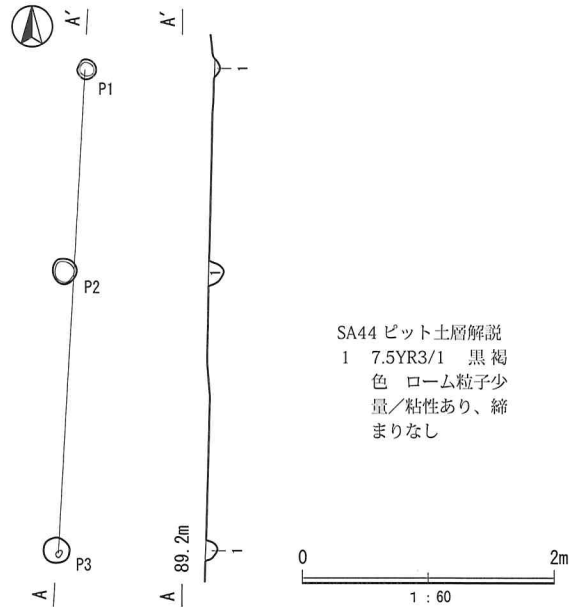
かった。

柱穴 3か所。平面形は円形で、径 20～34cmである。深さ 5～12cmで掘方の壁は外傾している。第1層は柱抜き取り後の覆土である。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。



第 115 図 第 43 号柱穴列実測図



第 116 図 第 44 号柱穴列実測図

第 39 表 時期不明の柱穴列一覧

番号	位置	主軸方向	長さ (m)	柱間 (m)	柱穴数	平面形	規模			主な出土遺物	備考 重複関係 旧→新
							長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)		
1	F4	N-40°-E	4.30	1.70・2.60	3	円形	18～20	18～20	20～50	-	SB09→本跡
2	F3～F4	N-5°-W	8.28	4.12・4.16	3	円形	20～32	20～32	10～32	-	SB09→本跡 →SK20・21
3	F4～G4	N-5°-E	8.56	1.40～2.32	6	円形・楕円形	20～60	20～46	10～30	-	
4	F4～F5	N-85°-W	6.40	3.10・3.30	3	円形・楕円形	30～70	30～40	10～30	-	
5	G5	N-20°-E	3.72	1.68・2.04	3	円形	28～30	28～30	5～25	-	
6	G5	N-60°-W	9.20	4.70・4.50	3	円形・楕円形	40～50	38～40	10～30	-	SD01→本跡
7	G2	N-55°-E	3.72	2.40・1.32	3	円形	20～30	20～30	10～30	-	SB11→本跡
8	G2	N-25°-E	3.78	2.32・1.46	3	円形	20～34	20～34	10～30	-	SB11→本跡
16	I9～J9	N-5°-W	4.48	2.24・2.22	3	円形	28～32	28～32	10～16	-	
17	H9～I9	N-8°-W	8.22	2.22～3.40	4	円形	20～34	20～34	10～16	-	SK333→本跡
25	I11	N-40°-W	5.62	2.48・3.14	3	円形	28～32	28～32	10～20	-	
26	I10～I11	N-40°-W	4.12	2.76・1.36	3	円形	18～32	18～32	10～16	-	
27	H11～I11	N-0°	2.88	1.38・1.50	3	円形	20～26	20～26	10～12	-	
28	H11～I11	N-2°-W	3.52	1.76・1.76	3	円形	22～28	22～28	20～40	-	SK246・247 →本跡
32	I8～I9	N-85°-W	5.36	3.30・2.06	3	円形・楕円形	22～106	24～70	10～20	-	
35	H11～I11	N-45°-W	11.89	1.12～4.30	5	円形	20～34	20～34	10～26	-	SK246→本跡
36	J12	N-0°	3.60	1.70・1.90	3	円形	20～34	20～34	10～12	-	
39	I10～J10	N-10°-W	6.32	2.52・3.80	3	円形	20～24	20～24	5～12	-	
43	I12	N-5°-E	2.98	1.50・1.48	3	円形	20～34	20～34	8～18	-	SK329→本跡
44	I12	N-5°-E	3.80	1.60・2.20	3	円形	20～34	20～34	5～12	-	

(3) 溝跡

第1号溝跡 (SD01) (全体図・第117図、第40・41表、図版11・26)

位置 調査区西部 G 5～H 1 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

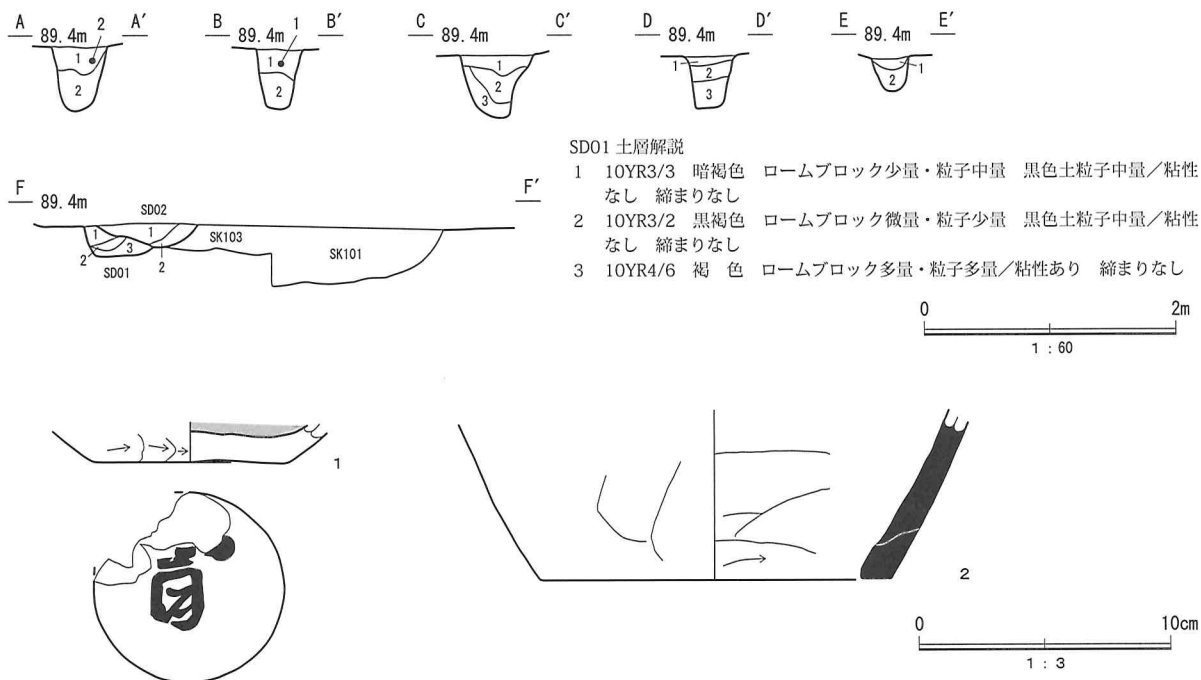
重複関係 第2号竪穴建物跡を掘り込み、第2号溝跡に掘り込まれている。

規模と形状 東部が第2号溝に掘り込まれており、全長 59.12m である。上幅 60～80cm、下幅 20～40cm、深さは 30～40cm である。G 5 区から西南西方向 (N-70°-E) に直線的に延びている。断面形は U 字状である。

覆土 3層に分層できる。堆積状況から自然堆積と考えられる。

遺物出土状況 土師器坏片 2点 (106g)、須恵器甕片 1点 (60g)。1の土師器坏は南西部の覆土上層、2の須恵器甕は中央部の覆土上層から出土している。

所見 時期は、出土遺物が流れ込みと考えられるので不明である。性格は区画溝と考えられる。



第117図 第1号溝跡・出土遺物実測図

第40表 第1号溝跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	—	(1.6)	7.6	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面横位のヘラ削り 内面黒色処理後ヘラ磨き 底部一方のヘラ削り	西部覆土上層	20% 図版26 底部「竈」カ墨書
2	須恵器	甕	—	(6.7)	[14.0]	長石・石英・雲母・スコリア	にぶい黄橙	普通	体部口クロナデ 体部外面縦位のヘラ削り 内面横位のヘラナデ 透かし部ヘラ削り	西部覆土上層	5% 図版26 新治窯

第2号溝跡 (SD02) (全体図・第118図、第41表、図版11)

位置 調査区西部 C 6～G 5 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

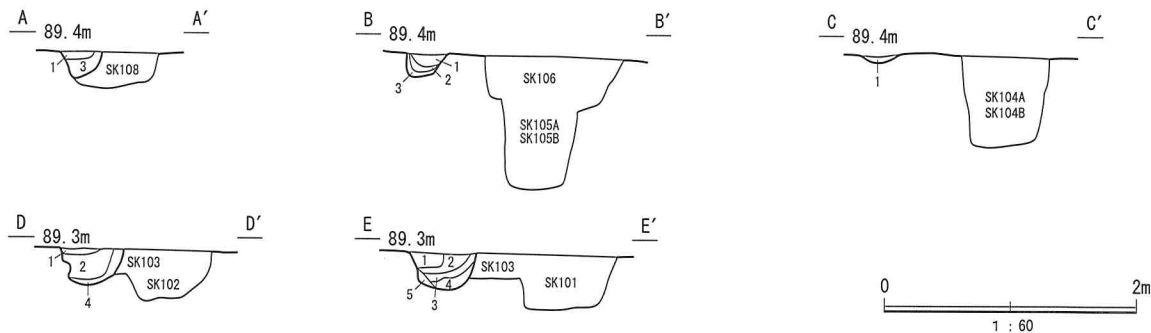
重複関係 北部が調査区外に延びて、第11A号竪穴建物跡、第1号溝跡、第103・108号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 北部が調査区外に延びて、全長 40.10m である。上幅 20～32cm、下幅 10～18cm、深さは 10～25cm である。G 6 区から北北東方向 (N-10°-E) に直線的に延びている。断面形は U 字状である。

覆土 5層に分層できる。堆積状況から自然堆積と考えられる。

遺物出土状況 土師器片2点 [坏1点 (8g)、甕1点 (14g)]、須恵器甕片1点 (64g)。細片で実測できる遺物はなかった。

所見 時期は、出土遺物が流れ込みと考えられるので不明である。性格は区画溝と考えられる。



SD02 土層解説

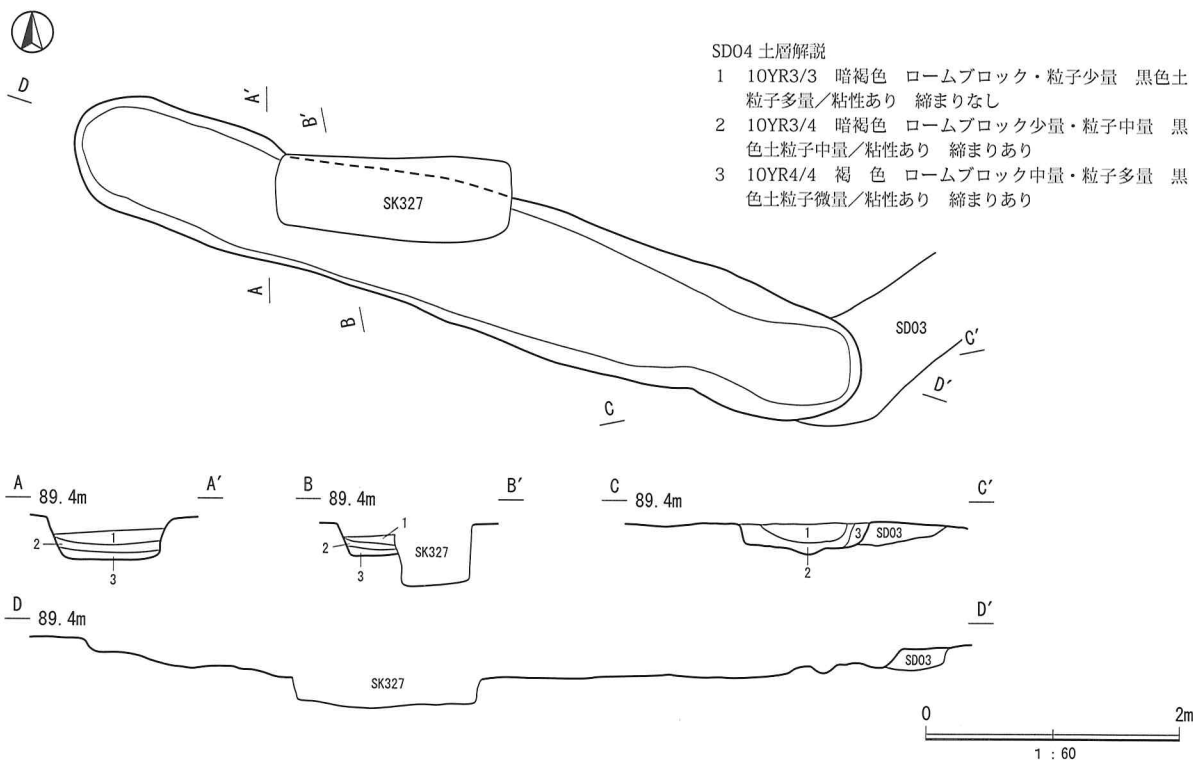
- | | |
|--|--|
| 1 10YR3/2 黒褐色 ロームブロック・粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりなし | 4 10YR4/3 にぶい黄褐色 ロームブロック・粒子中量 黒色土粒子少量/粘性あり 縮まりあり |
| 2 10YR4/3 にぶい黄褐色 ロームブロック・粒子中量 黒色土粒子少量/粘性あり 縮まりあり | 5 10YR4/4 褐色 ロームブロック中量・粒子多量 黒色土粒子少量/粘性あり 縮まりあり |
| 3 10YR4/4 褐色 ロームブロック中量・粒子多量 黒色土粒子少量/粘性あり 縮まりあり | |

第 118 図 第 2 号溝跡実測図

第 4 号溝跡 (SD04) (第 119 図、第 41 表、図版 11)

位置 調査区南東部 H 9 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

重複関係 第 3 号溝跡を掘り込み、第 327 号土坑に掘り込まれている。



SD04 土層解説

- | |
|---|
| 1 10YR3/3 暗褐色 ロームブロック・粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりなし |
| 2 10YR3/4 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土粒子中量/粘性あり 縮まりあり |
| 3 10YR4/4 褐色 ロームブロック中量・粒子多量 黒色土粒子微量/粘性あり 縮まりあり |

第 119 図 第 4 号溝跡実測図

規模と形状 全長 6.10m である。上幅 70～80cm、下幅 60～70cm、深さは 30～40cm である。H 9 内で北北西方向 (N - 70° - W) に直線的に延びている。断面形は逆台形である。

覆土 3層に分層できる。堆積状況から自然堆積と考えられる。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、出土遺物もなく不明である。性格は、筆境の区画溝と考えられる。

第 5 号溝跡 (SD05) (第 120 図、第 41 表、図版 11)

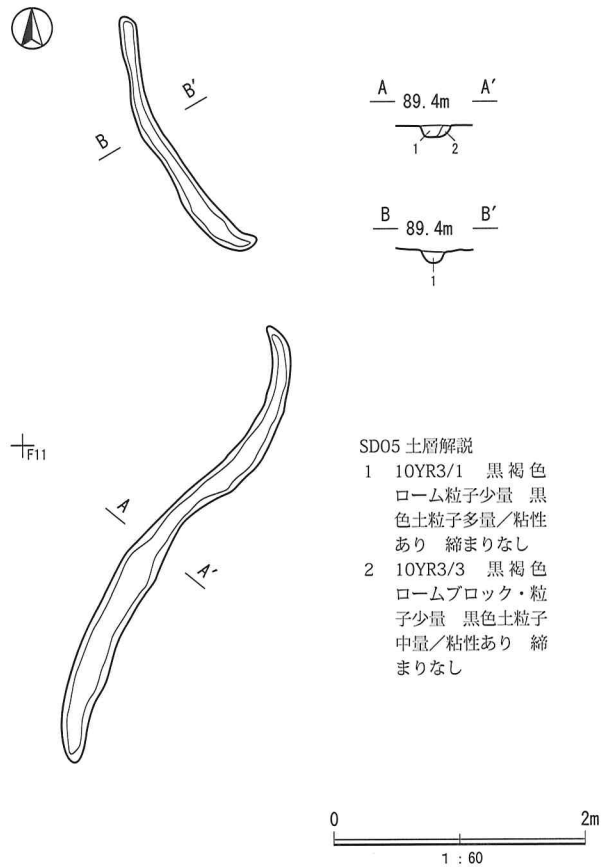
位置 調査区西部 E11～F11 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と形状 全長 5.96m である。上幅 20～26cm、下幅 10～14cm、深さは 10～12cm である。F11 区から北西方向 (N - 30° - W) と南西方向 (N - 40° - E) に屈折して延びている。断面形は U 字状である。

覆土 2層に分層できる。堆積状況から自然堆積と考えられる。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、出土遺物がなく不明である。性格は耕作時にあけられた溝と考えられる。



第 120 図 第 5 号溝跡実測図

第 6 号溝跡 (SD06) (第 121 図、第 41 表、図版 11)

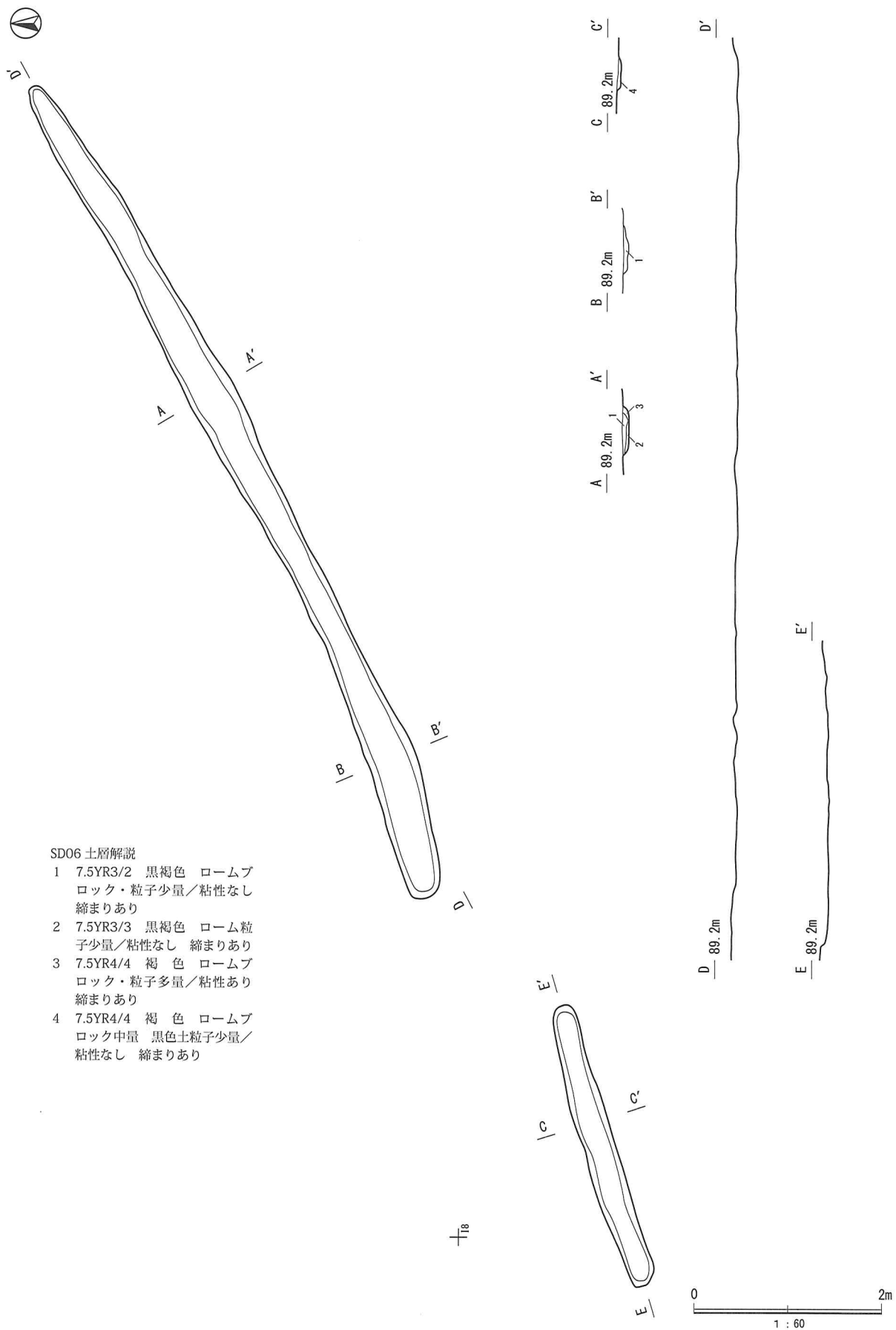
位置 調査区西部 H 9～I 7 グリッド、標高 89m ほどの平坦地に位置している。

規模と形状 全長 14.32m である。上幅 35～50cm、下幅 20～35cm、深さは 5～10cm である。東北東方向 (N - 65° - E) に直線的に延びている。断面形は浅い U 字状である。

覆土 4層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、出土遺物がなく不明である。性格は、筆境の区画溝と考えられる。



第 121 図 第 6 号溝跡実測図

第 41 表 時期不明の溝一覧

番号	位置	主軸方向	平面形	規模				断面	覆土	主な出土遺物	備考 重複関係 旧→新
				長さ(m)	上幅(cm)	下幅(cm)	深さ(cm)				
1	G5～H1	N-70°-E	直線	59.12	60～80	20～40	30～40	U字形	自然	土師器・須恵器	SI02→本跡→SD02
2	C6～G5	N-10°-E	直線	(40.10)	20～32	10～18	10～25	U字形	自然	土師器・須恵器	SI11A、SD01、SK103・108→本跡
4	H9	N-70°-W	直線	6.10	70～80	60～70	30～40	逆台形	自然	—	SD03→本跡→SK327
5	E11～F11	N-30°-W N-40°-E	屈曲	5.96	20～26	10～14	10～12	U字形	自然	—	
6	H9～I7	N-65°-E	直線	14.32	35～50	20～35	5～10	浅いU字形	人為	—	

(4) 土坑

その他の土坑(第122・123図、第43表、図版11・26)

特徴ある土坑を6基のみ取り上げ、以下は全体図と一覧表で掲載する。

第15号土坑(SK15)(第122図、第43表、図版11)

位置 調査区西部。E2グリッド、標高89mほどに位置している。

規模と形状 径0.80mの円形で、深さ14cm、底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 2層に分層できる。焼土や炭化粒子が含まれていることから人為堆積と考えられる。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、出土遺物がなく不明である。

第51号土坑(SK51)(第122図、第42・43表、図版26)

位置 調査区西部。E1グリッド、標高89mほどに位置している。

重複関係 第4号竪穴建物跡、第11・13号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸2.20m、短軸0.62mの長方形で、長軸方向はN-5°-Eである。深さ22cmで底面は平坦で、壁は直立して立ち上がっている。

覆土 2層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積と考えられる。

遺物出土状況 土師器甕片6点(53g)、須恵器坏片1点(34g)、鉄製品1点(10g)。1の土師器甕は中央部の覆土上層から出土している。これらは、第4号竪穴建物跡からの流れ込みと考えられる。

所見 時期は、不明である。性格は、近世以降の貯蔵穴(通称イモ穴)と考えられる。

第42表 第51号土坑出土遺物観察表

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1	土師器	甕	[18.0]	(6.9)	—	長石・石英・チャート・スコリア	明褐色	普通	口縁部横ナデ 体部外面縦位のヘラ削り 内面横位のヘラナデ	中央部 覆土中層	5% 図版26 常総型甕

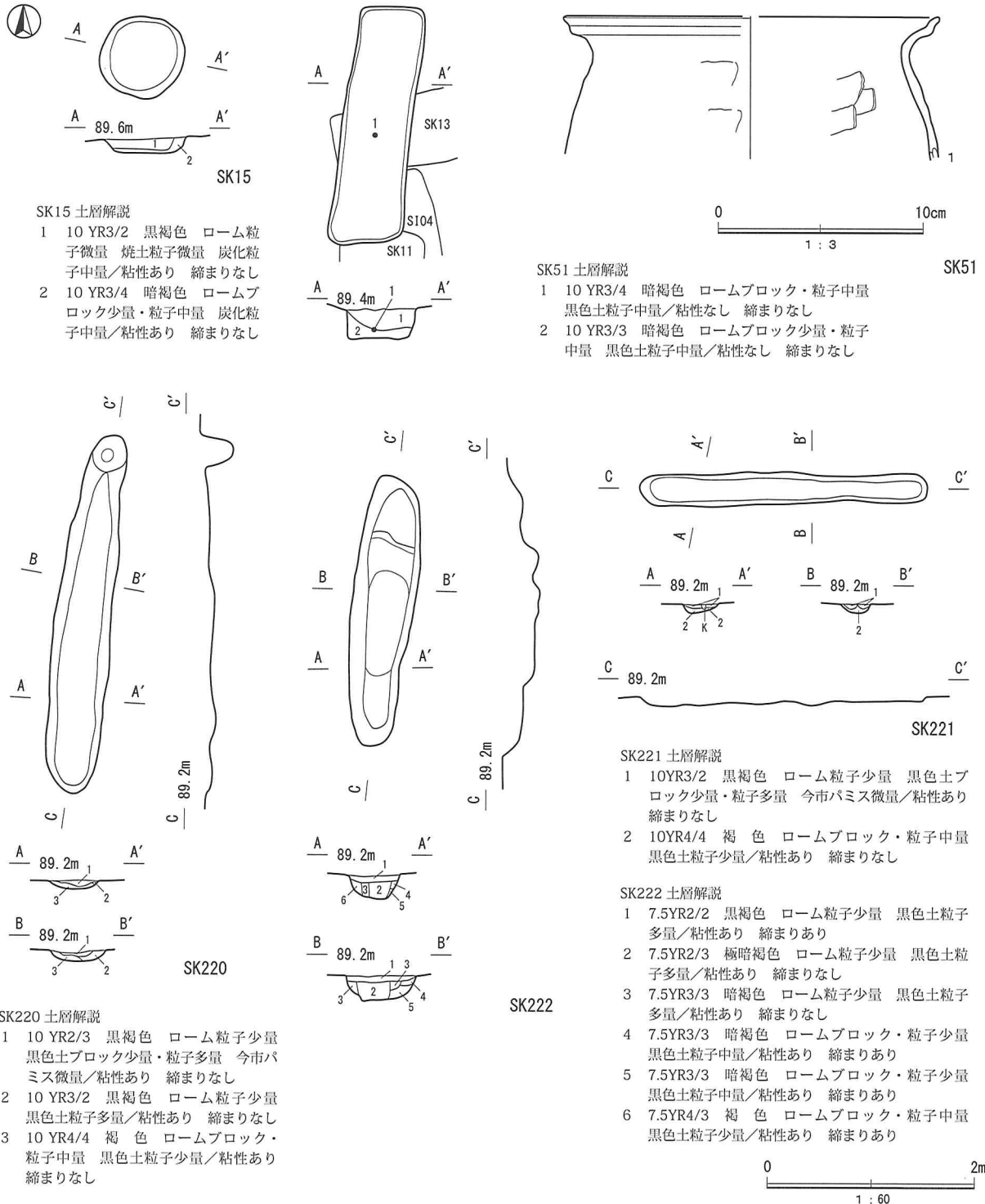
第 220 号土坑 (SK220) (第 122 図、第 43 表)

位置 調査区東部。F 9 グリッド、標高 89m ほどに位置している。

規模と形状 長径 3.42m、短径 0.56m の長楕円形で、長径方向は N - 10° - E である。深さ 10cm で底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 3 層に分層できる。ローム粒子が若干含まれていることから人為堆積と考えられる。

遺物出土状況 出土しなかった。



第 122 図 時期不明その他の土坑・出土遺物実測図

所見 時期は、出土遺物がなく不明である。

第 221 号土坑 (SK221) (第 122 図、第 43 表)

位置 調査区東部。F 9～F10 グリッド、標高 89m ほどに位置している。

規模と形状 長径 2.82m、短径 0.32m の長楕円形で、長径方向は N - 85° - E である。深さ 10cm で底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 2 層に分層できる。ローム粒子が若干含まれていることから人為堆積と考えられる。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、出土遺物がなく不明である。

第 222 号土坑 (SK222) (第 122 図、第 43 表)

位置 調査区東部。F10 グリッド、標高 89m ほどに位置している。

規模と形状 長径 2.64m、短径 0.34m の長楕円形で、長径方向は N - 10° - E である。深さ 34cm で底面は凸凹で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 6 層に分層できる。若干ローム粒子が含まれることから人為堆積と考えられる。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、出土遺物がなく不明である。

第 246 号土坑 (SK246) (第 123 図、第 43 表)

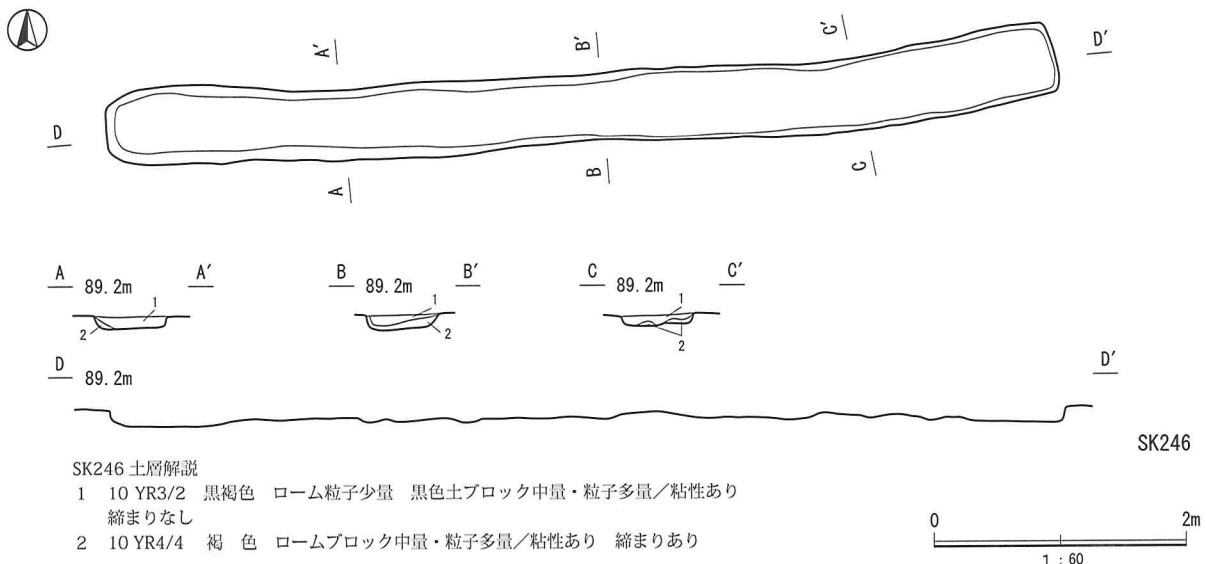
位置 調査区東部。H10～H11 グリッド、標高 89m ほどに位置している。

規模と形状 長径 6.32m、短径 0.50m の長楕円形で、長径方向は N - 85° - E である。深さ 8～12cm で底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 2 層に分層できる。ローム粒子が含若干まれていることから人為堆積と考えられる。

遺物出土状況 出土しなかった。

所見 時期は、出土遺物がなく不明である。性格は、区画分けの土坑と考える。



第 123 図 時期不明その他の土坑実測図

第 43 表 時期不明その他の土坑一覧

番号	位置	長径(軸) 方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土 遺物	時代	備考 重複関係 (旧→新)
				長径(軸)× 短径(軸)(m)	深さ (cm)						
1	H 1	N-60°-W	[長方形]	(1.70) × 0.80	40	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK02 →本跡
2	H 1	N-60°-W	長方形	1.65 × 0.70	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK01
3	G 1	N-10°-E	長方形	2.60 × 0.60	42	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI01 →本跡
4	G 1	N-5°-W	長方形	2.10 × 0.75	26	直立	平坦	人為	-	時期不明	
5	G 1	N-75°-E	長方形	(1.90) × 0.65	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK05 →本跡→PG01
6	G 1	N-85°-E	長方形	1.55 × 0.60	5	緩傾	平坦	人為	-	時期不明	本跡→P19
7	G 1	N-70°-E	長方形	1.85 × 0.60	22	緩傾	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK09
8	F 1 ~ G 1	N-10°-E	長方形	3.00 × 0.75	12	外傾	平坦	人為	-	時期不明	SK08 →本跡
9	F 1	N-10°-E	長方形	3.10 × 0.70	42	外傾	平坦	人為	-	時期不明	
10	E 1 ~ F 1	N-0°	長方形	2.18 × 0.80	58	外傾	平坦	人為	-	時期不明	SI03 →本跡
11	E 1	N-10°-E	長方形	2.15 × 0.80	26	直立	平坦	人為	-	時期不明	P86 →本跡
12	E 1	N-10°-E	長方形	2.10 × 0.60	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI03 →本跡
13	E 1	N-70°-E	長方形	3.30 × 0.50	23	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK51
14A	E 1 ~ E 2	N-60°-E	長方形	4.40 × 0.80	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK14B
14B	E 1	N-65°-E	長方形	2.20 × 0.65	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK14A →本跡
15	E 2	N-0°	円形	0.80 × 0.80	40	外傾	平坦	人為	-	時期不明	
18	G 3	N-70°-E	長方形	3.25 × 0.70	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	
19	G 3	N-75°-E	長方形	2.50 × 0.60	12	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK20 →本跡
20	G 3	N-5°-E	長方形	3.05 × 0.80	12	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK19
21	G 3	N-5°-E	長方形	2.60 × 0.70	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	
22	E 2	N-15°-E	楕円形	0.82 × 0.70	25	外傾	平坦	人為	-	時期不明	
23	G 3	N-70°-E	長方形	1.45 × 0.60	22	直立	平坦	人為	-	時期不明	
24	H 3	N-65°-E	長方形	2.40 × 0.65	25	直立	平坦	人為	-	時期不明	
25	H 3	N-5°-E	長方形	2.14 × 0.70	28	直立	平坦	人為	-	時期不明	
26	H 3 ~ I 3	N-60°-E	長方形	2.78 × 0.70	52	直立	平坦	人為	-	時期不明	
27	E 3	N-10°-E	長方形	2.80 × 0.75	40	直立	平坦	人為	-	時期不明	
28	E 3 ~ E 4	N-8°-E	長方形	2.80 × 0.65	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK29
29	E 3 ~ E 4	N-75°-E	長方形	3.05 × 0.75	14	直立	平坦	人為	-	時期不明	SB07 →SK28 →本跡
30	D 4	N-75°-E	長方形	2.50 × 0.55	16	直立	平坦	人為	-	時期不明	
31	D 3	N-75°-E	長方形	2.10 × 0.65	34	直立	平坦	人為	-	時期不明	
32	F 3	N-80°-E	長方形	1.96 × 0.75	23	直立	平坦	人為	-	時期不明	
33	D 3	N-80°-E	長方形	2.45 × 0.80	34	直立	平坦	人為	-	時期不明	
34	D 4	N-5°-E	[長方形]	(0.60) × 0.75	36	直立	平坦	人為	-	時期不明	SB03 →本跡
35	D 3	N-10°-E	長方形	2.20 × 0.50	15	直立	平坦	人為	-	時期不明	SB07 →本跡
36	D 3 ~ D 4	N-5°-E	長方形	2.15 × 0.75	16	直立	平坦	人為	-	時期不明	
37	C 5	N-75°-E	長方形	2.04 × 0.64	16	直立	平坦	人為	-	時期不明	SB15 →本跡
38	C 5	N-80°-E	[長方形]	(1.02) × 0.60	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI11 →本跡
39	C 5	N-80°-E	[長方形]	(1.12) × 0.60	8	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI11 →本跡
41	C 6	N-10°-E	[長方形]	(0.42) × 0.42	14	直立	凸凹	人為	-	時期不明	SI11 →本跡
42	C 6	N-5°-W	長方形	2.10 × 0.70	52	直立	平坦	人為	-	時期不明	
43	D 6	N-90°-E	[長方形]	2.30 × (0.20)	22	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI11 →本跡
44	D 6	N-90°-E	長方形	2.10 × 0.70	12	直立	平坦	人為	-	時期不明	
45	D 6	N-85°-E	長方形	2.15 × 0.75	12	直立	平坦	人為	-	時期不明	
46	D 6	N-80°-E	長方形	1.80 × 0.50	8	直立	平坦	人為	-	時期不明	SB06 →本跡
47	D 3 ~ E 3	N-85°-E	長方形	2.36 × 0.75	37	直立	平坦	人為	-	時期不明	SB07 →本跡
48	H 3	N-65°-E	長方形	2.50 × 0.60	12	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI10 →本跡
49	H 3	N-70°-E	長方形	3.25 × 0.64	22	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI10 →本跡
50	A12	N-5°-E	[長方形]	(1.00) × 0.6	12	直立	平坦	人為	-	時期不明	SD03 →本跡
51	E 1	N-5°-E	長方形	2.20 × 0.65	22	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK13 →本跡

番号	位置	長径(軸) 方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土 遺物	時代	備考 重複関係 (旧→新)
				長径(軸)×短 径(軸)(m)	深さ (cm)						
52	A13	N-80°-E	長方形	1.10×0.60	10	直立	平坦	人為	-	時期不明	
56	B12	N-85°-E	長方形	1.20×0.50	8	直立	平坦	人為	-	時期不明	
57	B13	N-80°-E	長方形	1.96×0.70	16	直立	平坦	人為	-	時期不明	
58	B13	N-20°-E	長方形	1.40×0.90	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
59	B13	N-10°-E	長方形	1.30×0.74	42	直立	平坦	人為	-	時期不明	
60	B13	N-10°-E	長方形	1.30×0.90	46	直立	平坦	人為	-	時期不明	
61A	C13	N-90°-E	[長方形]	(1.00)×0.65	32	直立	平坦	人為	-	時期不明	
61B	C13	N-10°-E	[長方形]	1.00×0.65	40	直立	平坦	人為	-	時期不明	
61C	C13	N-5°-E	[長方形]	1.00×(0.52)	40	直立	平坦	人為	-	時期不明	
62	D13	N-80°-W	長方形	1.16×0.68	44	直立	平坦	人為	-	時期不明	
63	D13	N-10°-E	長方形	1.50×0.72	32	直立	平坦	人為	-	時期不明	
64	D13	N-5°-E	長方形	1.40×0.85	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	
65A	D11	N-10°-E	長方形	2.40×0.80	26	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK65B→本跡
65B	D11	N-10°-E	[長方形]	(0.40)×0.70	15	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK65A
66	C11~D11	N-0°	長方形	1.55×0.60	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	
67	A11~B11	N-5°-E	長方形	2.70×0.60	35	直立	平坦	人為	-	時期不明	
68A	C10	N-85°-W	長方形	1.50×1.00	102	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK68B→本跡
68B	C10	N-85°-W	[長方形]	(0.50)×0.60	64	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK68A
69A	C10	N-35°-W	正方形	1.20×1.05	105	直立	平坦	人為	-	時期不明	
69B	C10	N-30°-W	[正方形]	(0.50)×1.05	5	直立	平坦	人為	-	時期不明	
70	I11	N-40°-E	円形	0.63×0.60	26	外傾	平坦	自然	-	時期不明	
71	H1	N-20°-W	円形	0.84×0.78	16	外傾	平坦	自然	-	時期不明	
72	H1	N-30°-E	円形	0.50×0.48	12	外傾	平坦	自然	-	時期不明	
73	B10	N-90°-E	長方形	1.05×0.50	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
74	B10	N-90°-E	長方形	0.90×0.60	16	直立	平坦	人為	-	時期不明	
75	B10	N-90°-E	長方形	1.20×0.50	90	直立	平坦	人為	-	時期不明	
76	B10	N-90°-E	長方形	0.95×0.45	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
77	H2	N-0°	楕円形	1.40×1.00	16	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
78	C10	N-85°-E	正方形	0.75×0.60	12	外傾	平坦	人為	-	時期不明	
79	C10	N-80°-W	長方形	1.80×0.55	45	直立	平坦	人為	-	時期不明	
80	D10	N-85°-W	長方形	1.05×0.55	14	直立	平坦	人為	-	時期不明	
81	C8	N-85°-W	長方形	1.25×0.60	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
82	C8	N-90°-E	長方形	1.35×0.45	10	外傾	皿状	人為	-	時期不明	
83	D8	N-10°-E	長方形	1.40×0.60	44	直立	平坦	人為	-	時期不明	
84	D8	N-5°-E	長方形	1.15×0.55	60	直立	平坦	人為	-	時期不明	
85	C7	N-5°-E	長方形	1.80×0.50	40	直立	平坦	人為	-	時期不明	
86	C7	N-5°-E	長方形	1.85×0.55	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
87	C7	N-5°-W	楕円形	1.40×0.60	35	直立	凸凹	自然	-	時期不明	
88	D7	N-5°-E	長方形	1.60×0.50	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	
90	D7~E7	N-5°-E	長方形	2.60×0.60	46	直立	平坦	人為	-	時期不明	
92	E8	N-5°-E	長方形	1.55×0.55	40	直立	平坦	人為	-	時期不明	
93	F7	N-5°-E	長方形	2.50×0.70	60	直立	凸凹	人為	-	時期不明	SK94→本跡
95	G7	N-0°	長方形	1.60×0.65	83	直立	平坦	人為	-	時期不明	
98	I7	N-85°-W	長方形	2.45×0.65	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	
99	I7	N-70°-W	長方形	1.60×0.55	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	
100	H6~H7	N-90°-E	長方形	3.05×0.55	64	直立	平坦	人為	-	時期不明	
101	G6	N-5°-E	長方形	2.25×0.80	45	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SD02
102	F6~G6	N-5°-E	長方形	(1.50)×0.65	20	直立	凸凹	人為	-	時期不明	本跡→SD02
103	F6~G6	N-5°-E	長方形	4.00×0.50	30	直立	皿状	人為	-	時期不明	
104A	F6	N-5°-E	長方形	3.05×0.70	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK104B→本跡
104B	F6	N-5°-E	[長方形]	(0.70)×0.60	70	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK104A

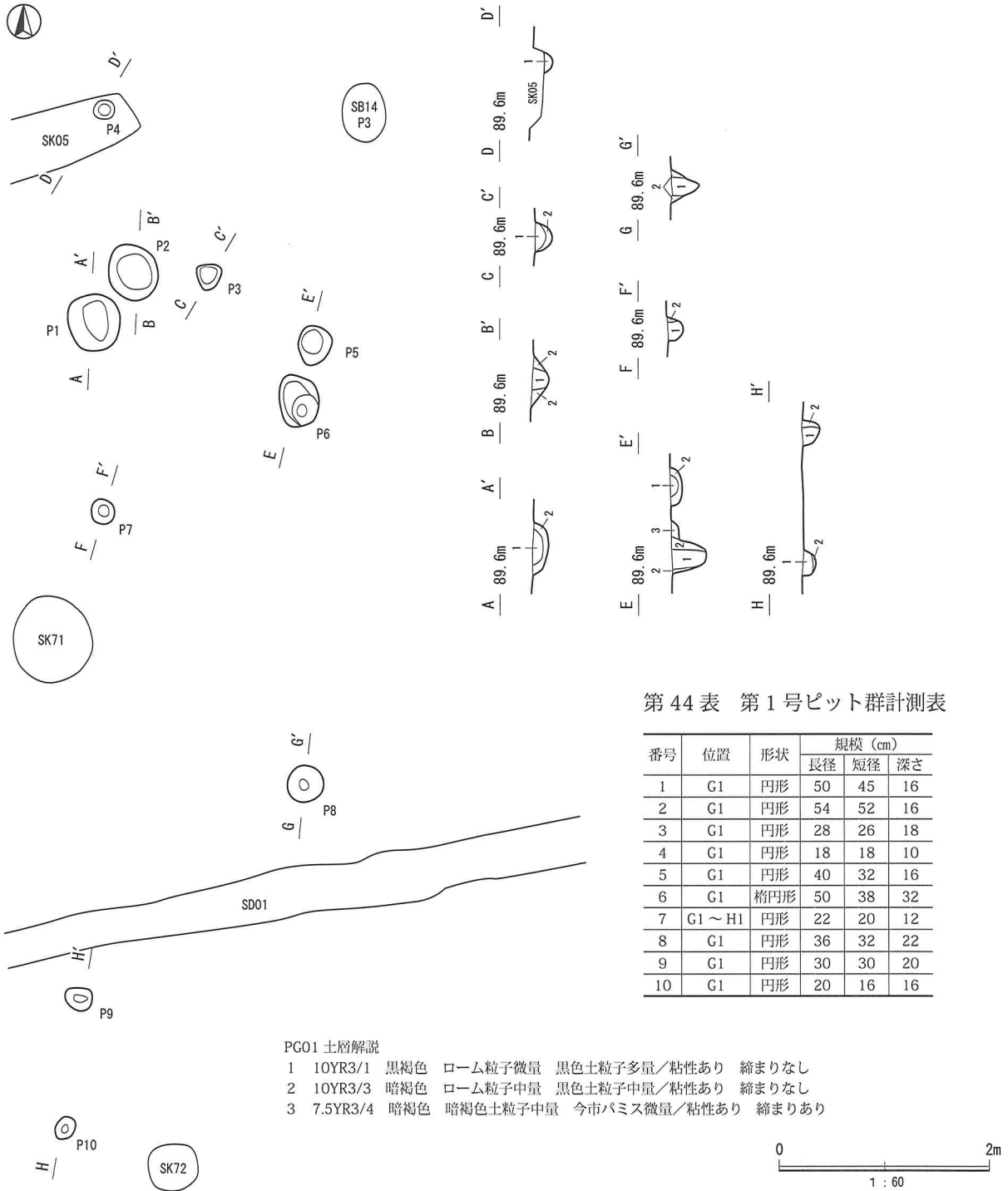
番号	位置	長径(軸) 方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土 遺物	時代	備考 重複関係 (旧→新)
				長径(軸)×短 径(軸)(m)	高さ (c.m)						
105A	E 6	N-5°-E	長方形	2.90×0.56	35	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK105B→本跡
105B	E 6	N-5°-E	[長方形]	(0.80)×0.40	110	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK105A
106	E 6	N-5°-E	長方形	3.00×0.50	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
108	D 6~E 6	N-10°-E	長方形	4.45×0.80	40	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SD02
120	F 3	N-10°-E	長方形	3.42×0.78	10	直立	平坦	人為	-	時期不明	
121	I 7	N-15°-E	円形	0.82×0.72	22	外傾	凸凹	人為	-	時期不明	
122	D 2	N-45°-W	円形	0.46×0.40	16	外傾	平坦	人為	-	時期不明	
128	D 2	N-0°	円形	0.50×0.50	8	外傾	平坦	人為	-	時期不明	
130	E 5	N-0°	円形	1.26×1.10	10	外傾	平坦	人為	土師器	古墳	
140	D 9	N-15°-E	長方形	0.90×0.50	8	直立	平坦	人為	-	時期不明	
145	E 8	N-30°-E	楕円形	1.40×1.20	40	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
146	E 9	N-88°-E	長方形	2.20×0.50	10	直立	平坦	人為	-	時期不明	
150	D10	N-90°-E	正方形	0.85×0.70	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	
151	D10~E10	N-90°-E	長方形	1.10×0.55	78	直立	平坦	人為	-	時期不明	
153A	D10	N-85°-W	長方形	0.85×0.60	90	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK153B→本跡
153B	D10	N-85°-E	長方形	1.35×0.60	85	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK153A
163	I 7	N-0°	[長方形]	(1.80)×0.70	90	直立	平坦	人為	-	時期不明	
166	E 8	N-10°-E	長方形	1.35×0.60	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	
167	E 8	N-90°-E	長方形	1.35×0.60	52	直立	平坦	人為	-	時期不明	
168	E 8	N-10°-E	長方形	1.35×0.65	54	直立	平坦	人為	-	時期不明	
170A	I 9	N-90°-E	長方形	0.95×0.50	42	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK170B→本跡
170B	I 9	N-90°-E	長方形	1.46×0.65	44	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK170A
181	H 7	N-30°-W	円形	0.86×0.76	40	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
202	G 9	N-80°-E	長方形	1.00×0.40	18	直立	平坦	人為	-	時期不明	
203	G 9	N-70°-E	長方形	0.90×0.60	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	
206	F 8	N-45°-E	不整形	2.96×2.26	30	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	風倒木痕
207	H 9	N-85°-W	長方形	1.25×0.60	45	直立	平坦	人為	-	時期不明	
208	H 9	N-80°-W	長方形	1.40×0.60	48	直立	平坦	人為	-	時期不明	
209	G 9	N-85°-W	長方形	1.40×0.50	95	直立	平坦	人為	-	時期不明	
210	G 9	N-85°-E	長方形	1.30×0.55	60	直立	平坦	人為	-	時期不明	
211	G 9	N-5°-W	楕円形	1.20×1.10	26	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
212	G 9	N-80°-E	長方形	1.10×0.60	8	直立	平坦	人為	-	時期不明	
216	F 8	N-10°-E	長方形	1.15×0.60	60	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK217→本跡
217	F 8	N-80°-W	[長方形]	(0.70)×0.60	55	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK216
218	I10	N-20°-W	長方形	2.64×0.60	35	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI14→本跡
219	H 6	N-10°-E	長方形	2.10×0.70	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
220	F 9	N-10°-W	長楕円形	3.42×0.56	10	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
221	F 9~F10	N-85°-E	長楕円形	2.82×0.32	10	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
222	F10	N-10°-E	長楕円形	2.64×0.34	34	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
223	F 9	N-90°-E	長方形	1.70×0.60	60	直立	平坦	人為	-	時期不明	
224	I11~J11	N-75°-E	長方形	2.25×0.66	32	直立	平坦	人為	-	時期不明	
226	F 9	N-85°-W	長方形	1.15×0.55	55	直立	平坦	人為	-	時期不明	
227	F 9	N-85°-W	長方形	1.20×0.60	60	直立	平坦	人為	-	時期不明	
232	J 9	N-80°-E	長方形	1.65×0.60	55	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK233→本跡
233	J 9	N-80°-E	[長方形]	(0.80)×0.55	45	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK232
235	I10	N-10°-W	長方形	1.92×0.50	33	直立	平坦	人為	-	時期不明	
236	I10~J10	N-14°-W	長方形	1.14×0.46	10	外傾	平坦	人為	-	時期不明	
237A	I10	N-8°-W	長方形	2.20×0.50	50	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK237B→本跡
237B	I10~J10	N-8°-W	長方形	1.60×0.45	46	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK237A
238A	J10	N-12°-W	長方形	2.18×0.40	22	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK238B→本跡
238B	J10	N-12°-W	[長方形]	(0.80)×0.40	22	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK238A

番号	位置	長径(軸) 方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土 遺物	時代	備考 重複関係 (旧→新)
				長径(軸)×短 径(軸)(m)	深さ (cm)						
239A	J10	N-4°-W	長方形	1.54×0.45	38	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK239B→本跡
239B	J10	N-0°	長方形	(1.15)×0.30	38	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK239A
240	J10	N-0°	長方形	1.70×0.48	8	直立	皿状	人為	-	時期不明	SK241→本跡
241	J10	N-80°-E	長方形	1.41×.036	16	直立	平坦	人為	-	時期不明	SI14→本跡
242	I11~J11	N-85°-E	長方形	2.15×0.55	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
243	I11	N-90°-E	長方形	2.40×0.60	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	
245	I12	N-75°-E	長方形	2.15×0.55	15	直立	平坦	人為	-	時期不明	
246	H10~H11	N-85°-E	長楕円形	6.32×0.50	8~12	外傾	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SA35
247	H11	N-85°-W	長方形	1.15×0.50	8	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SA28
248	H12	N-15°-E	長方形	1.45×0.50	10	直立	平坦	人為	-	時期不明	
249	H12	N-90°-E	長方形	1.20×0.50	10	直立	平坦	人為	-	時期不明	
250A	G11	N-3°-E	長方形	2.10×0.80	10	直立	皿状	人為	-	時期不明	SK250B→本跡
250B	G11	N-3°-E	[長方形]	(0.30)×0.60	10	直立	皿状	人為	-	時期不明	本跡→SK250A
255	G12	N-80°-W	長方形	2.35×0.40	30	直立	平坦	人為	-	時期不明	
258	G12	N-80°-W	長方形	2.96×0.50	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK259→本跡
259	G12	N-10°-E	長方形	1.70×0.52	13	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK258
261	F12	N-5°-E	長方形	2.96×0.50	14	直立	平坦	人為	-	時期不明	
265	F12~F13	N-80°-W	長方形	1.60×0.80	22	直立	平坦	人為	-	時期不明	
267	F12	N-10°-E	楕円形	0.75×0.50	15	外傾	凸凹	人為	-	時期不明	
268	E12	N-30°-W	不整楕円形	1.05×0.95	13	外傾	凸凹	人為	-	時期不明	
274	F11	N-45°-E	長方形	1.60×0.50	15	直立	平坦	人為	-	時期不明	
275	F11	N-5°-E	長方形	1.80×0.60	16	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK277→本跡
277	E11~F11	N-10°-E	長方形	3.45×0.50	25	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK275
278	E11	N-10°-E	長方形	5.05×0.50	14	直立	平坦	人為	-	時期不明	
279	D11~E11	N-0°	長方形	2.40×0.65	20	直立	平坦	人為	-	時期不明	SK280→本跡
280	D11	N-80°-W	長方形	1.40×0.55	10	直立	平坦	人為	-	時期不明	本跡→SK279
288	E10	N-75°-W	長方形	2.25×0.60	20	外傾	凸凹	自然	-	時期不明	
292	E12	N-3°-E	長方形	2.40×0.60	44	直立	平坦	人為	-	時期不明	
300	H1	N-75°-W	[長方形]	(0.50)×0.55	58	直立	平坦	人為	-	時期不明	
301	H1	N-75°-W	[長方形]	(0.45)×(0.45)	64	直立	平坦	人為	-	時期不明	
315	I12	N-90°-E	長方形	1.70×0.45	36	直立	平坦	人為	-	時期不明	
316	I12	N-78°-E	長方形	2.55×0.60	25	直立	平坦	人為	-	時期不明	
317	I12	N-80°-E	長方形	1.70×0.80	24	直立	平坦	人為	-	時期不明	
320	G2	N-60°-W	楕円形	0.60×0.48	10	外傾	平坦	人為	須恵器	奈良・平安	
327	H9	N-80°-W	長方形	1.80×0.60	45	直立	平坦	人為	-	時期不明	
336	B8	N-20°-E	長方形	1.62×0.60	25	直立	平坦	人為	-	時期不明	

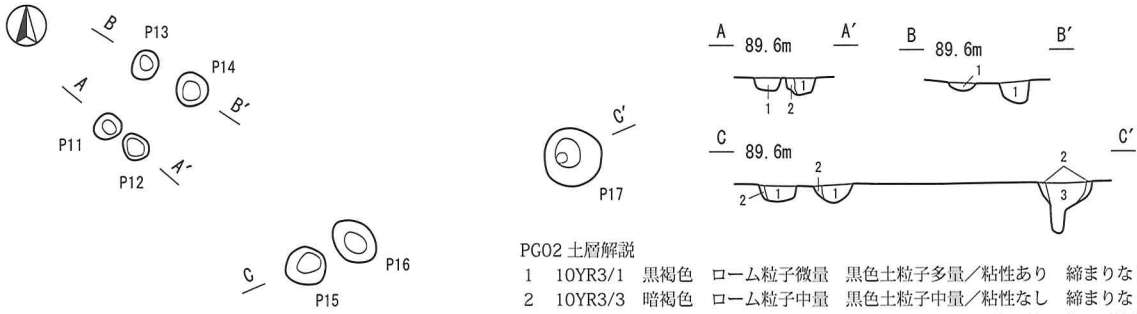
(5) ピット群

その他のピット群 (第 124 ~ 133 図、第 44 ~ 53 表)

10 か所確認した。平面図は第 122 ~ 133 図に、規模は一覧表で記載した。



第 124 図 第 1 号ピット群実測図

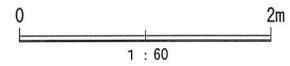


PG02 土層解説

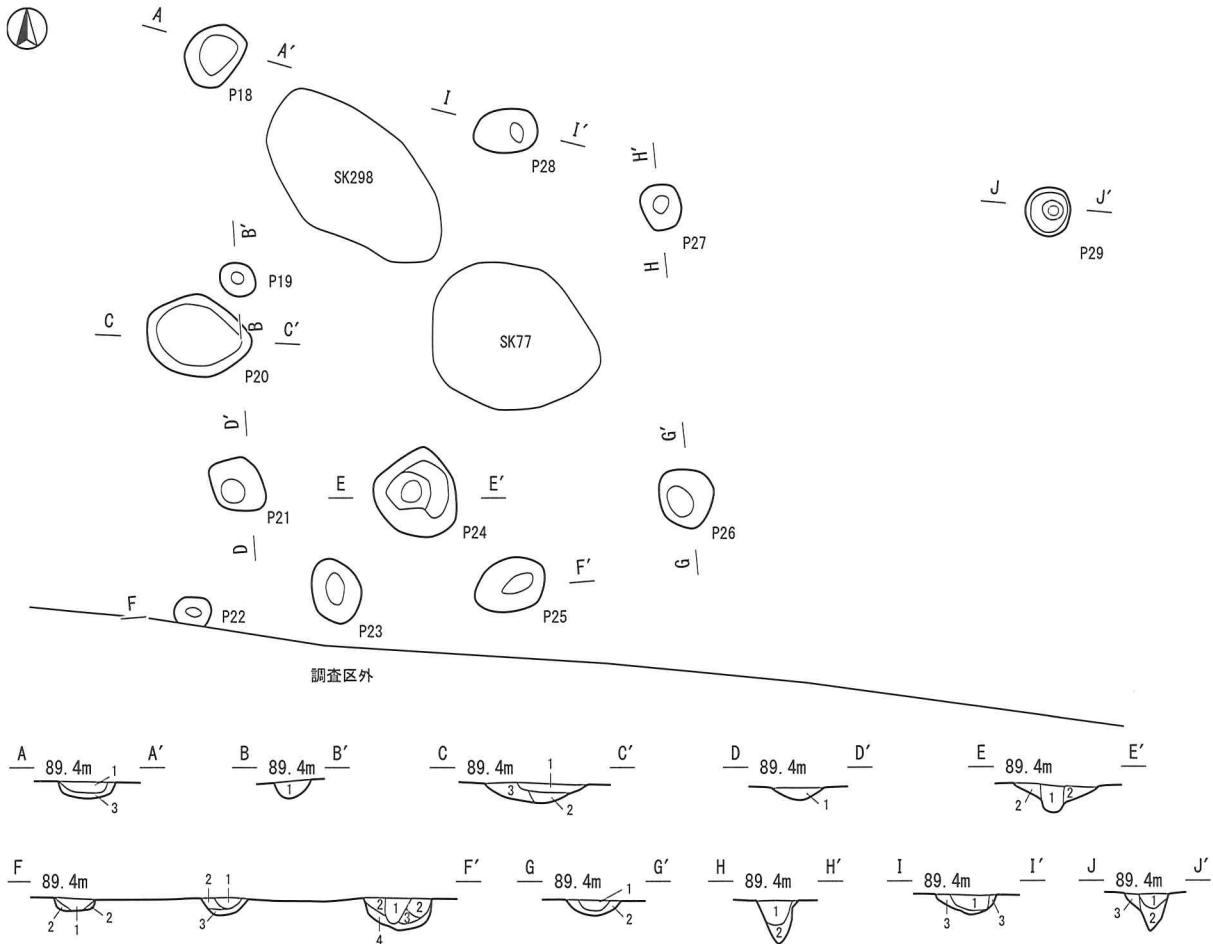
- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量/粘性あり 締まりなし
- 2 10YR3/3 暗褐色 ローム粒子中量 黒色土粒子中量/粘性なし 締まりなし
- 3 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量 焼土粒子微量/粘性あり 締まりなし

第45表 第2号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
11	G2	円形	20	20	10	15	G2	円形	30	28	12
12	G2	円形	22	20	10	16	G2	円形	40	30	14
13	G2	円形	22	20	8	17	G2	円形	40	40	40
14	G2	円形	28	26	16						



第125図 第2号ピット群実測図

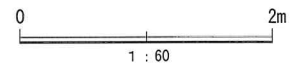


PG03 土層解説

- 1 7.5YR3/3 暗褐色 暗褐色粒子多量 七本桜パミス微量/粘性あり 締まりあり
- 2 7.5YR3/4 暗褐色 暗褐色粒子多量 七本桜パミス微量 今市パミス微量/粘性あり 締まりあり
- 3 7.5YR4/3 褐色 暗褐色粒子中量 七本桜パミス微量/粘性あり 締まりあり
- 4 7.5YR4/4 褐色 暗褐色粒子少量 ロームブロック少量・粒子中量/粘性あり 締まりあり

P27

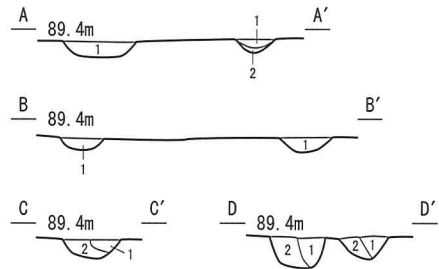
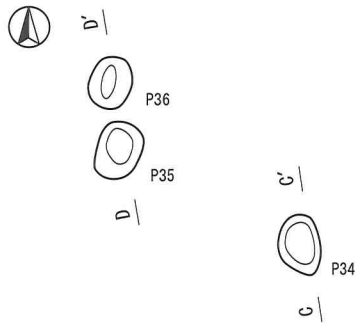
- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量/粘性あり 閉まりなし
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子多量 暗褐色粒子少量/粘性あり 締まりあり



第126図 第3号ピット群実測図

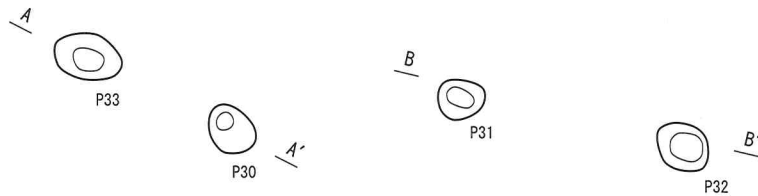
第46表 第3号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)			番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
18	H2	円形	52	46	12	24	H2	円形	60	60	20
19	H2	円形	30	30	15	25	H2	円形	60	52	30
20	H2	円形	80	60	16	26	H2	円形	50	48	14
21	H2	円形	50	44	10	27	H2	円形	30	28	30
22	H2	[円形]	32	(20)	10	28	H2	円形	54	36	16
23	H2	円形	60	44	16	29	H2	円形	34	34	30



第47表 第4号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
30	F2	円形	30	30	12
31	F2	円形	30	28	10
32	F2	円形	40	30	12
33	F2	楕円形	50	30	10
34	F2	円形	50	40	12
35	F2	円形	46	42	26
36	F2	円形	44	38	16



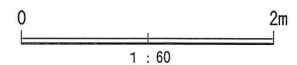
PG04 土層解説

P30 ~ 33

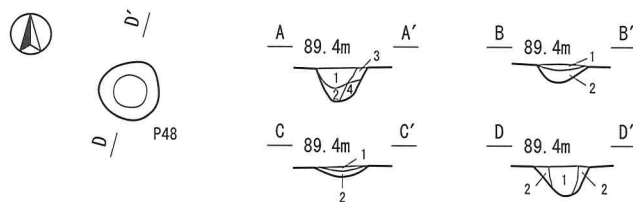
- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量/粘性あり 縮まりなし
- 2 10YR3/3 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土粒子中量/粘性あり 縮まりあり

P34 ~ 36

- 1 7.5YR3/2 黒褐色 暗褐色粒子多量 今市パミス少量 七本桜パミス微量/粘性あり 縮まりあり
- 2 7.5YR3/4 暗褐色 暗褐色粒子中量 今市パミス少量/粘性あり 縮まりあり



第127図 第4号ピット群実測図



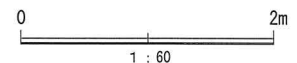
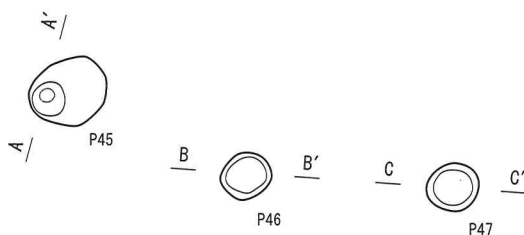
第48表 第6号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
45	G5	円形	70	52	28
46	G5	円形	40	40	12
47	G5	円形	40	38	22
48	F5	円形	42	42	16

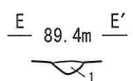
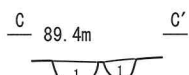
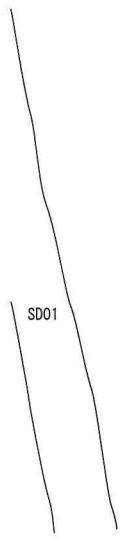
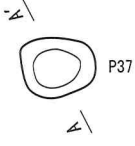
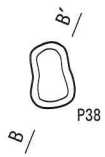
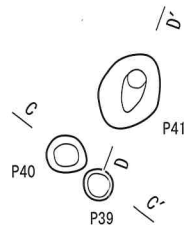
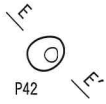
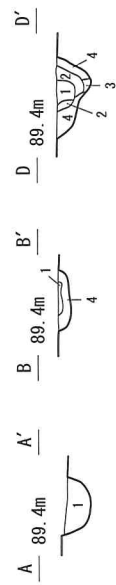
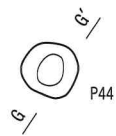
PG06 土層解説

P45 ~ 48

- 1 7.5YR3/1 黒褐色 暗褐色粒子多量 今市パミス少量 七本桜パミス微量/粘性あり 縮まりあり
- 2 7.5YR3/2 黒褐色 暗褐色粒子多量 今市パミス微量/粘性あり 縮まりあり
- 3 7.5YR3/3 暗褐色 暗褐色粒子中量 今市パミス微量/粘性あり 縮まりあり
- 4 7.5YR3/4 暗褐色 暗褐色粒子中量 今市パミス微量/粘性あり 縮まりあり



第128図 第6号ピット群実測図



PG05 土層解説

P37 ~ 43

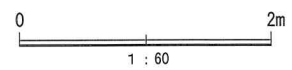
- 1 10YR2/3 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量 / 粘性あり 縮まりなし
- 2 10YR3/3 暗褐色 ローム粒子少量 黒色土粒子中量 / 粘性あり 縮まりあり
- 3 10YR3/2 黒褐色 ロームブロック微量・粒子少量 黒色土粒子中量 / 粘性あり 縮まりあり
- 4 10YR3/4 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土粒子中量 / 粘性あり 縮まりあり

P44

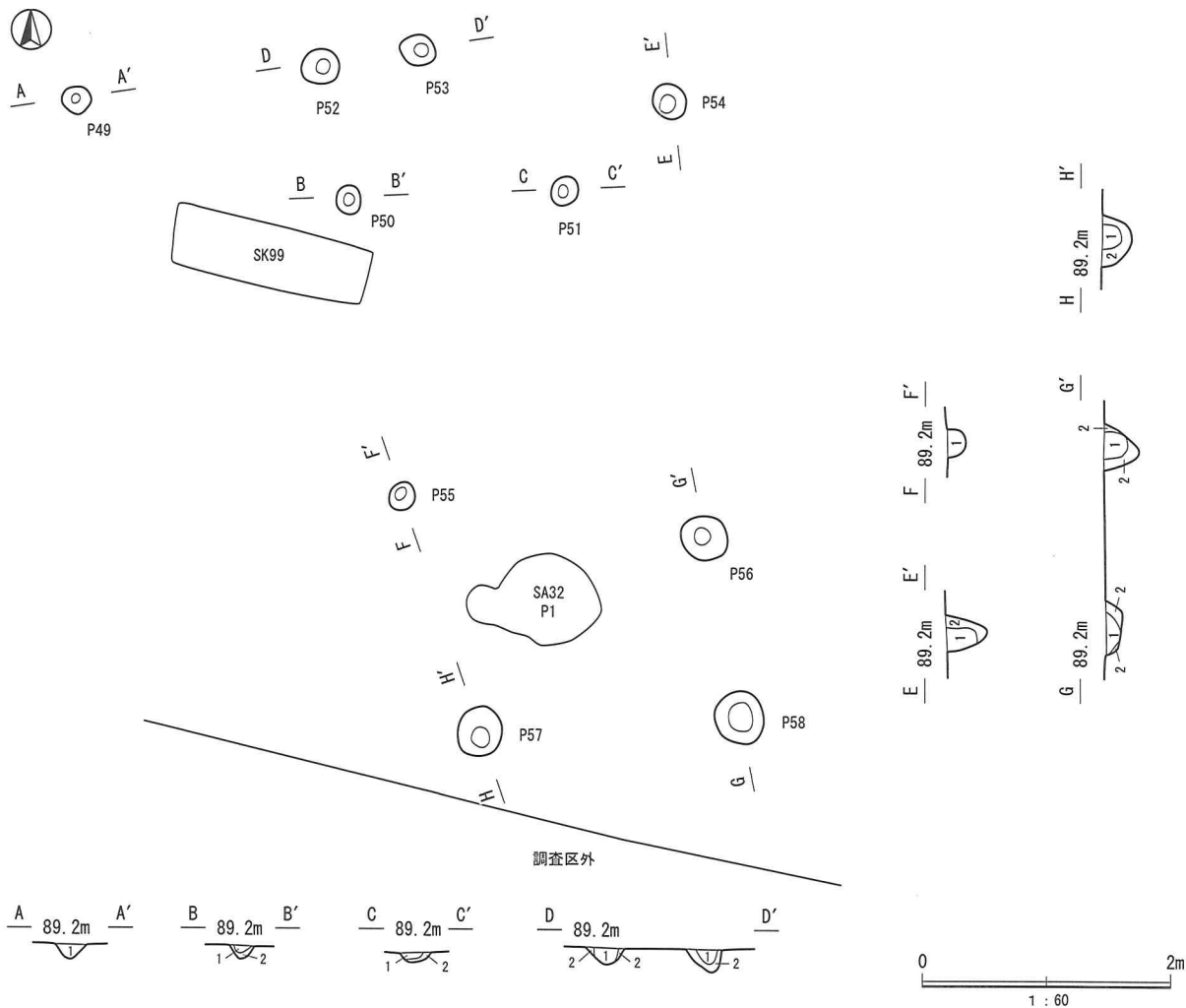
- 1 7.5YR3/1 黒褐色 暗褐色粒子多量 今市パミス少量 七本桜パミス微量 / 粘性あり 縮まりあり

第 49 表 第 5 号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
37	G4	円形	60	50	18
38	G4	不整円形	54	40	12
39	G5	円形	20	20	14
40	G5	円形	30	30	12
41	G5	円形	30	28	26
42	G5	円形	24	24	12
43	G5	円形	46	44	14
44	G5	円形	50	50	16



第 129 図 第 5 号ピット群実測図



PG07 土層解説

P49～54

- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量 黒色土粒子多量/粘性あり 締まりなし
- 2 10YR3/3 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒褐色粒子中量/粘性あり 締まりあり

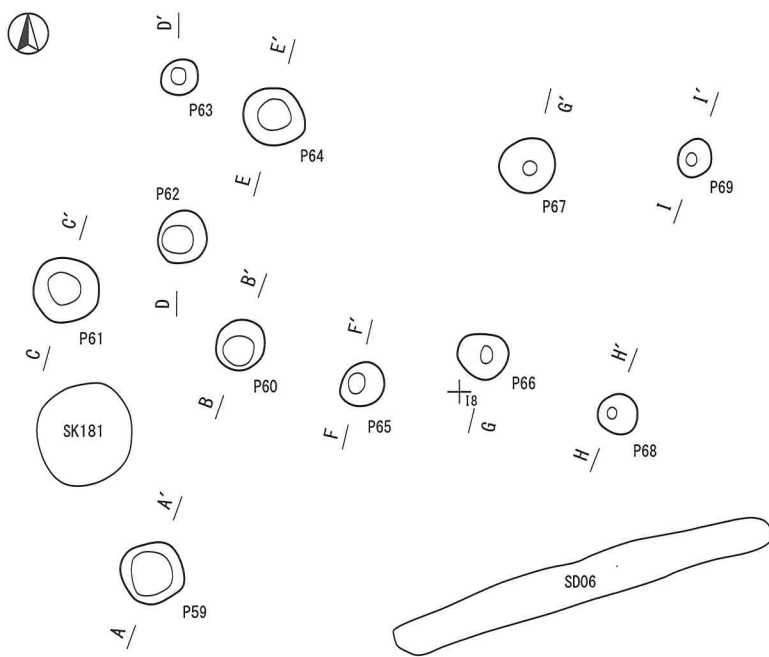
P55～58

- 1 7.5YR3/2 黒褐色 暗褐色粒子多量 今市パミス少量/粘性あり 締まりあり
- 2 7.5YR3/3 暗褐色 暗褐色粒子多量 今市パミス少量 七本桜パミス微量/粘性あり 締まりあり

第130図 第7号ピット群実測図

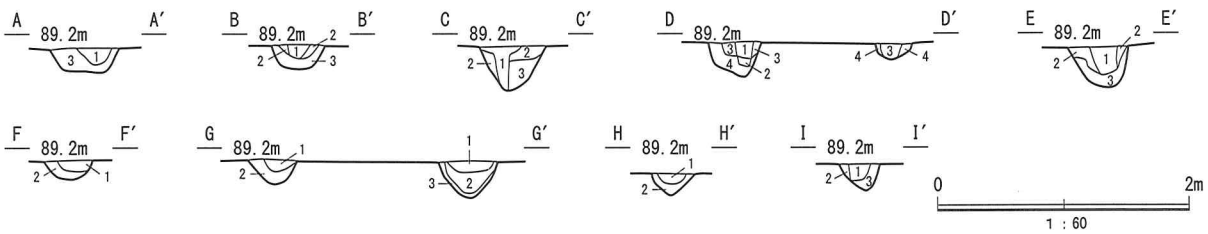
第50表 第7号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
49	17	円形	18	18	10
50	17	円形	22	20	10
51	18	円形	30	30	10
52	17	円形	30	30	14
53	17	円形	32	30	18
54	18	円形	30	30	10
55	18	円形	28	26	16
56	18	円形	40	40	16
57	18	円形	42	38	20
58	18	円形	38	36	18

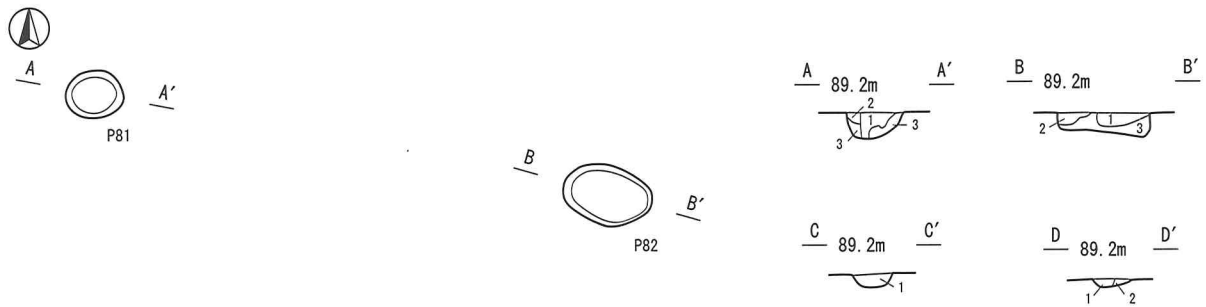


PG08 土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒子微量
黒色土粒子多量/粘性あり 締まりなし
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒子少量
黒色土粒子多量/粘性あり 締まりなし
- 3 7.5YR3/3 暗褐色 暗褐色粒子中量
今市パミス少量 七本桜パミス微量/粘
性あり 締まりあり
- 4 7.5YR3/4 暗褐色 暗褐色粒子中量
今市パミス微量 七本桜パミス微量/粘
性あり 締まりあり

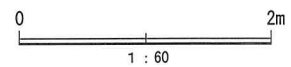


第 131 図 第 8 号ピット群実測図



PG10 土層解説

- 1 10YR3/3 褐色 ロームブロック・粒子少量 黒色土粒子多量/粘性あり
締まりなし
- 2 10YR3/4 暗褐色 ロームブロック少量・粒子中量 黒色土中量/粘性あり
締まりあり
- 3 10YR4/4 褐色 ロームブロック・粒子中量 黒色土粒子少量/粘性あり
締まりあり



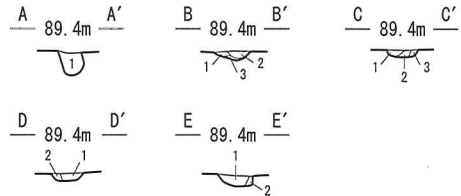
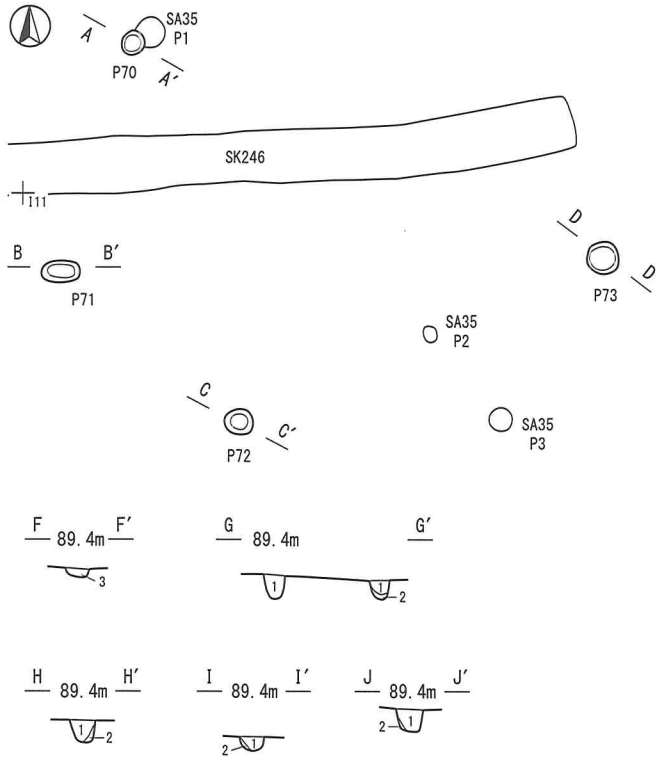
第 132 図 第 10 号ピット群実測図

第51表 第8号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
59	I7	円形	52	50	20
60	H7	円形	38	36	20
61	H7	円形	50	50	36
62	I7	円形	46	40	25
63	H7	円形	32	30	12
64	H7	円形	50	42	30

第52表 第10号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
81	J10	円形	40	38	25
82	J11	楕円形	72	40	16
83	J11	円形	30	24	10
84	J11	円形	34	30	10

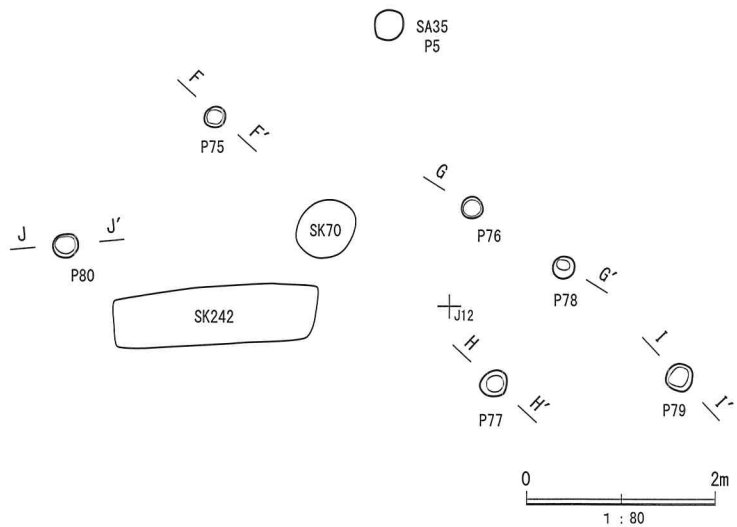


PG09 土層解説

- 7.5YR3/2 黒褐色 ロームブロック微量・粒子少量 今市パミス微量/粘性あり 縮まりなし
- 7.5YR3/2 黒褐色 ロームブロック微量・粒子少量/粘性あり 縮まりなし
- 7.5YR4/3 褐色 ロームブロック・粒子中量/粘性あり 縮まりあり

第53表 第9号ピット群計測表

番号	位置	形状	規模 (cm)		
			長径	短径	深さ
70	H11	円形	22	22	24
71	I11	楕円形	40	20	12
72	I11	円形	30	26	10
73	I11	円形	32	30	10
74	I11	円形	28	26	12
75	I11	円形	22	20	10
76	I11	円形	32	30	28
77	I11	円形	30	28	24
78	I11	円形	22	20	20
79	I11	円形	30	28	24
80	I11	円形	40	36	30



第133図 第9号ピット群実測図

第4節 まとめ

当遺跡からは、今回の調査で縄文時代の陥し穴3基、土坑18基、古墳時代の竪穴建物跡3棟、土坑1基、溝跡1条、奈良・平安時代の竪穴建物跡15棟、掘立柱建物跡3棟、井戸跡2基、土坑1基、中世の掘立柱建物跡4棟、時期不明の掘立柱建物跡7棟、柱穴列20条、溝跡5条、土坑185基、ピット群10カ所を検出した。ここでは、調査した遺構と出土遺物について、時代ごとに調査結果を記述し、まとめとする。

1 縄文時代

陥し穴3基を南部で検出した。陥し穴の上層は白色・浅黄橙色パミス主体の明灰褐色の軽石で、下層は赤褐色パミス主体の赤褐色の軽石が堆積していた。茂木町の登谷遺跡（1）、茨城県内の那珂川流域で西谷津遺跡・西谷津北遺跡・宮後遺跡・滝ノ上遺跡（2）・中崎遺跡（3）で、今市・七本桜テフラを多量に含む土坑（陥し穴）が発見されている。確認面で白色パミス・浅黄橙色パミス（七本桜軽石）が集中する範囲を他の遺構と同様に調査した。火山灰の噴出年代と土坑の構築年代との前後関係は不明であるが、今市スコリア噴出年代は、1.4～1.5万年前とされることから、その後であると言える。よって、南東部で確認した陥し穴は当時のものと考えられる。当遺跡は草創期から早期には狩り場となっていたと推測される。遺構外遺物として、夏島式期に比定する土器片も1点出土している。

2 古墳時代

ここでは、過去に調査された上横田A遺跡で確認されている集落跡と、当遺跡で確認した集落跡が同一の集落跡とみられることから、併せて記述する。

当時代の竪穴建物跡は、当遺跡で2棟、上横田A遺跡で3棟確認されている。時期別では、7世紀後葉の建物跡が当遺跡の第13B・14号竪穴建物跡で、一辺が5mほどの中形建物である。7世紀中葉の建物跡は上横田A遺跡の第7・8号竪穴建物跡で、一辺が7mほどのやや大形の建物である（4）。7世紀後葉の建物跡は上横田A遺跡の第6号建物跡の1棟である。このうち7世紀前葉と後葉の建物跡は、東西に約90m離れて各2棟が近接して存在しており、7世紀後葉の建物跡は7世紀中葉の建物跡の北西に約30m離れて存在しており、集落としての構成は不明である。集落の北端部に当たるのか、単独世帯であるのか判断できる根拠はない。

3 奈良・平安時代

当時代の建物跡は、当遺跡で12棟、上横田A遺跡で1棟確認されている。時期別では、8世紀前葉のものが第1・2号竪穴建物跡と、その可能性があるものが第9号竪穴建物跡と重複している第10号竪穴建物跡で、いずれも一辺3.5mほどの小形建物跡である。両者は東西に約10m離れて存在している。なお、第2号竪穴建物跡は、西側で第5号竪穴建物跡と重複しており、建て替えの可能性がある。第10号掘立柱建物跡もこの時期の可能性があり、第9号竪穴建物跡の北方約10mに位置している。8世紀中葉のものは、第7・9号竪穴建物跡の3棟で、第1号竪穴建物跡と第9号竪穴建物跡は東西に約12m離れて存在し、第7号竪穴建物跡は第9号竪穴建物跡の北方約15mに存在している。カマドは、いずれも北壁に設けられているが、第9号建物跡は袖部に凝灰岩が使用されている。8世紀後葉のものは、第8・11A号竪穴建物跡の2棟で、第11A号竪穴建物跡は、一辺6.5mほどの大形建物跡で、3回の建て替えが行われており、8世紀中葉には存在した可能性がある。第8号竪穴建物跡と第11A号竪穴建物跡は約16m離れて存在している。そのうち第7・11

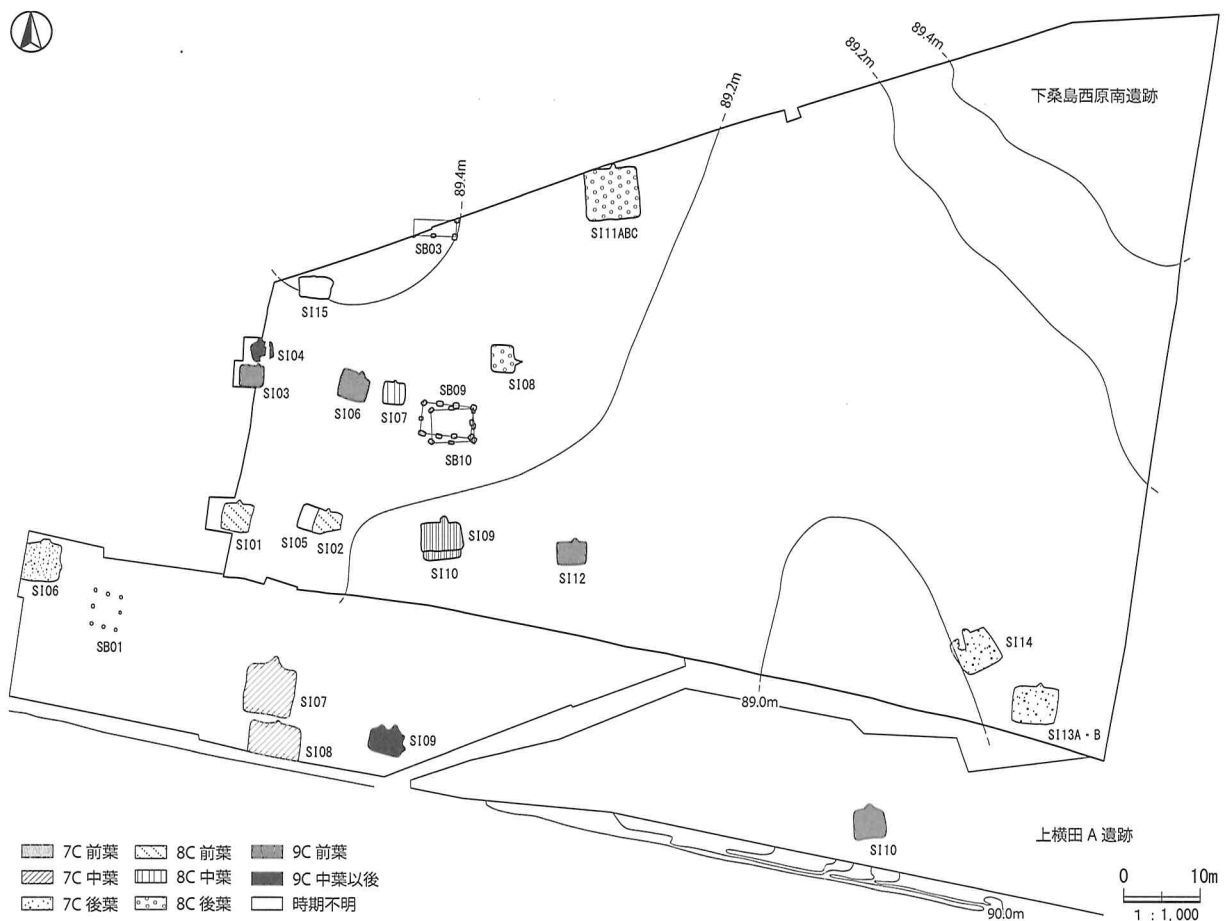
号竪穴建物跡はカマドが北壁に設けられているが、第8号竪穴建物跡は東壁に設けられている。

9世紀前葉のものは第12号竪穴建物跡の1棟で、第3号竪穴建物跡もこの時期の可能性がある。第15号竪穴建物跡と第12号竪穴建物跡は、南東から北西に約30m離れて存在している。第12号竪穴建物跡のカマドは東壁から北壁に造り替えられている。9世紀中葉以後のものは当遺跡の第4・6号竪穴建物跡と、上横田A遺跡の第9号竪穴建物の2棟であるが、第6号竪穴建物跡のカマドの袖部には凝灰岩が使用されている。上横田A遺跡の第10号竪穴建物跡もこの時期の可能性がある。上横田A遺跡の第9号竪穴建物跡と第10号竪穴建物跡は、東西に約60m離れ、当遺跡の第9号竪穴建物跡と上横田A遺跡の第9号竪穴建物跡は、ほぼ南北に約50m離れて存在している。

今回の調査区の東半部には7世紀後葉の第13・14号竪穴建物跡がみられるのみで、それ以降の建物跡はみられず、集落は今回の調査区の西側及び北側に広がっているものと考えられ、集落としての全体構造は不明である。ただ、7世紀後葉から9世紀後葉までの2世紀以上にわたって竪穴建物が営まれているにもかかわらず、一部に建て替えは認められるものの、通常の集落跡にみられるような濃密な重複は認められず、時期が経過しても配置に計画性をもって竪穴建物を建てていたかの如き様相を示している。

4 文字資料について

文字資料は、墨書土器は6点、朱書土器1点、ヘラ書土器は1点出土している。墨書土器のうち、須恵器坏の底部に記された「真」が8世紀中葉の第9号竪穴建物跡から出土しており、文字資料としては早い時期のも



第134図 時期別遺構配置図

のである。「真」の文字は、宇都宮市城南3丁目遺跡からも出土している。9世紀中から後葉の第6号竪穴建物跡からは土師器坏体部に記された「男」出土しており、同文字は当市の前田遺跡と北の前遺跡からも出土している。そのほか、第1号溝跡から土師器坏底部に記された「富」、第9号竪穴建物跡から「吉□」などが出土している。

朱書は第11A号竪穴建物跡から出土しており、「一」と認識できるのみで、文字の一部である可能性もある。

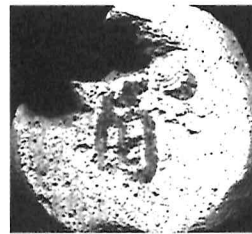
ヘラ書土器は、第9号竪穴建物跡から出土した須恵器甕の頸部に「大」「十」と2文字が記されたものである。これらの文字は墨書では類例があるが、ヘラ書では未確認である。ほかに「サ」「乙」などのヘラ書がみられるが、ヘラ記号の可能性はある。



SI09- 8



SI06- 1



SD01- 1



SI09- 2



SI06-11



SI11A- 8

5 中世以降について

調査前の現況は、陸田として利用されており、調査によって時期不明の柱穴列が多数確認されている。中世以降から陸田として耕作されていたと考えられ、稲作時の折田掛け用の柱として使用されたものと考えられる。外のピットも同等のものと考えられる。筆境際に並ぶ長方形の土坑は、畑地として利用していた時の作物を保管する貯蔵穴（通称イモ穴）である。第1・2・4・6号溝跡は、筆境に沿って直線状になっているので区画溝と考えられる。

6 おわりに

以上、当遺跡における縄文時代の陥し穴、古墳時代の竪穴建物跡、奈良・平安時代の集落の様相、墨書土器・ヘラ書土器、中世以降について若干の考察を行った。これまでの過去の調査と合わせることにより、奈良・平安時代の集落の性格を多少なりとも把握することができた。今回の調査結果が、本県並びに当地域における歴史解明の一助となれば幸いである。

注)

- 1) 茂木町教育委員会 2002『登谷遺跡』「ツインリンクもてぎ内のホテル建設に伴う発掘調査」茂木町教育委員会
- 2) 青池紀子・宇井義典他 2015『三美中道遺跡Ⅱ・滝ノ上遺跡Ⅱ』「畑地帯整備事業三美地区に伴う埋蔵文化財発掘調査」常陸大宮市教育委員会

- 3) 平石尚和 2017 『中崎遺跡 I』 「畑地帯整備事業三美地区に伴う埋蔵文化財発掘調査」 常陸大宮市教育委員会
4) 堅穴建物跡の規模は、30㎡以上を大形、30㎡未満 20㎡を中形、20㎡未満を小形とした。

参考文献

- ・ 中山晋 1996 『砂田東遺跡・上横田 A 遺跡』 栃木県埋蔵文化財報告第 176 集 栃木県教育委員会・(財) 栃木県文化振興事業団
- ・ 今平利幸・三輪孝幸 2014 『西刑部西原遺跡 F 区』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 86 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 土生朗治他 2007 『西刑部西原遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 59 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 清地良太・三輪孝幸 2018 『猿山遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 103 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 高橋慧・水野順敏 2016 『北の前遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 97 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 佐々木藤雄・小野麻人他 2007 『辻ノ内遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 61 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 中山哲也・倉田有子他 2005 『前田遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 52 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 中山哲也・青木健二他 2005 『砂田遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 54 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 今平利幸 1996 『城南 3 丁目遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 39 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 上河内村教育委員会 1977 『山向遺跡』 上河内村埋蔵文化財調査報告書第 4 集 上河内村教育委員会
- ・ 埴静夫・山ノ井清人 1977 『飛山城跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 3 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 梁木誠・田續麻友子他 2021 『鳥井戸遺跡』 宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 110 集 宇都宮市教育委員会
- ・ 宇都宮市史編纂委員会 1981 『宇都宮市史』 宇都宮市

写真図版



調査区遠景（南東から）



調査区全景（鉛直）

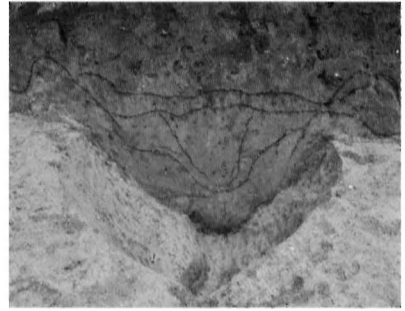
图版2



1. 第 234 号土坑 (陷し穴) 完掘



2. 第 244 号土坑 (陷し穴) 完掘



3. 第 344 号土坑 (陷し穴) 完掘



4. 第 298 号土坑完掘



5. 第 299 号土坑完掘



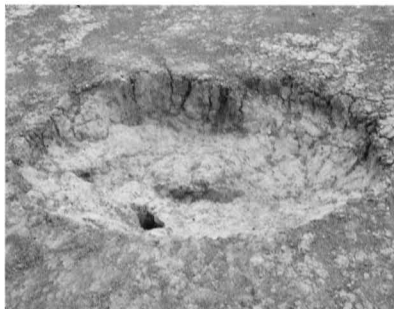
6. 第 337 号土坑完掘



7. 第 53 号土坑完掘



8. 第 54 号土坑完掘



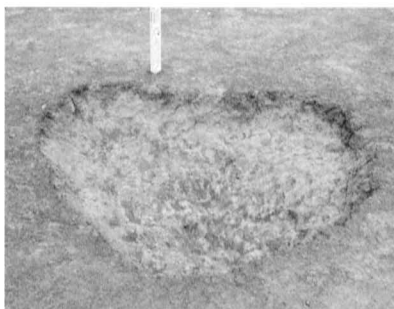
9. 第 89 号土坑完掘



10. 第 97 号土坑完掘



11. 第 110 号土坑完掘



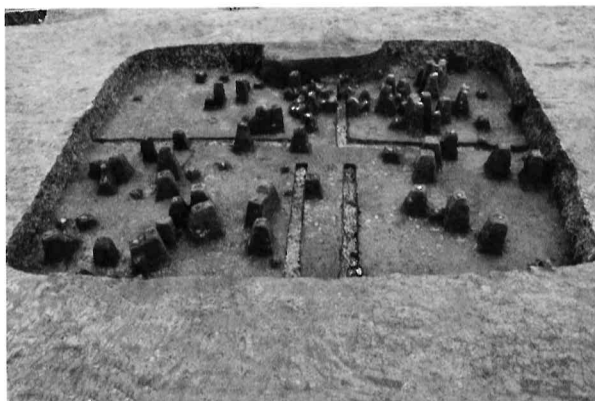
12. 第 112 号土坑完掘



13. 第 201 号土坑完掘



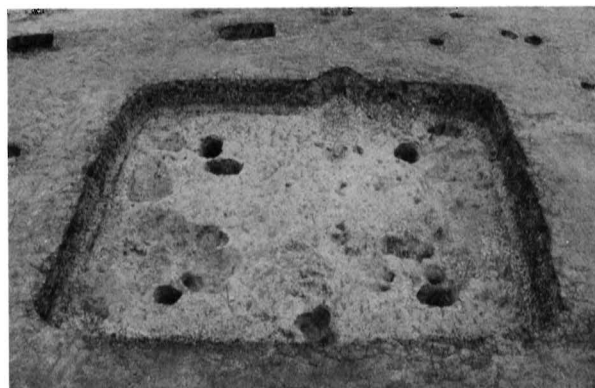
1. 第 13A 号堅穴建物跡完掘



2. 第 13A 号堅穴建物跡遺物出土状況



3. 第 13A 号堅穴建物跡カマド遺物出土状況



4. 第 13A・B 号堅穴建物跡掘方完掘



5. 第 14 号堅穴建物跡完掘



6. 第 14 号堅穴建物跡遺物出土状況



7. 第 14 号堅穴建物跡炭化材・焼土確認状況

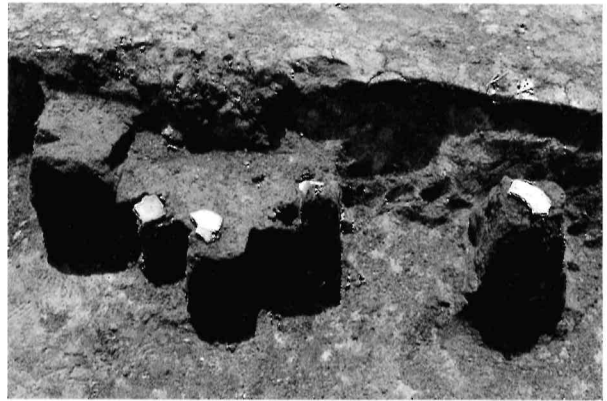


8. 第 14 号堅穴建物跡遺物出土状況

图版4



1. 第3号溝跡完掘



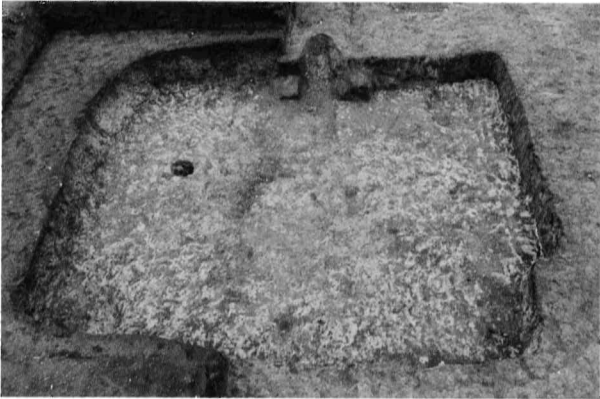
2. 第3号溝跡遺物出土狀況



3. 第130号土坑堆積狀況



4. 第130号土坑遺物出土狀況



5. 第1号堅穴建物跡完掘



6. 第1号堅穴建物跡遺物出土狀況



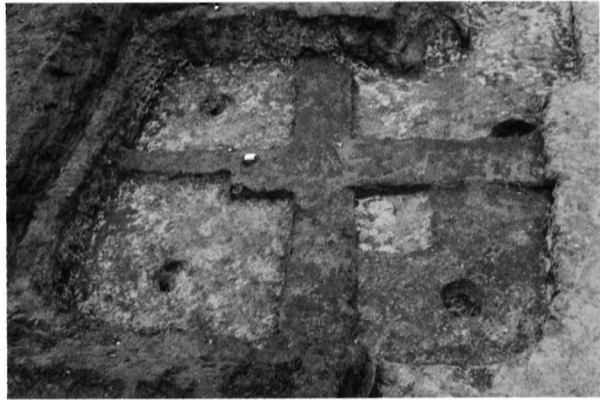
7. 第2号建物跡完掘



8. 第2号堅穴建物跡遺物出土狀況



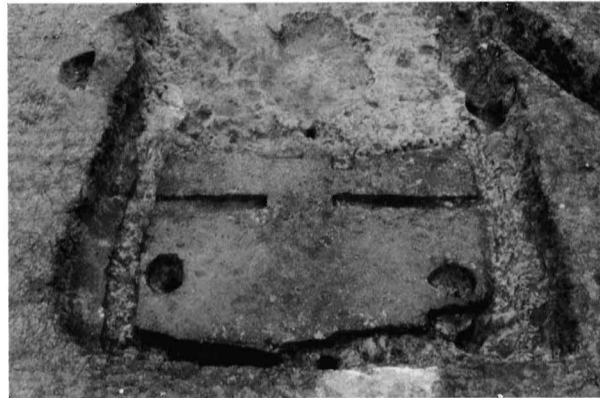
1. 第2号堅穴建物跡カマド断割り遺物出土状況



2. 第3号堅穴建物跡遺物出土状況



3. 第4号建物跡カマド遺物出土状況



4. 第5号堅穴建物跡完掘



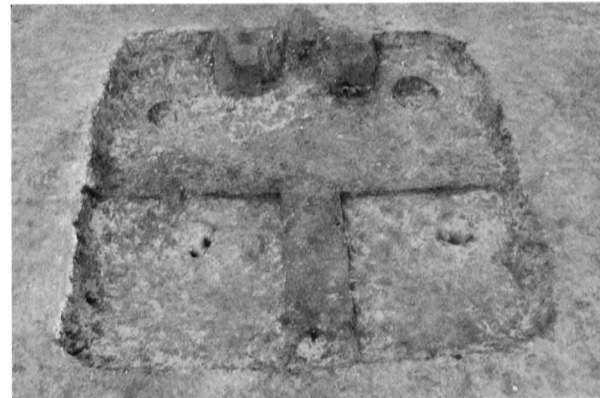
5. 第6号堅穴建物跡完掘



6. 第6号堅穴建物跡カマド補強材出土状況



7. 第6号堅穴建物跡遺物出土状況



8. 第7号堅穴建物跡完掘

図版6



1. 第7号堅穴建物跡遺物出土状況



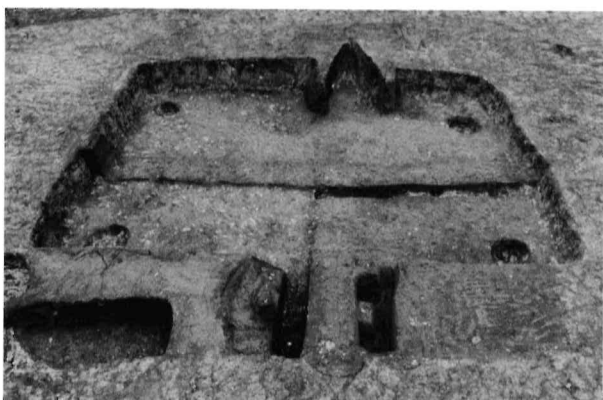
2. 第7号建物跡カマド遺物出土状況



3. 第8号堅穴建物跡完掘



4. 第8号堅穴建物跡遺物出土状況



5. 第9号堅穴建物跡完掘



6. 第9号堅穴建物跡遺物出土状況



7. 第9号堅穴建物跡カマド遺物出土状況



8. 第9号堅穴建物跡遺物出土状況



1. 第10号堅穴建物跡完掘



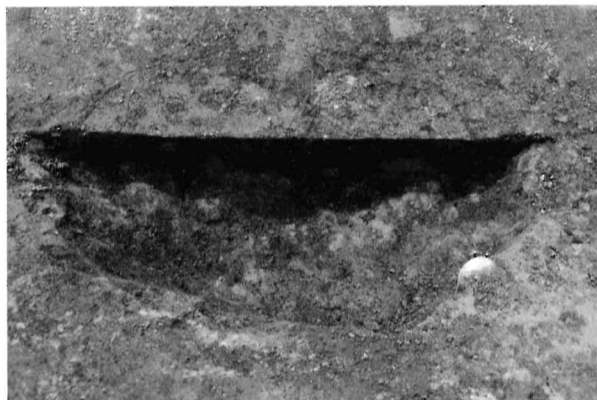
2. 第11A号堅穴建物跡完掘



3. 第11A号堅穴建物跡遺物出土状況



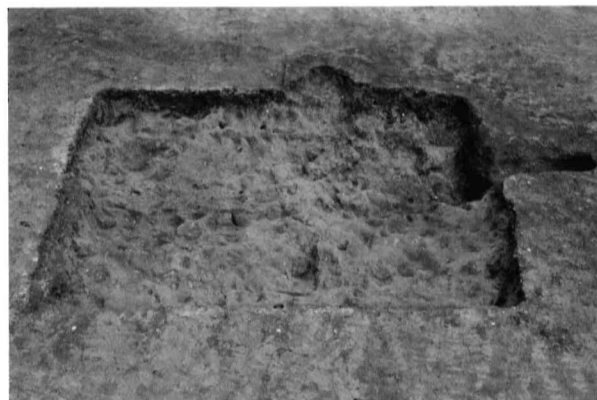
4. 第11B・C号堅穴建物跡完掘



5. 第11B・C号堅穴建物跡カマド堆積状況



6. 第12号堅穴建物跡堆積状況

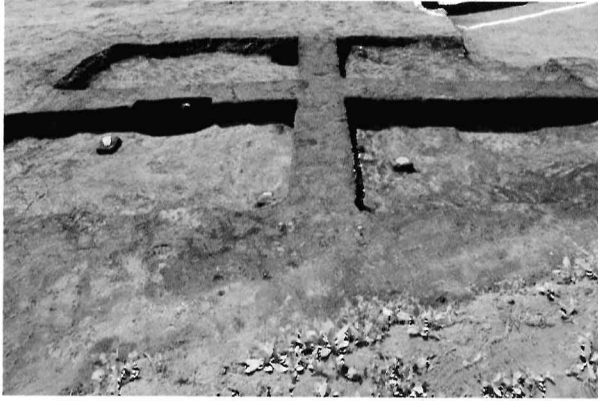


7. 第12号堅穴建物跡掘方完掘



8. 第12号堅穴建物跡カマド遺物出土状況

图版8



1. 第15号竖穴建物跡堆積状況



2. 第15号竖穴建物跡遺物出土状況



3. 第3号掘立柱建物跡完掘



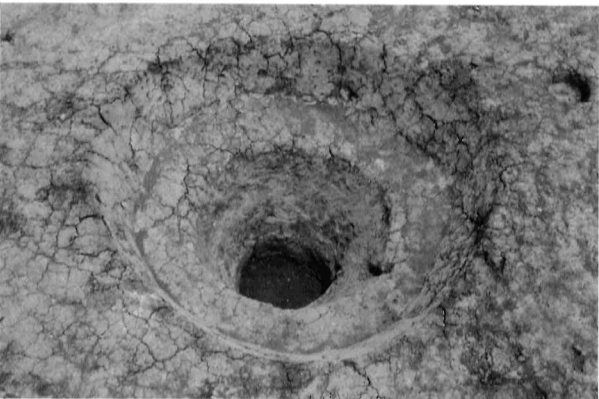
4. 第9号掘立柱建物跡完掘



5. 第9・10号掘立柱建物跡完掘



6. 第320号土坑完掘



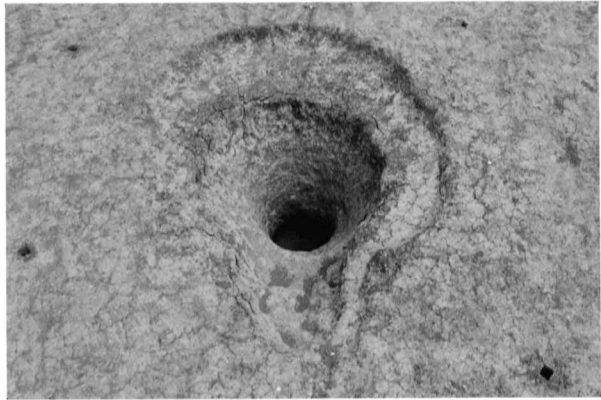
7. 第1号井戸跡完掘



8. 第1号井戸跡堆積状況



1. 第1号井戸跡断割り状況



2. 第2号井戸跡完掘



3. 第2号井戸跡堆積状況



4. 第2号井戸跡断割り状況



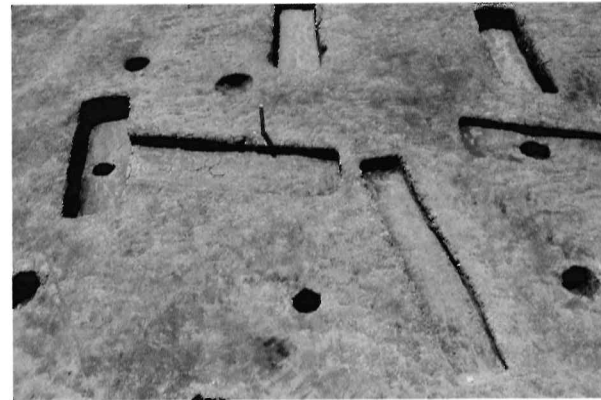
5. 第4号掘立柱建物跡完掘



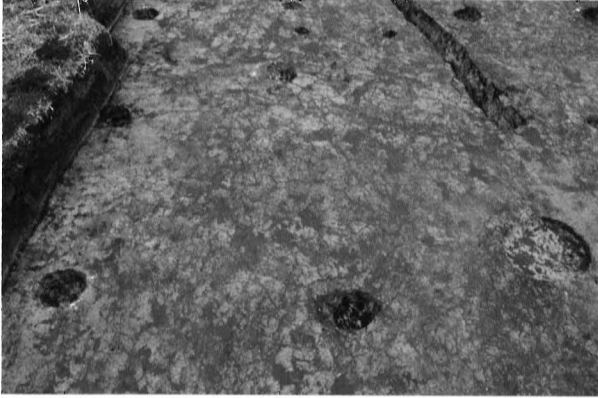
6. 第5号掘立柱建物跡完掘



7. 第6号掘立柱建物跡完掘



8. 第7号掘立柱建物跡完掘



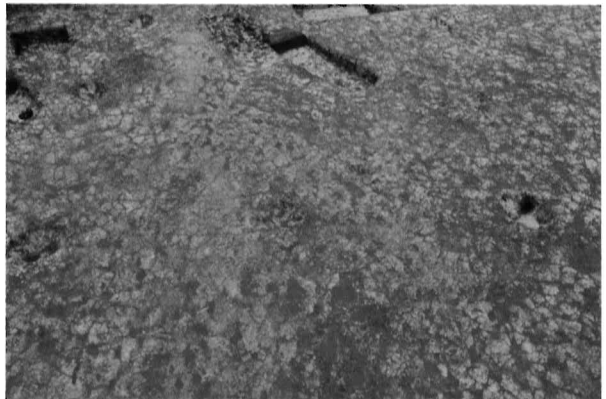
1. 第1号掘立柱建物跡完掘



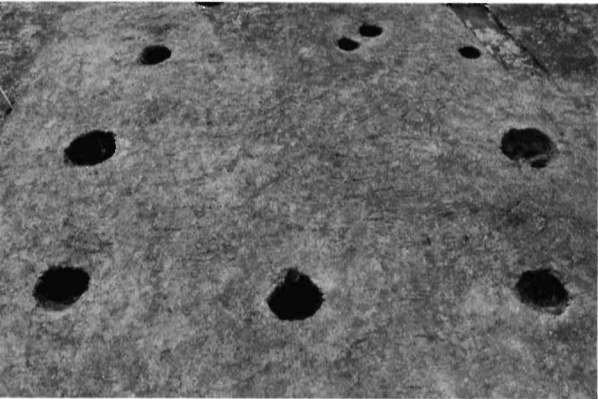
2. 第11号掘立柱建物跡完掘



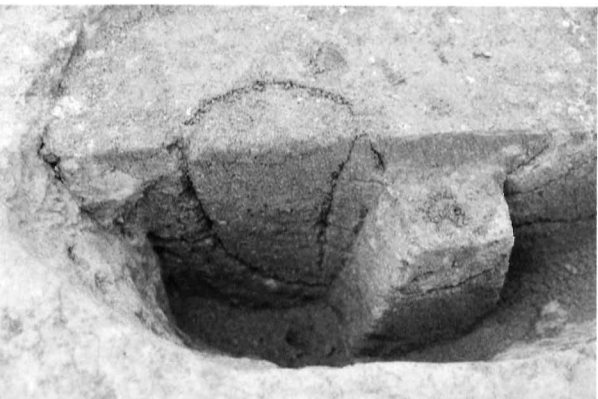
3. 第13号掘立柱建物跡完掘



4. 第14号掘立柱建物跡完掘



5. 第15号掘立柱建物跡完掘



6. 第1号柱穴列第2号ピット堆積状況



7. 第43号柱穴列完掘



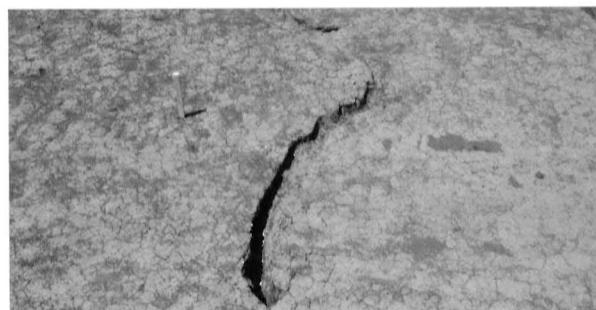
1. 第1号溝跡完掘



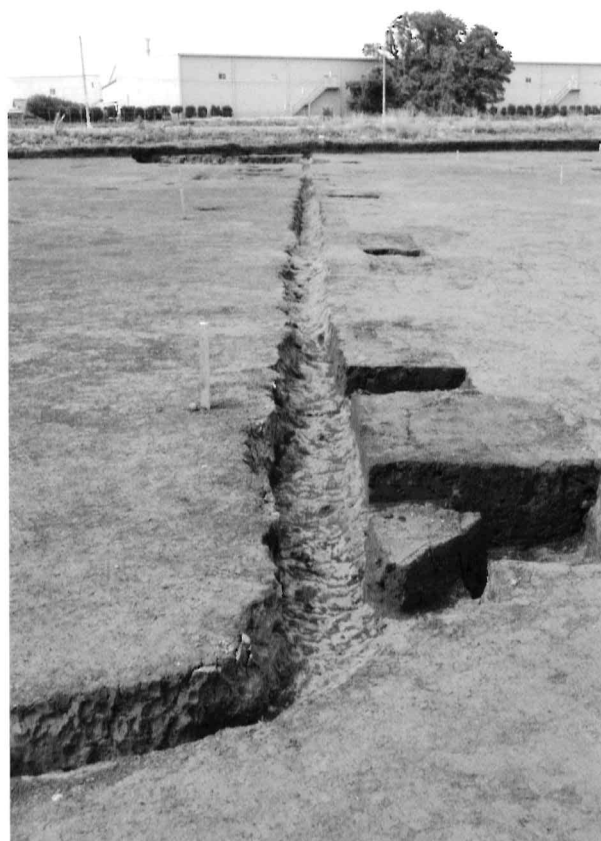
3. 第1号溝跡遺物出土状況



4. 第4号溝完掘



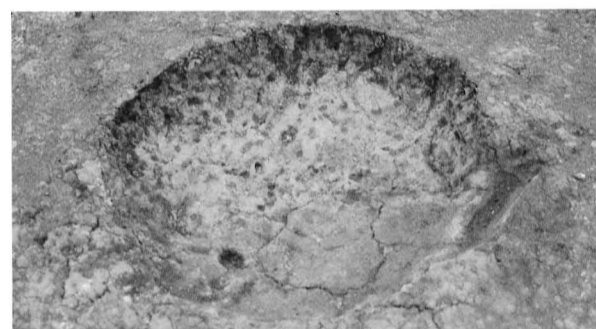
5. 第5号溝跡完掘



2. 第2号溝跡完掘



6. 第6号溝跡完掘



7. 第15号土坑完掘



縄文時代遺構外 1



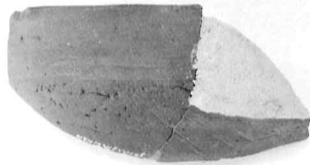
縄文時代遺構外 2



SI13A- 1



SI13A- 2



SI13A- 3



SI13A- 4



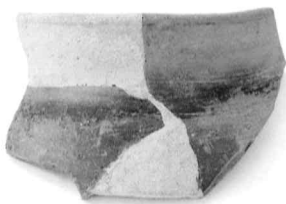
SI13A- 5



SI13A- 6



SI13A- 7



SI13A- 9



SI13A-11



SI13A-12



SI13A-10



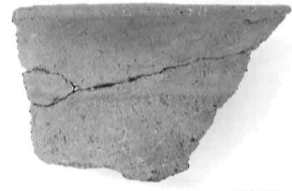
SI13A- 8



SI13A-13



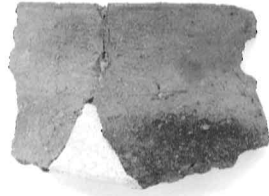
SI13A-14



SI13A-15



SI13A-16



SI13A-17



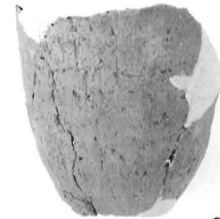
SI13A-18



SI13A-19



SI13A-20



SI13A-22



SI13A-23



SI13A-24



SI13A-25



SI13A-26



SI13A-27



SI13A-21

图版 14



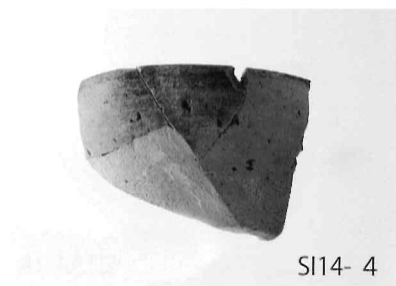
SI14- 1



SI14- 2



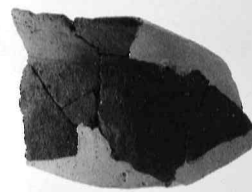
SI14- 3



SI14- 4



SI14- 5



SI14- 6



SI14- 7



SK130- 1



SD03- 1



SD03- 2



SI01- 1



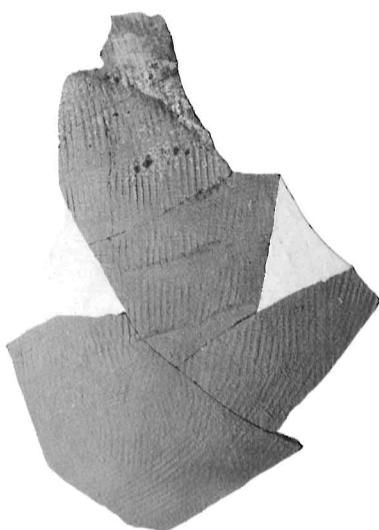
SI01- 2



SI01- 3



SI01- 4



SI01- 6



SI01- 5



SI01- 7



SI01- 8



SI01- 9



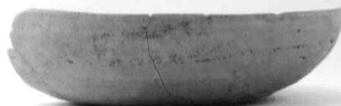
SI02- 1



SI02- 2



SI02- 3



SI02- 4



SI02- 5



SI02- 6



SI02- 7



SI02- 8



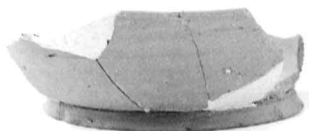
SI02- 9



SI02-10



SI02-11



SI02-12

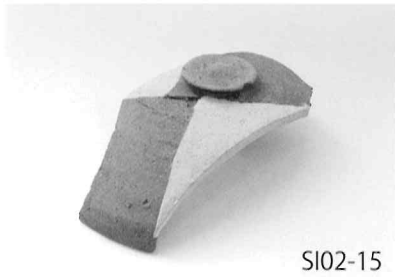


SI02-13 ヘラ記号



SI02-14

图版 16



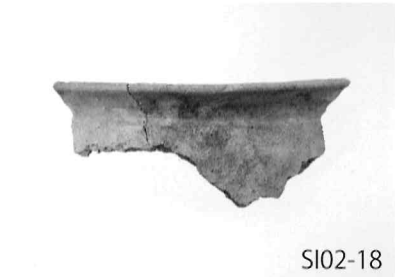
SI02-15



SI02-16



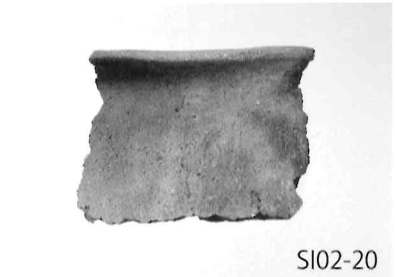
SI02-17



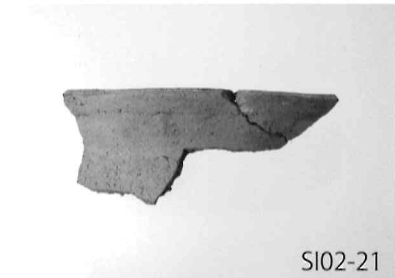
SI02-18



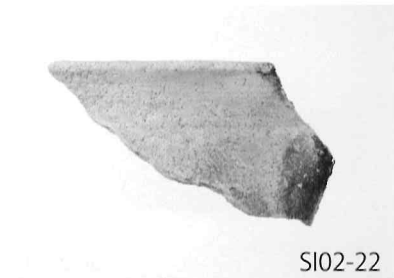
SI02-19



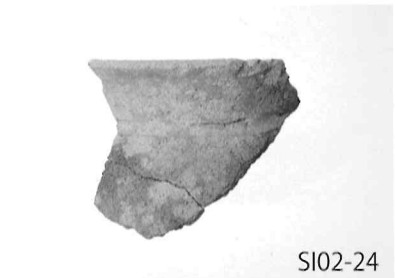
SI02-20



SI02-21



SI02-22



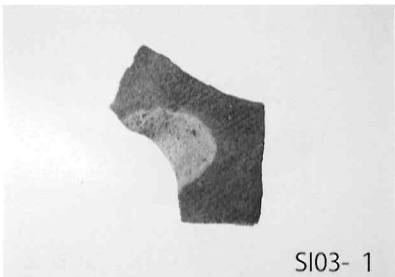
SI02-24



SI02-25



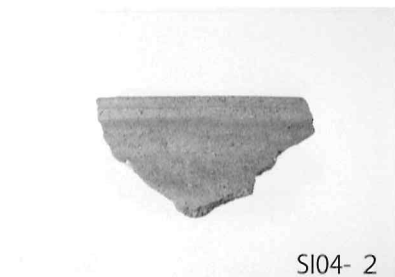
SI02-26



SI03- 1



SI04- 1



SI04- 2



SI02-23



SI04- 3



SI05- 1



SI05- 2



SI05- 3



SI06- 1 「男」墨書



SI06- 2



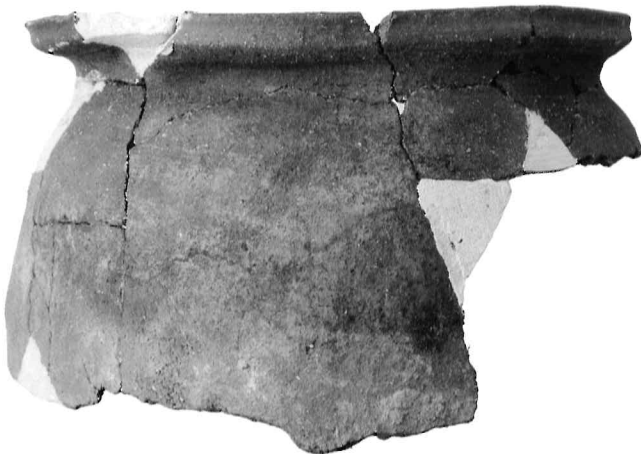
SI04- 4



SI06- 3



SI06- 4 「万」カ墨書



SI06- 9

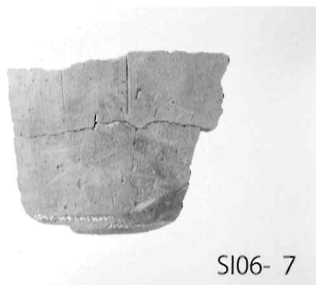


SI06- 5



SI06- 6 ヘラ記号

图版 18



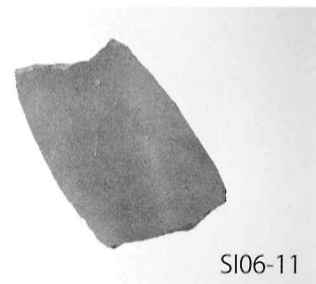
SI06- 7



SI06- 8



SI06-10



SI06-11



SI06-12



SI07- 1



SI07- 2



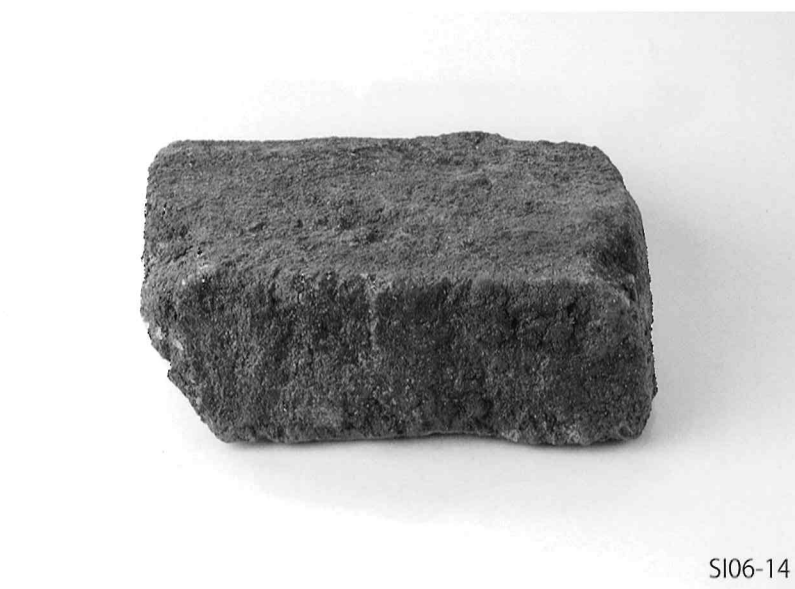
SI06-13



SI07- 3



SI07- 4



SI06-14



SI07- 5



SI07- 6



SI07- 7



SI07- 8



SI08- 1



SI08- 2



SI08- 3



SI07- 9



SI08- 5



SI08- 6



SI08- 4



SI08- 7



SI08- 8

图版 20



SI08- 9



SI08-10



SI09- 1



SI09- 2



SI09- 3



SI09- 4



SI09- 5



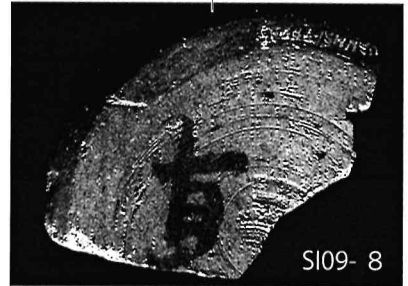
SI09- 6



SI09- 7



SI09- 9



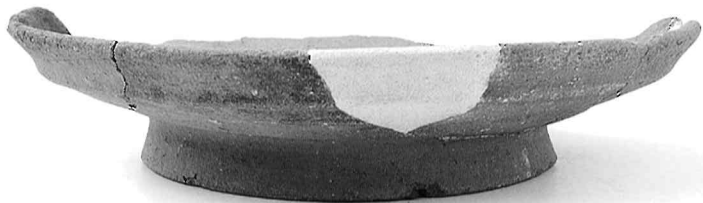
SI09- 8



SI09-10



SI09-11



SI09-12



SI09-13



SI09-15



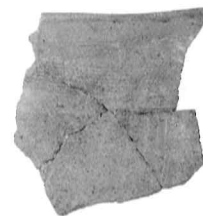
SI09-16



SI09-18



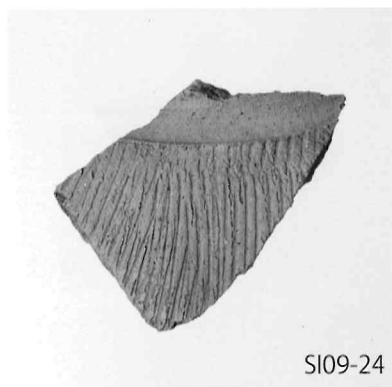
SI09-21



SI09-23



SI09-17



SI09-24



SI09-14

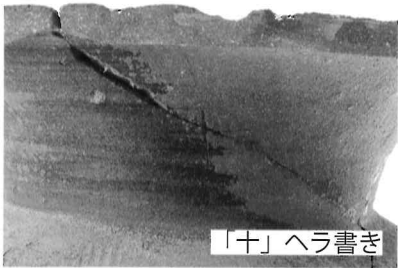
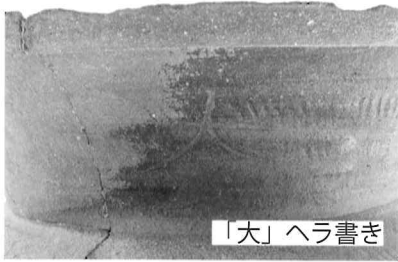


SI09-20



SI09-22

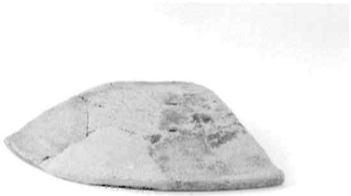
図版 22



SI09-25



SI10- 1



SI10- 2



SI09-19



SI09-26



SI10-6



SI09-27



SI09-28



SI10- 3



SI10- 4



SI10- 5



SI11A- 1 「シ」カ墨書



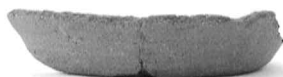
SI11A- 2



SI11A- 3



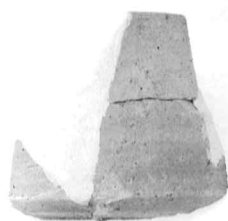
SI11A- 4



SI11A- 5



SI11A- 6



SI11A- 7



SI11A- 8



SI11A- 9



SI11A-10



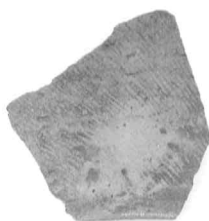
SI11A-11



SI11A-12



SI11A-15 「一」カ墨書



SI11A-13



SI11A-14



SI11A-17



SI11A-18



SI11A-19



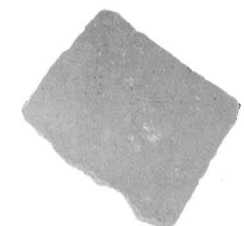
SI11A-21



SI11A-22



SI11A-23



SI11A-24



SI11A-16



SI11A-25



SI11A-27



SI11A-20



I11A-28



SI11C- 1



SI12- 1



SI12- 2



SI12- 3



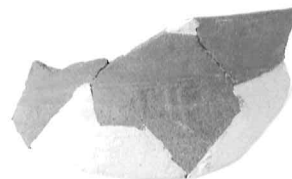
SI12- 4



SI12- 5



SI12- 6



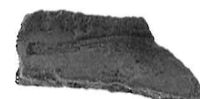
SI12- 7



SI15- 1



SI15- 2



SB03- 1



SB09- 1



SB10- 1



SI11A-26



SB10- 2



SE01- 1



SE01- 2



SE02- 1



SE01- 3



SE02- 2



SE02- 3



SE02- 4



SK320-1



奈良・平安時代遺構外 1



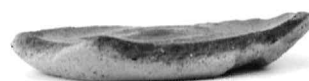
奈良・平安時代遺構外 2



SB04- 1



SB07- 1



SK51- 1



SD01- 2



SD01- 1 「富」カ墨書

報告書抄録

ふりがな	しもくわじまにしはらみなみいせき									
書名	下桑島南西原遺跡									
ふりがな										
副書名										
シリーズ名	宇都宮市埋蔵文化財調査報告 第〇集									
発行機関	宇都宮市教育委員会									
所在地	〒 320-8540 宇都宮市旭 1 丁目 1 番 5 号									
編著者名	土田創太 平石尚和 川井正一 狩谷崇文									
編集機関	関東文化財振興会株式会社									
所在地	〒 308-0846 茨城県筑西市布川 1012									
発行年月日	2023 (令和 5) 年 3 月 15 日									
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	標高	調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号							
しもくわじまにしはら 下桑原西原 南遺跡	栃木県宇都宮市 下桑原字西原 1199 ばんち 番地 -2 ほか	09201	4345	36° 30' 7"	139° 54' 58"	89 ~ 90m	2022.03.01 ~ 2022.06.14	8,050m ²	物流倉庫建 設に伴う発 掘調査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物			特記事項	
下桑島西原 南遺跡	集落 跡	縄文	陥し穴 土坑			3基 18基	縄文土器、尖頭器			
		古墳	竪穴建物跡 土坑 溝			3棟 1基 1条	土師器 (坏・椀・甗)・ 須恵器 (坏・甗)			
		奈良平安	竪穴建物跡 掘立柱建物跡 井戸跡 土坑			15棟 3棟 2基 1基	土師器 (坏・甗・手捏土 器)・須恵器 (坏・高台 付坏・高盤・蓋・横瓶・ 長頸瓶・捏鉢・小形甗・ 甗)、石製品 (紡錘車・ 砥石・カマド補強材)、 金属製品 (刀子・鋏)			
		中世	掘立柱建物跡			4棟				
		時期不明	掘立柱建物跡 柱穴列 溝跡 土坑 ピット群			7棟 20条 5条 185基 10か所	土師器 (坏・甗)、須恵 器 (甗)			
要約										

宇都宮市埋蔵文化財調査報告書第 113 集

下桑原西原南遺跡

印 刷 令和 5 年 3 月 15 日

発 行 令和 5 年 3 月 15 日

発 行 宇都宮市教育委員会

〒 320-8540 栃木県宇都宮市旭 1 丁目 1 番 5 番地

TEL 0 2 8 7 - 9 3 - 0 7 1 1

編 集 関東文化財振興会株式会社

〒 308-0846 茨城県筑西市布川 1012

TEL 0 2 9 6 - 2 8 - 7 7 3 7

印 刷 山三印刷株式会社

〒 311-4153 茨城県水戸市河和田町 4433-33

TEL 0 2 9 - 2 5 2 - 8 4 8 1